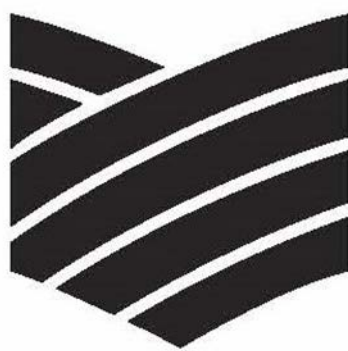


令和6年度

入 学 者 選 拔 要 項



三 重 大 学

自然災害や人為災害，感染症の全国的な拡大等の不測の事態への対応について

入学者選抜要項に記載のある当初の出願期間，試験日及び入学試験の実施方法等を異なる内容に変更する可能性があります。

変更がある場合は，三重大学ウェブサイト「入試情報」にて掲載する予定です。

三重大学ウェブサイト「入試情報」 <https://www.mie-u.ac.jp/exam/index.html>



生物資源学部の改組について

三重大大学は下記の通り，令和 6 年 4 月に生物資源学部を改組する予定です。この計画は，文部科学省大学設置・学校法人審議会の審査結果等をもって確定するものであり，変更があり得ます。

この令和 6 年度入学者選抜要項に掲載する募集人員，入学者選抜方法等はすべて予定です。

詳細については，順次公表する学校推薦型選抜学生募集要項，一般選抜学生募集要項で公表する予定です。

生物資源学部の改組

改組前（令和 5 年度）

学科名	入学定員	合計
資源循環学科	70 名	260 名
共生環境学科	70 名	
生物圏生命化学科	80 名	
海洋生物資源学科	40 名	



改組後（令和 6 年設置予定）

学科名（入学定員）	コース名	入学定員	合計
生物資源学科 (260 名)	生物資源総合科学コース	30 名	260 名
	農林環境科学コース	110 名	
	海洋生物資源学コース	45 名	
	生命化学コース	75 名	

「注」 上記内容は予定であり，変更となる場合があります。

ー 生物資源学部改組計画について ー

東海・近畿圏においては、SDGs や Society5.0、気候変動や異常気象への対応、脱炭素社会やポストコロナのライフスタイルの変容など生物資源に関わる課題がますます複雑化しています。こうした課題の解決に向け、生物資源各要素の専門性とそれらを繋ぐ俯瞰的視点、フードシステムに関する総合的な知識、データ駆動型農林水産業やデータサイエンスの素養を備えた人材が必要とされています。

そこで社会の要請や学生の希望等に即した各専門分野の育成人数バランスへの柔軟な対応と、分野横断型の教育研究の創出を狙って生物資源学部を1学科とし、専門分野毎のコース制を導入します。

さらに、志望分野を検討中の学生には最適な選択の可能性(1年次は新設の生物資源総合科学コースに所属)を提供します。

生物資源総合科学コース

養成する人物像：生物資源やフードシステム全体の幅広い基礎的知識と分野の多様性を理解し、各分野の特徴を包括的に捉え、自分の適性を把握することができる人物。

学びの特徴：生物資源学の基礎的教育として、農林環境科学概論、海洋生物学、応用生命化学概論、フードシステムチュートリアル等のコア科目を設定し、学生を質的に充実させ、地域を先導する力・生物資源学の俯瞰的な視野と幅広い知識を身につけます。そして、志望分野を検討中の学生に最適な選択の可能性を提供します。

⇒ 2年次に下記の3コースのいずれかへ配属

農林環境科学コース

養成する人物像：持続的な社会の基盤としての生物資源を環境に配慮した方法で循環的に利用するための技術や人類・生物・自然環境が共生できる生物生産システムの開発、新しい社会のデザインをすることができる人物。

学びの特徴：農学専修では、農学の知識に加えて生物学の基礎理論を学び、食料問題の解決や緑豊かな環境を維持するための方策及び技術を身につけます。森林科学専修では、多面的な機能を持つ森林の特性を学び、自然環境との調和を保ちながら森林資源を持続的かつ高度に利用していくために必要な技術を身につけます。農業工学専修では、農村空間や環境の保全修復に関わる科学・技術や生態調和型スマート生物生産技術を身につけます。

海洋生物資源学コース

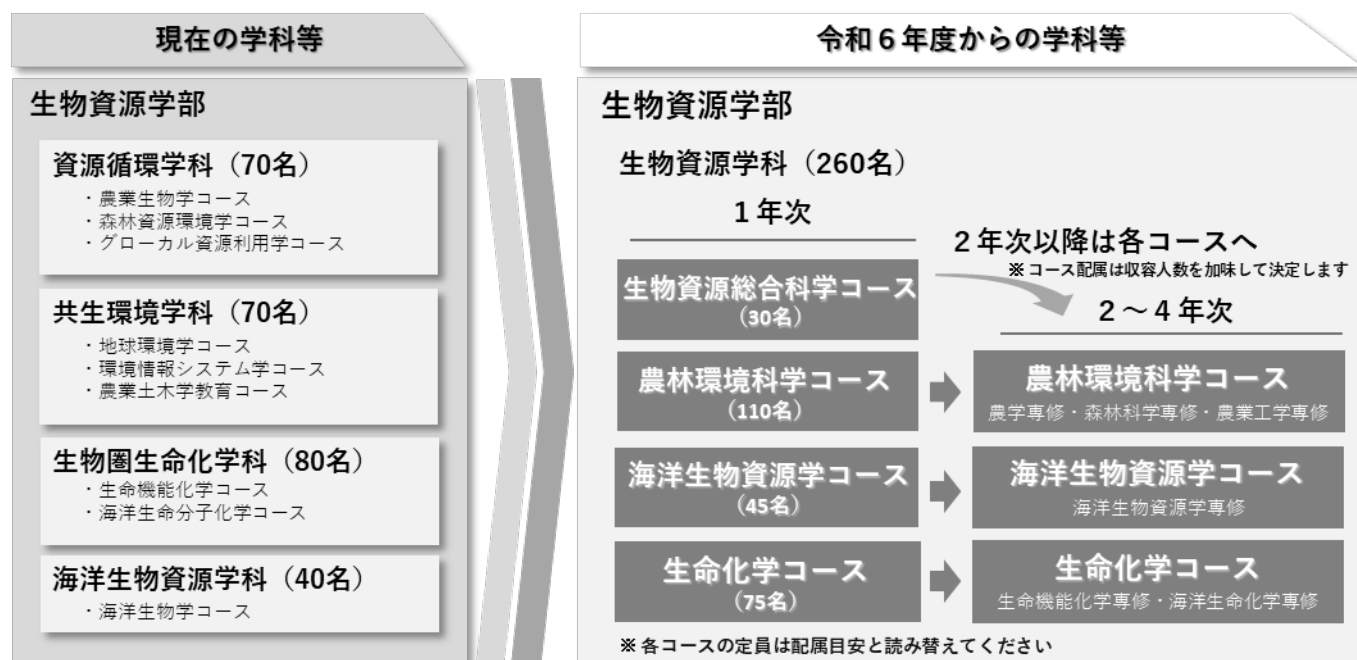
養成する人物像：海洋環境や海洋生物資源を取り巻く様々な問題に対して多面的な視野から解決能力を有する人物。

学びの特徴：プランクトンから魚類・鯨類までの様々な水生生物や気候変動・異常気象などの地球環境を対象にして、海洋における生物と環境との関係を理解し、遺伝子レベルから生態系レベル、気候レベルにわたる多様な視点から海洋生物資源の保全と持続的有効利用法について総合的に学びます。

生命化学コース

養成する人物像：多様な生物の代謝・物質・機能を解析することを通して生命化学の分野における幅広い知識と応用力を有する人物。

学びの特徴：生命機能化学専修では、地球上に生息する多様な生物に関する生理機能及び生物が産生する有用物質の構造と機能に関する化学を学び、食品・健康分野、医薬品分野、環境・エネルギー分野及び生物工学分野などに寄与するバイオサイエンスとバイオテクノロジーについて総合的に学びます。海洋生命化学専修では、多様な海洋生物の生命機能の基礎的性質を化学的に明らかにし、医薬品・食品・香粧品などの原料となる海洋生物資源の有効利用に寄与するバイオサイエンスとバイオテクノロジーについて総合的に学びます。



[目 次]

1. 入学者受入れの方針（アドミッション・ポリシー）	1
2. 入学者選抜の概要	10
3. 募集人員等	11
4. 出願資格	12
5. 入学者選抜方法等	
(1) 令和6年度入学者選抜方法等（一般選抜）	13
(2) 令和6年度入学者選抜方法等（特別選抜等）	15
(3) 令和6年度入学者選抜の実施教科・科目等（一般選抜等）について	17
(4) 個別学力検査等の採点・評価基準	29
(5) 教育学部実技検査の課題又は範囲等	35
(6) 工学部総合工学科建築学コース「立体スケッチ」（後期日程）の問題例・評価基準について	41
(7) 小論文の出題方針・内容	42
(8) ペーパーインタビューの出題方針・内容	42
(9) 2段階選抜	42
6. 「入試過去問題活用宣言」への参加について	43
7. 障害のある入学志願者との事前相談について	44
8. 学生募集要項等の発表時期・大学案内等の資料請求方法について	46
9. 総合型選抜について	48
10. 特別選抜について	
(1) 学校推薦型選抜	
○ 人文学部	49
○ 教育学部	52
○ 医学部	58
○ 工学部	60
○ 生物資源学部	63
(2) 帰国生徒特別選抜	
○ 人文学部	66
○ 生物資源学部	67
(3) 社会人特別選抜	
○ 人文学部	68
○ 医学部（看護学科）	69
○ 生物資源学部	70
三重大学入試情報の案内（スマホ・携帯電話サイト、入試情報ウェブサイト）	71
三重大学位置図	

1. 入学者受入れの方針（アドミッション・ポリシー）

「三 重 大 学」

三重大学は、本学の一員となって学び続ける意欲を持つ、次のような学生を求めます。

- 入学後の修学に必要な基礎的知識と技能を有している（知識・技能）
- ものごとを多様な視点から捉え、論理的に考えることができる（思考力・判断力）
- 自分の考えを的確に表現し、伝えることができる（表現力）
- 人や自然に対して関心を持ち、社会に貢献したいという意欲を有している（主体性）
- 他の人と相互理解を図り協力して、新しい課題に積極的に挑戦しようとする態度を有している（協働性・主体性・多様性）

上記の方針に基づき、学部ごとに、適切な選抜方法を定め、実施します。

「人 文 学 部」

ーこのような人を求めますー

- 人間の文化、または、社会の動きやしぐみに強い関心・好奇心をもっている人。
- 積極的・人間的に生きるために、人間の文化や社会について深く理解することを望む人。
- 現代社会における諸問題を理解し、解決策を探究しようとする意欲がある人。
- そのために必要な基礎学力、論理的思考力、読解力、表現力を持つ人。
- これらの力をさらに高めようとする意欲にあふれる人。

ー入学者選抜方針ー

●一般選抜前期日程

文化学科では、文化や社会を広く深く理解し考えるために必要な総合的基礎学力を見るために大学入学共通テスト（5教科7科目、5教科8科目、6教科7科目又は6教科8科目）を課すとともに、個別学力検査（英語及び国語）を課し、論理的思考力・読解力・表現力を審査します。

法律経済学科では、総合的基礎学力を見るために大学入学共通テスト（5教科7科目、5教科8科目、6教科7科目又は6教科8科目）を課すとともに、個別学力検査（英語を必須とし、国語又は数学から1教科を選択の2教科2科目）を課し、論理的思考力・読解力・表現力を審査します。

●一般選抜後期日程

文化学科では、総合的基礎学力を見るために大学入学共通テスト（5教科7科目、5教科8科目、6教科7科目又は6教科8科目）を課すとともに、小論文によって論理的思考力や表現力を審査します。

法律経済学科では、総合的基礎学力を見るために大学入学共通テスト（5教科7科目、5教科8科目、6教科7科目又は6教科8科目）を課すとともに、小論文によって論理的思考力・読解力・表現力を審査します。

●学校推薦型選抜【法律経済学科のみ】（大学入学共通テストを課さない）【推薦A、B】

現代社会の課題に取り組むために必要な専門知識を身につける意欲を持ち、高等学校長若しくは中等教育学校長が責任をもって推薦する者を対象とします。総合的基礎学力を調査書で、論理的思考力・表現力を課題作文で、勉学への意欲やコミュニケーション能力を志願理由書及び面接で評価し、総合的な選抜をします。

●学校推薦型選抜（大学入学共通テストを課す）【推薦C】

文化学科では、人間の文化と社会の動きやしぐみについて深く理解するために必要な専門知識を身につける意欲を持ち、高等学校長若しくは中等教育学校長が責任をもって推薦する者を対象とします。総合的基礎学力を調査書及び大学入学共通テスト（5教科7科目、5教科8科目、6教科7科目又は6教科8科目）で、論理的思考力・勉学への意欲やコミュニケーション能力を志願理由書及び面接で評価し、総合的な選抜をします。

法律経済学科では、現代社会の課題に取り組むために必要な専門知識を身につける意欲を持ち、高等学校長若しくは中等教育学校長が責任をもって推薦する者を対象とします。総合的基礎学力を調査書及び大学入学共通テスト（5教科7科目、5教科8科目、6教科7科目又は6教科8科目）で、論理的思考力・勉学への意欲やコミュニケーション能力を志願理由書及び面接で評価し、総合的な選抜をします。

●帰国生徒特別選抜

小論文で文化や社会への関心と論理的思考力・表現力を、また、面接によって勉学への意欲やコミュニケーション能力を審査します。これらに出願書類の審査を加え、総合的な選抜をします。

●社会人特別選抜

文化や社会を広く深く理解し考えるために必要な基礎学力の一部を外国語で審査するとともに、小論文で文化や社会への関心と論理的思考力・表現力を、面接によって勉学への意欲やコミュニケーション能力を審査します。これらに出願書類の審査を加えて総合的な選抜をします。

●私費外国人留学生特別選抜

小論文で文化や社会への関心と論理的思考力・表現力を、また、面接によって日本で学ぼうとする勉学意欲やコミュニケーション能力を見ます。これらに出願書類（日本留学試験の成績を含む）の審査を加えて総合的な選抜をします。なお、1年次入学後の生活において相当な成果をあげられるような日本語能力を有しているかどうかを見るために、小論文及び面接は、いずれも日本語により行います。

―各選抜方法における学力の3要素の評価方法―

人文学部では、次表のとおり学力の3要素について評価を行います。

表中の「○」は重点評価対象項目であることを示し、「(総合判定の参考)」は総合的な判定を行う場合の評価対象項目であることを示しています。

<人文学部>

選抜方法等			学力の3要素				
			①		②		③
			知識	技能	思考力	判断力	表現力
大学入学共通テスト			○		○		
前期日程	個別学力検査		○		○		
後期日程	小論文調査書		○		○		
学校推薦型選抜	推薦A・B	課題作文	○		○		
		面接			○		○
		調査書					(総合判定の参考)
		志願理由書					(総合判定の参考)
	推薦C	面接			○		○
		調査書					(総合判定の参考)
		志願理由書					(総合判定の参考)

「教育学部」

―このような人を求めます―

- 子どもと教育に関心を持ち、将来、教員になりたいと思っている人（関心・意欲・態度）
- 教育に関する専門的な知識・技能を学修する上で必要となる基礎学力を有している人（知識・理解）
- ものごとを多様な視点から捉え、論理的に考えようとする人（思考・判断）
- 自分の考えを的確に表現し、伝えようとする人（技能・表現）

―入学者選抜方針―

●一般選抜前期日程

志望するコース・専攻で学修するために必要となる総合的基礎学力を見るために、大学入学共通テスト（5教科7科目、5教科8科目、6教科7科目又は6教科8科目）を課します。また、論理的思考力・判断力、発想力、読解力、表現力、関心、意欲及び各コースへの適正等を見るために、個別学力検査（国語、数学又は英語から2教科の筆記試験、実技試験及び調査書等）を課します。

●一般選抜後期日程

志望するコース・専攻で学修するために必要となる総合的基礎学力を見るために、大学入学共通テストを課します。また、論理的思考力・判断力、発想力、表現力、関心・意欲・態度及び各コースへの適性等を見るために、個別学力検査（実技試験、小論文、面接及び調査書等）を課します。

●学校推薦型選抜（大学入学共通テストを課さない）【推薦Ⅰ】

技術・ものづくり教育（中等教育選修のみ）、学校教育（教育学専攻、教育心理学専攻）の各コース・専攻で募集します。志望する分野における学修への強い熱意と探究心、積極的で主体的に取り組む態度を見るために、個別学力検査（面接及び出願書類）を課します。また、志望する分野における専門的知識と幅広い基礎学力を見るために、個別学力検査（小論文）を課します。

●学校推薦型選抜（大学入学共通テストを課す）【推薦Ⅱ】

家政教育コース（初等教育選修）で募集します。志望する分野における学修への強い熱意と探究心、積極的で主体的に取り組む態度を見るために、個別学力検査（面接及び出願書類）を課します。また、志望する分野で学修するために必要となる総合的基礎学力を見るために、大学入学共通テストを課します。

●学校推薦型選抜（大学入学共通テストを課す）【地域推薦（三重県南部地域）】

国語教育、社会科教育、数学教育、理科教育、音楽教育、美術教育、保健体育、技術・ものづくり教育、家政教育、英語教育（いずれも初等教育選修のみ）、及び学校教育（教育学専攻、教育心理学専攻）の各コース・専攻で募集します。志望する分野における学修への強い熱意と探究心、積極的で主体的に取り組む態度、及び、三重県南部地域の小学校教育に将来的に貢献する意志の有無を見るために、個別学力検査（面接及び出願書類）を課します。また、志望する分野で学修するために必要となる総合的基礎学力を見るために、大学入学共通テストを課します。

●学校推薦型選抜（大学入学共通テストを課す）【地域推薦（三重県全域）】

国語教育、社会科教育、数学教育、理科教育、音楽教育、美術教育、保健体育、技術・ものづくり教育、家政教育、英語教育（いずれも初等教育選修のみ）、特別支援教育、幼児教育及び学校教育（教育学専攻、教育心理学専攻）の各コース・専攻で募集します。志望する分野における学修への強い熱意と探究心、積極的で主体的に取り組む態度、及び、三重県の教育に将来的に貢献する意志の有無を見るために、個別学力検査（面接及び出願書類）を課します。また、志望する分野で学修するために必要となる総合的基礎学力を見るために、大学入学共通テストを課します。

—各選抜方法における学力の3要素の評価方法—

教育学部では、次表のとおり学力の3要素について評価を行います。

表中の「○」は重点評価対象項目であることを示し、「（総合判定の参考）」は総合的な判定を行う場合の評価対象項目であることを示しています。また、「○」の後に（ ）で記載した内容は、特に（ ）の内容が重点評価対象項目であることを示しています。

<教育学部>

選抜方法等		学力の3要素				
		①		②		③
		知識	技能	思考力	判断力	表現力
大学入学共通テスト		○		○		
前期日程	個別学力検査	○		○		○
	実技		○	○*		○*
	教員志望確認書					○（主体性を評価対象とします）
	競技成績等調書					（総合判定の参考）
後期日程	個別学力検査	○		○		○
	小論文			○		○
	面接			○*		○*
	実技		○	○*		○*
	教員志望確認書					○（主体性を評価対象とします）
	競技成績等調書					（総合判定の参考）
学校推薦型選抜	推薦Ⅰ	小論文	○		○*	○*
		面接			○*	○*
		調査書				（総合判定の参考）
		推薦書				（総合判定の参考）
		志願理由書				（総合判定の参考）
		教員志望確認書				（総合判定の参考）
						○（主体性を評価対象とします）*
	推薦Ⅱ	面接		○		○
		調査書				（総合判定の参考）
		推薦書				（総合判定の参考）
		志願理由書				（総合判定の参考）
		教員志望確認書				（総合判定の参考）
	地域推薦	小論文		○		○
		面接				○
		実技		○	○*	○*
		調査書				（総合判定の参考）
		推薦書				（総合判定の参考）
		志願理由書				（総合判定の参考）

*一部のコースに限る

「医 学 部」

ーこのような人を育てますー

医学部における教育に関する方針は、「医療に求められる使命感、倫理観、臨床判断力・実践力と医学・看護学研究を推進する創造的研究力を培い、人類の健康と福祉に貢献する医療人を育成する」ことです。

医学科では、基礎医学、社会医学、臨床医学の分野で活躍する人材を養成していきます。すなわち、コミュニケーション能力に優れ、幅広い知識と質の高い技術を持って患者中心の医療を実践できる能力、自ら問題を発見し科学的根拠に基づいた思考によって問題を解決できる能力、あるいは地域及び国際社会における健康の増進、疾病の予防に寄与し、人類の保健、繁栄に貢献できる能力を養います。

看護学科では、人間の誕生から死に至るまでの、様々な健康状態にある人達の健康と生活の質の向上にむけた支援ができるよう、Heart(こころ)・Head(専門知識)・Hand(専門技術)を伸ばす教育を通して、広く保健・医療に携わる看護職者を育成します。そして、倫理観と責任感を備え、協調性のある豊かな人間性と国際的感覚をもち、地域医療・保健に貢献できる看護職者の育成に努めます。

ーこのような人を求めますー

医学科では特に以下の人を求めます。

- 医学の進歩と人類の健康の向上に対して高い関心を持っている。
- 入学後の修学に必要な学習能力と誠実な人間性を備えている。
- 困難に立ち向かう強さと人への優しさを備えている。
- 地域医療への貢献に対する意識を持っている。

看護学科では特に以下の人を求めます。

- 看護職者を目指すために必要な基礎学力を備え、論理的に物事を考えられる人。
- 人の健康に関心が強く、看護の分野で社会に貢献する意志をもっている人。
- 探求心と自立心をもって、主体的・協働的に課題に取り組める人。
- 相手の立場を理解し、柔軟に物事を考え、表現できる人。
- 国際的な視野をもち、地域の医療・保健の向上に貢献することを希望する人。

ー入学者選抜方針ー

●一般選抜前期日程

医学科では、大学入学共通テスト以外に大学入学共通テストだけでは不十分と思われる内容に関して個別学力検査を課し、両者の総合点で科学的、論理的な思考や医学を学び活かすための基礎学力の程度を評価します。面接で、医師としての適格性を判断することにより、アドミッション・ポリシーに沿った人材の選抜を行います。

看護学科では、総合的基礎学力を重視し、目的意識を向上させ実現できる力を総合的に評価するために、大学入学共通テストと個別学力検査（英語を必須とし、国語又は数学から1教科を選択の2教科の筆記試験、面接）を実施します。

●一般選抜後期日程

医学科では、大学入学共通テスト以外に大学入学共通テストだけでは不十分と思われる内容に関して個別学力検査を課し、両者の総合点で科学的、論理的な思考や医学を学び活かすための基礎学力の程度を評価します。面接で、医師としての適格性を判断することにより、アドミッション・ポリシーに沿った人材の選抜を行います。

看護学科では、総合的基礎学力と、人間・環境・健康などへの洞察力、論理性、表現力を評価するために、大学入学共通テストと個別学力検査（小論文、面接）を実施します。

●学校推薦型選抜（大学入学共通テストを課す）

医学科では、大学入学共通テストの成績で、論理的な思考や医学を学び活かすための基礎学力の程度を評価し、2日間の詳細面接並びに小論文で、医師としての適格性を評価し、アドミッション・ポリシーに沿った人材の選抜を行います。

看護学科では、看護学の授業や実習での体験を総合的に学び活かせる基礎学力の程度を評価するために大学入学共通テストを課し、さらに看護職への強い関心・意欲、探求心、社会貢献への希望など、看護への適性を判断するために面接を実施します。

●社会人特別選抜

看護学科では、社会人としての経験や識見、看護を学ぶ目的と強い熱意、基礎学力などを評価するために、小論文、面接を実施し、国際的なコミュニケーション能力を評価するために、TOEIC®スコアの一定水準取得を出願要件とし、アドミSSION・ポリシーにある看護職者としての適性について総合的に評価します。

―各選抜方法における学力の3要素の評価方法―

医学部では、次表のとおり学力の3要素について評価を行います。

表中の「○」は重点評価対象項目であることを示し、「(総合判定の参考)」は総合的な判定を行う場合の評価対象項目であることを示しています。

<医学部医学科>

選抜方法等			学力の3要素				
			①		②		③
			知識	技能	思考力	判断力	表現力
大学入学共通テスト			○	○	○	○	○
前期日程	個別学力検査		○	○	○	○	○
	面接		○	○	○	○	○
	調査書		○	○	○	○	○
後期日程	小論文		○	○	○	○	○
	面接		○	○	○	○	○
	調査書		○	○	○	○	○
学校推薦型選抜	推薦	小論文	○	○	○	○	○
		面接	○	○	○	○	○
		調査書	○	○	○	○	○
		推薦書	○	○	○	○	○
		志願理由書	○	○	○	○	○

<医学部 看護学科>

選抜方法等			学力の3要素				
			①		②		③
			知識	技能	思考力	判断力	表現力
大学入学共通テスト			○	○	○	○	○
前期日程	個別学力検査		○	○	○	○	○
	面接		○	○	○	○	○
	調査書		○	○	○	○	○
後期日程	小論文		○	○	○	○	○
	面接		○	○	○	○	○
	調査書		○	○	○	○	○
学校推薦型選抜	推薦	面接	○	○	○	○	○
		調査書	○	○	○	○	○
		推薦書	○	○	○	○	○
		志願理由書	○	○	○	○	○

「工 学 部」

―このような人を育てます―

工学部は、科学技術の分野における先端的、創造的な職業能力はもとより、自然、社会、文化等に対する深い見識を育むことを目指して、学生と教員のふれあいを重視した教育を行っています。特に演習、実験、卒業研究等、研究室での少人数教育を通して、世界に通用する学問及び社会の進歩を支えるものづくりに不可欠な技術の修得と、社会で活躍するための実践力や表現力を養います。

―このような人を求めます―

- 自然、社会、文化等に対して幅広い関心が有り、それらの基礎学力を持った人。
- 工学を理解するために必要な数学、理科に興味があり、それらを応用する能力と自主的に学ぶ意欲を持った人。
- 自分の考えを的確に表現し、論理的に伝えることができる人。
- 工学における問題解決の実践に情熱があり、社会に貢献しようという気概を持った人。
- 工学とその周辺分野に対する旺盛な好奇心を持ち、真摯に問題を探求し続ける姿勢を持った人。

ー入学者選抜方針ー

●一般選抜前期日程

大学入学共通テストでは国語、地歴・公民、数学、理科、外国語の5教科7科目を課し、これまでに身につけた幅広い基礎学力とその到達度を見ます。さらに個別学力検査では、工学を学ぶ上で不可欠な数学と理科を課し、大学入学共通テストと個別学力検査の総合成績により入学者を選抜します。

●一般選抜後期日程

各コースでは前期日程試験とは異なる観点から、専門性に照らした資質、能力、応用力を見るために個別学力検査を課し入学者を選抜します。検査科目は機械工学コース、電気電子工学コースでは物理、応用化学コースでは化学、情報工学コースでは数学、また建築学コースでは立体スケッチと面接で、専門分野への適性、意欲、関心等で評価を加味し、総合的に判断して入学者を選抜します。

●総合型選抜

一般選抜とは異なる観点から学習意欲旺盛で進取の気概に富んだ学生を求めて、総合型選抜を行います。2月に実施し、大学入学共通テスト結果を考慮のうえ出願書類と面接の結果を総合して選抜するもので、情報工学コースで実施します。

●学校推薦型選抜（大学入学共通テストを課さない）【推薦①】

工学に関する専門知識を身につける意欲を持ち、高等学校長若しくは中等教育学校長が責任をもって推薦する者を対象とします。科学への関心が高く、工学部、特に志望する教育コースで学ぶために必要な基礎知識と理解力を持ち、工学に関する問題の解決能力を自ら進んで身につける意欲のある学生を求めるために、小論文、面接及び出願書類（電気電子工学コースは筆記試験、応用化学コースは基本的な化学実験もあり）によって選抜します。

●学校推薦型選抜（大学入学共通テストを課す）【推薦②】

機械工学に関する専門知識を身につける意欲を持ち、高等学校長若しくは中等教育学校長が責任をもって推薦する者を対象とします。科学への関心が高く、機械工学コースで学ぶために必要な基礎知識と理解力を持ち、工学に関する問題の解決能力を自ら進んで身につける意欲のある学生を求めるために、大学入学共通テスト（3教科5科目）、面接及び出願書類によって選抜します。

●学校推薦型選抜（大学入学共通テストを課さない）【推薦③】

工業（電気電子）に関する学科で学んだ者のうち、高等学校長若しくは中等教育学校長が責任をもって推薦する者を対象とします。科学への関心が高く、電気電子工学コースで学ぶために必要な基礎知識と理解力を持ち、工学に関する問題の解決能力を自ら進んで身につける意欲のある学生を求めるために、面接及び出願書類によって選抜します。

●私費外国人留学生特別選抜

日本で積極的に学ぶ意欲に加え、入学後に日本語での講義がよく理解できる日本語能力及び科目の履修に必要な基礎的知識と理解力を十分備えているかどうかを、出願書類と口頭試問の結果から総合的に判定し選抜します。

ー各選抜方法における学力の3要素の評価方法ー

工学部では、次表のとおり学力の3要素について評価を行います。

表中の「○」は重点評価対象項目であることを示し、「（総合判定の参考）」は総合的な判定を行う場合の評価対象項目であることを示しています。また、「○」の後に（）で記載した内容は、特に（）の内容が重点評価対象項目であることを示しています。

<工学部 機械工学コース>

選抜方法等			学力の3要素				
			①		②		③
			知識	技能	思考力	判断力	表現力
大学入学共通テスト			○		○		
前期日程	個別学力検査		○		○		○
後期日程	個別学力検査		○		○		
	調査書						（総合判定の参考）
学校推薦型選抜	推薦①	小論文	○		○		○
		面接	○		○		○（主体性を評価対象とします）
		調査書					○
		推薦書	○				○（主体性・多様性を評価対象とします）
	推薦②	面接	○		○		○
		調査書					○
		推薦書	○				○（主体性・多様性を評価対象とします）
		志願理由書				○	○（主体性・多様性を評価対象とします）

<工学部 電気電子工学コース>

選抜方法等			学力の3要素					
			①		②		③	
			知識	技能	思考力	判断力	表現力	主体性を持ち、多様な人々と協働しつつ学習する態度
大学入学共通テスト			○		○			
前期日程	個別学力検査		○		○		○	
後期日程	個別学力検査		○		○			
	調査書							(総合判定の参考)
学校推薦型選抜	推薦①	筆記試験（物理・数学）	○		○		○	
		面接	○		○		○	○（主体性を評価対象とします）
		調査書						○
		推薦書	○					○（主体性・多様性を評価対象とします）
		志願理由書					○	○（主体性・多様性を評価対象とします）
	推薦③	面接	○		○		○	○
		資格試験	○					○（主体性・多様性を評価対象とします）
		調査書						○
		推薦書	○					○（主体性・多様性を評価対象とします）
		志願理由書					○	○（主体性・多様性を評価対象とします）

<工学部 応用化学コース>

選抜方法等			学力の3要素					
			①		②		③	
			知識	技能	思考力	判断力	表現力	主体性を持ち、多様な人々と協働しつつ学習する態度
大学入学共通テスト			○		○			
前期日程	個別学力検査		○		○		○	
後期日程	個別学力検査		○		○			
	調査書							(総合判定の参考)
学校推薦型選抜	推薦①	基本的な化学実験	○			○		○（主体性を評価対象とします）
		小論文	○		○		○	
		面接	○		○		○	○
		調査書						○
		推薦書						○（主体性・多様性を評価対象とします）
		志願理由書					○	○（主体性・多様性を評価対象とします）

<工学部 建築学コース>

選抜方法等			学力の3要素					
			①		②		③	
			知識	技能	思考力	判断力	表現力	主体性を持ち、多様な人々と協働しつつ学習する態度
大学入学共通テスト			○		○			
前期日程	個別学力検査		○		○		○	
後期日程	立体スケッチ		○		○		○	
	面接		○		○		○	○

<工学部 情報工学コース>

選抜方法等			学力の3要素					
			①		②		③	
			知識	技能	思考力	判断力	表現力	主体性を持ち、多様な人々と協働しつつ学習する態度
大学入学共通テスト			○		○			
前期日程	個別学力検査		○		○		○	
後期日程	個別学力検査		○		○		○	
	調査書							(総合判定の参考)
総合型選抜	面接		○		○		○	○（主体性を評価対象とします）
	調査書							○
	自己推薦書						○	○（主体性を評価対象とします）

<工学部 総合工学コース>

選抜方法等			学力の3要素					
			①		②		③	
			知識	技能	思考力	判断力	表現力	主体性を持ち、多様な人々と協働しつつ学習する態度
大学入学共通テスト			○		○			
前期日程	個別学力検査		○		○		○	

「生物資源学部」

—このような人を育てます—

生物資源学部は、地域に根ざした視点に立ちながらも国際的な視野をもち、自然との共存を図りつつ生物資源の適正な開発・利用と保全を追求するための科学技術に関する教育・研究成果を生み出すことを目指しています。そのために、自然科学分野の基礎知識だけでなく農林水産学、環境科学、生命科学の各分野における専門知識を身に付けることにより、独創性と広い視野を持ち、地域社会だけでなく国際社会にも貢献できる人材の育成を目標にしています。

—このような人を求めます—

- 高等学校の教育課程において履修する内容を十分に理解し、高校卒業レベルの知識を有する人。
- 農林水産学を対象とした専門高校において専門科目を深く学び、優れた成績を修めた人。
- 入学後の修学に必要な基礎学力としての知識ならびに理解能力を有している人。
- 生命科学や農林水産学に関わる様々な現象に関心を持ち、生物資源の適正な開発・利用と保全に関心のある人。
- 自然と人が共生する持続的社会的な創出を目指し、社会貢献に対する明確な目的意識を有する人。

—入学者選抜方針—

●一般選抜前期日程

生物資源の適正な開発・利用と保全を学ぶために必要とされる幅広い基礎学力と語学力に加え、理数系の能力を見るために、大学入学共通テスト（5教科7科目）と個別学力検査（数学と理科）により選抜します。

●一般選抜後期日程

生物資源の適正な開発・利用と保全を学ぶために必要とされる幅広い基礎学力と英語力に加え、理数系の能力を見るために、大学入学共通テスト（5教科7科目）と個別学力検査（数学又は理科）を課すほか、大学入学後の学修への関心・意欲等を総合的に判断するため、ペーパーインタビュー（面接に代わる筆記試験）を実施し選抜します。

●学校推薦型選抜（大学入学共通テストを課さない）【推薦Ⅰ】

農業、水産、工業に関する学科又は総合学科で学んだ者のうち、高等学校長若しくは中等教育学校長が責任をもって推薦する者を対象とします。自然科学への関心が高く、生物資源学部、特に志望する専修で学ぶために必要な基礎知識と理解力を持ち、生物資源に関する問題の解決能力を自ら進んで身につける意欲のある学生を求めるために、小論文、面接及び出願書類により選抜します。

●学校推薦型選抜（大学入学共通テストを課す）【推薦Ⅱ】

普通科又はそれに準ずる学科で学んだ者のうち、高等学校長若しくは中等教育学校長が責任をもって推薦する者を対象とします。自然科学への関心が高く、生物資源学部で学ぶために必要な基礎知識と理解力を持ち、生物資源に関する問題の解決能力を自ら進んで身につける意欲のある学生を求めるため、大学入学共通テスト、面接及び出願書類により選抜します。

特に、生物資源総合科学コースでは、地域課題に対する意欲の高い学生を求めます。

●帰国生徒特別選抜

生物資源の適正な開発・利用と保全に関心を持ち、海外在住の経験を生かして国際的に通用する専門知識を有し、コミュニケーション能力、基礎的な知識・理解力がある学生を求めるために、総合問題（英語、数学、小論文の総合問題）、面接及び出願書類の結果を総合して選抜します。

●社会人特別選抜

生物資源の適正な開発・利用と保全に関心を持ち、社会人としての経験と識見を生かして積極的に学ぶ意欲を有し、コミュニケーション能力、基礎的な知識・理解力がある学生を求めるために、総合問題（英語、数学、小論文の総合問題）、面接及び出願書類の結果を総合して選抜します。

●私費外国人留学生特別選抜

生物資源の適正な開発・利用と保全に関心を持ち、国際的に通用する基礎能力を積極的に身につける意欲があり、コミュニケーション能力、基礎的な知識・理解力がある学生を求めるために、面接及び出願書類の結果を総合して選抜します。

—各選抜方法における学力の3要素の評価方法—

生物資源学部では、次表のとおり学力の3要素について評価を行います。

表中の「○」は重点評価対象項目であることを示しています。

<生物資源学部 生物資源総合科学コース>

選抜方法等			学力の3要素				
			①		②		③
			知識	技能	思考力	判断力	表現力
大学入学共通テスト			○		○		
前期日程	個別学力検査		○		○		
学校推薦型選抜	推薦Ⅱ (紀伊黒潮枠)	面接	○		○		○
		調査書					
		志願理由書					○

<生物資源学部 農林環境科学コース・海洋生物資源学コース・生命化学コース>

選抜方法等			学力の3要素				
			①		②		③
			知識	技能	思考力	判断力	表現力
大学入学共通テスト			○		○		
前期日程	個別学力検査		○		○		
後期日程	個別学力検査		○		○		
	ペーパーインタビュー						○
学校推薦型選抜	推薦Ⅰ	小論文	○		○		○
		面接	○		○		○
		調査書					
		志願理由書					○
	推薦Ⅱ	面接	○		○		○
		調査書					
		志願理由書					○

2. 入学者選抜の概要

I. 個別学力検査の実施方式等

(1) 注意事項

出願に際しては、次の各事項に十分注意してください。

- ① 本学の一般選抜は、学部・学科・課程等の入学定員を分割し、「前期日程」及び「後期日程」によりそれぞれ入学者を募集する「分離分割方式」で実施します。
- ② 併願について
本学の「前期日程」に出願する者は、他の国公立大学・学部（※独自日程で入学者選抜試験を行う公立大学・学部を除く。以下同じ。）の「前期日程」に出願することはできません。
また、本学の「後期日程」に出願する者は、他の国公立大学・学部の「後期日程」に出願することはできません。
したがって、試験日程グループ間の併願については、「前期日程」と「後期日程」の併願はできませんが、「前期日程」と「前期日程」、「後期日程」と「後期日程」のそれぞれの併願はできません。
※公立大学協会ホームページ (<https://www.kodaikyo.org>) 「公立大学の入試」参照
- ③ 学内併願について
本学の学部間においても、「前期日程」から一つ、「後期日程」から一つの合計二つの学部又は同一学部の学科・課程等に出願することができます。
- ④ 本学又は他の国公立大学・学部の学校推薦型選抜合格者は、当該大学の定めにより入学辞退を許可された場合を除いて、本学の個別学力検査等を受験しても合格者とはなりません。
- ⑤ 本学又は他の国公立大学・学部の総合型選抜合格者は、当該大学の定めにより入学辞退届を提出した場合を除いて、本学の個別学力検査等を受験しても合格者とはなりません。
- ⑥ 「前期日程」の試験に合格し、所定の期日までに入学手続きを完了した者は、「後期日程」の大学・学部の合格者とはなりません。

(2) 試験日

【前期日程】

学 部	試 験 日
人 文 学 部 教 育 学 部 工 学 部 生物資源学部	令和6年2月25日(日)
医 学 部	令和6年2月25日(日)、26日(月)

【後期日程】

学 部	試 験 日
人 文 学 部 教 育 学 部 医 学 部 工 学 部 生物資源学部	令和6年3月12日(火)

(3) 出願期間

令和6年1月22日(月)～2月2日(金)

(4) 合格者発表

前期日程 令和6年3月8日(金) 10時頃

後期日程 令和6年3月22日(金) 15時頃

II. 総合型選抜

学部・学科が求める学生像に適した資質を問う入試です。

本学では、工学部総合工学科情報工学コース（募集人員5名）において実施します。

なお、詳細は48ページを参照してください。

III. 特別選抜

学校推薦型選抜等の特別選抜については、49～70ページを参照してください。

3. 募集人員等

学部	学科・コース		入学定員	募 集 人 員						備 考
				一般選抜		総合型選抜	特別選抜			
				前期日程	後期日程		学校推薦型選抜	帰国生徒	社会人	
人文学部	文 化 学 科		92	67	18		5	1	1	「注1」「注2」「注5」参照
	法 律 経 済 学 科		153	100	33		18	1	1	
	計		245	167	51		23	2	2	
医学部	医 学 科		125	75	10		40			「注1」「注3」「注6」「注7」「注9」参照
	看 護 学 科		80	52	5		20		3	
	計		205	127	15		60		3	
工学部	総合工学科	総 合 工 学 コ ー ス	40	40						「注1」「注4」参照 ※各コースの入学定員は配属目安と読み替えてください。
		機 械 工 学 コ ー ス	80	45	15		20			
		電 気 電 子 工 学 コ ー ス	90	42	35		13			
		応 用 化 学 コ ー ス	90	40	40		10			
		建 築 学 コ ー ス	40	30	10					
		情 報 工 学 コ ー ス	60	25	30	5				
計		400	222	130	5	43				
生物資源学部	生物資源学科	生 物 資 源 総 合 科 学 コ ー ス	30	15			15			「注1」「注2」「注10」参照 ※各コースの入学定員は配属目安と読み替えてください。
		農 林 環 境 科 学 コ ー ス	110	53	28		25	2	2	
		海 洋 生 物 資 源 学 コ ー ス	45	25	10		8	1	1	
		生 命 化 学 コ ー ス	75	41	10		22	1	1	
		計	260	134	48		70	4	4	

学部	課程・コース・選修			入学定員	募 集 人 員								備 考
					一般選抜		特別選抜						
					前期日程	後期日程	学校推薦型選抜 推薦Ⅰ 推薦Ⅱ		地域推薦 三重県南部地域 三重県全域		帰国生徒	社会人	
教育学部	学校教育 教員養成 課程	国 語 教 育 コ ー ス	初等教育選修	23	11	3			「注8」	「注8」			「注1」 参照
			中等教育選修		7	2							
		社 会 科 教 育 コ ー ス	初等教育選修	17	8	2			「注8」	「注8」			
			中等教育選修		5	2							
		数 学 教 育 コ ー ス	初等教育選修	21	11				「注8」	「注8」			
			中等教育選修		10								
		理 科 教 育 コ ー ス	初等教育選修	19	10				「注8」	「注8」			
			中等教育選修		9								
		音 楽 教 育 コ ー ス	初等教育選修	10	4	3			「注8」	「注8」			
			中等教育選修		3								
		美 術 教 育 コ ー ス	初等教育選修	9	6				「注8」	「注8」			
			中等教育選修		3								
		保 健 体 育 コ ー ス	初等教育選修	17	6	3			「注8」	「注8」			
			中等教育選修		5	3							
		技術・ものづくり教育コース	初等教育選修	10	5				「注8」	「注8」			
			中等教育選修		4		1						
		家 政 教 育 コ ー ス	初等教育選修	13	5			3	「注8」	「注8」			
			中等教育選修		5								
		英 語 教 育 コ ー ス	初等教育選修	13	6				「注8」	「注8」			
			中等教育選修		7								
		特別支援教育コース		18	11	7				「注8」			
		幼 児 教 育 コ ー ス		10	10					「注8」			
		学 校 教 育 コ ー ス	教育学専攻	20	7		3		「注8」	「注8」			
			教育心理学専攻		7		3		「注8」	「注8」			
計				200	165	25	7	3	若干名「注8」	若干名「注8」			

合 計	入学定員	募 集 人 員						備 考
		一般選抜		総合型選抜	特別選抜			
		前期日程	後期日程		学校推薦型選抜	帰国生徒	社会人	
	1310	815	269	5	206「注8」	6	9	

- [注] 1. 学校推薦型選抜で欠員が生じた場合の欠員補充は、人文学部、教育学部は前期日程で、医学部、工学部、生物資源学部は一般選抜で行います。
2. 帰国生徒特別選抜及び社会人特別選抜で欠員が生じた場合の欠員補充は、人文学部、生物資源学部ともに一般選抜で行います。
3. 医学部看護学科の社会人特別選抜で欠員が生じた場合の欠員補充は、一般選抜で行います。
4. 総合型選抜で欠員が生じた場合の欠員補充は、一般選抜で行います。
5. 人文学部文化学科の学校推薦型選抜における募集人員の内訳は、推薦A：5名です。
人文学部法律経済学科の学校推薦型選抜における募集人員の内訳は、推薦A：5名、推薦B：3名、推薦C：10名です。
6. 医学部医学科の前期日程における募集人員には、三重県地域医療枠5名程度を含みます。
7. 医学部医学科の学校推薦型選抜における募集人員には、地域枠30名（地域枠A：25名程度、地域枠B：5名程度）を、医学部看護学科の学校推薦型選抜における募集人員には、地域枠13名程度を含みます。
8. 教育学部地域推薦について
(1) 地域推薦（三重県南部地域）の合格者は、各コース1名以内、合計5名以内とします。また、合格者があった場合は前期日程の定員を充当します。
(2) 地域推薦（三重県全域）の合格者は、前期日程初等教育選修の募集人員（選修の別がないコースは前期日程の募集人員）が5名以下のコースは1名以内、6名以上の場合は2名以内とします。また、合格者があった場合は前期日程の定員を充当します。
9. 医学部医学科の入学定員及び募集人員は、医学部臨時定員増に関する文部科学省・厚生労働省への手続等を検討中であることから、令和5年度入試の状況を記載しております。医学部医学科志願者は令和6年度学生募集要項（一般選抜・学校推薦型選抜）を確認の上、出願してください。
10. 生物資源学部生物資源学科（生物資源総合科学コース）の学校推薦型選抜における募集人員は、紀伊黒潮枠15名とします。

4. 出 願 資 格

本学の一般選抜に出願することができる者は、次の各号のいずれかに該当し、かつ令和6年度大学入学共通テストにおいて、本学が指定した教科・科目を受験した者です。

- (1) 高等学校若しくは中等教育学校を卒業した者及び令和6年3月卒業見込みの者
- (2) 通常の課程による12年の学校教育を修了した者及び令和6年3月修了見込みの者
- (3) 学校教育法施行規則（昭和22年文部省令第11号）第150条の規定により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められる者及び令和6年3月31日までにこれに該当する見込みの者（次の①から⑥のいずれかに該当する者）
 - ① 外国において学校教育における12年の課程を修了した者及び令和6年3月31日までに修了見込みの者又はこれに準ずる者で文部科学大臣の指定したもの
 - ② 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を修了した者及び令和6年3月31日までに修了見込みの者
 - ③ 専修学校の高等課程（修業年限が3年以上であること。その他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。）で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以降に修了した者及び令和6年3月31日までに修了見込みの者
 - ④ 文部科学大臣の指定した者
 - ⑤ 高等学校卒業程度認定試験規則（平成17年文部科学省令第1号）により文部科学大臣が行う高等学校卒業程度認定試験に合格した者及び令和6年3月31日までに合格見込みの者で、令和6年3月31日までに18歳に達するもの（同規則附則第2条の規定による廃止前の大学入学資格検定規程（昭和26年文部省令第13号）による大学入学資格検定に合格した者を含む。）
 - ⑥ 本学において、個別の入学資格審査により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者で、令和6年3月31日までに18歳に達するもの

「注」

出願資格⑥により出願を希望する者については、本学への出願前に個別の入学資格審査を行いますので、必要書類を添えて申請してください。個別の入学資格審査の詳細については、本学ウェブサイトの「入試情報」(<https://www.mie-u.ac.jp/exam/index.html>)を参照してください。

なお、他大学において入学資格の認定を受け、令和6年度大学入学共通テストに出願し受験した者が、本学の一般選抜に出願する場合は、出願受付開始日の7日前（令和6年1月15日(月)）までに申請してください。（土・日・祝日・年末年始を除く。）

問い合わせ先 三重大学学務部入試チーム
電話 059-231-9063

5. 入学者選抜方法等

入学者の選抜は、大学入学共通テスト、本学が実施する個別学力検査、実技検査、小論文、面接及び調査書を総合して行います。

個別学力検査等は、本学が指定した令和6年度入学者選抜の実施教科・科目により実施します。

なお、本学の令和6年度入学者選抜においては、大学入学共通テストの前年度成績利用は行いません。

(1) 令和6年度入学者選抜方法等（一般選抜）

選抜方法等 学部・学科名等				個別学力検査等									個別学力 検査等の 日 程	備 考																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
				個別 学力 検査 を課 す	実 技 検 査 等					2 段 階 選 抜																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
					実 技 検 査 を 行 う	面 接 を 課 す	小 論 文 を 課 す	ペーパー インタビ ューを課 す	外国語 におけ るリス ニング を課す	調 査 書 等	大学入学共 通テストの 成績により 第1段階選 抜を行い、そ の合格者に ついて更に 必要な検査 等を行う	第1段階の選抜 による合格者数																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																										
												定員 に 対 する 倍 率			そ の 他																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																							
人文学部	前期	文 化 学 科		○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	2月25日(日)	当初の合格 者で入学手続 を完了した者 が入学定員に 満たない場合 は、追加合格 により欠員を 補充します。 なお、これ によっても入 学定員に満た ない場合は、 欠員補充のた めの第2次募 集を行うこと があります。																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																							
		法 律 経 済 学 科																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
	後期	文 化 学 科		×	×	×	○	×	×	○ (注1)	×	×	×	×		3月12日(火)																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																						
		法 律 経 済 学 科																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
教育学部	前期	学校教育 教員養成 課程	国 語 教 育 コ ー ス	初等教育選修	○	×																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																

学部・学科名等			選抜方法等		個別学力検査等										個別学力検査等の日程	備考
					個別 学力 検査 を 課 す	実技検査等					2段階選抜					
						実 技 検 査 を 行 う	面 接 を 行 う	小 論 文 を 課 す	ペーパー インタビュー を課す	外国語 におけるリス ニング を課す	調 査 書 等	大学入学共通テ ストの成績によ り第1段階選抜 を行い、その合 格者について更 に必要な検査等 を行う	第1段階の選抜 による合格者数			
													定員 に 対 する 倍 率	そ の 他		
医学部	前期	医 学 科			○	×	○	×	×	×	×	○	5倍〔注4〕	×	2月25日(日) 26日(月)	当初の合格 者で入学手続 を完了した者 が入学定員に 満たない場合 は、追加合格 により欠員を 補充します。 なお、これ によっても入 学定員に満た ない場合は、 欠員補充のた めの第2次募 集を行うこと があります。
		看 護 学 科							×	×	×	×	×			
	後期	医 学 科			×	×	○	○	×	×	×	○	15倍〔注4〕	×	3月12日(火)	
		看 護 学 科							×	×	×	×	×			
工学部	前期	総合 工学 科	総 合 工 学 コ ー ス			○	×	×	×	×	×	×	×	×	2月25日(日)	
			機 械 工 学 コ ー ス													
			電 気 電 子 工 学 コ ー ス													
			応 用 化 学 コ ー ス													
			建 築 学 コ ー ス													
	後期		情 報 工 学 コ ー ス			○	×	×		×	×	○ (注5)	×	×	3月12日(火)	
			機 械 工 学 コ ー ス													
			電 気 電 子 工 学 コ ー ス													
			応 用 化 学 コ ー ス													
			建 築 学 コ ー ス													
生物資源学部	前期	生物 資源 学 科	生 物 資 源 総 合 科 学 コ ー ス			○	×	×	×	×	×	×	×	2月25日(日)		
			農 林 環 境 科 学 コ ー ス													
			海 洋 生 物 資 源 学 コ ー ス													
生 命 化 学 コ ー ス																
後期		農 林 環 境 科 学 コ ー ス			○	×	×	×	○	×	×	×	×	3月12日(火)		
		海 洋 生 物 資 源 学 コ ー ス														
		生 命 化 学 コ ー ス														

○印は、該当することを示し、×印は、該当しないことを示します。

- 「注」1. 合否ラインに同点で並んだ場合、「調査書」を総合的に評価し順位をつけます。
2. 学校教育教員養成課程の音楽教育、美術教育の各コースを志望する者のうち、能力・適正等が特に優れていると認められ、高等学校長若しくは中等教育学校長等が推薦できる者については、その旨（各種のコンクール等において、特に優秀な成績を収め、推薦に値すると認められる等）を調査書の備考欄に具体的に記入してください。
3. 学校教育教員養成課程の保健体育コースを志望する者は、「競技成績等調書」「健康状態に関する調査」を調査書と併せて提出してください。
4. 医学科の2段階選抜の倍率については、緩和することがあります。
5. 各コースの合否ラインに同点で並んだ場合、調査書を総合的に評価し順位をつけます。

(2) 令和6年度入学者選抜方法等（特別選抜等）

選抜方法等 学部・学科名等			学校推薦型選抜及び総合型選抜											帰国生徒、 社会人等 のための 特別選抜			備 考					
			学 校 推 薦 型 選 抜	総 合 型 選 抜	個別学 力検査 を免除 し、大 学入学 共通テ ストを 課す	個別学 力検査 及び大 学入学 共通テ ストを 免除す る	個別学 力検査 を課し、 大学入 学共通 テストを 免除す る	実 技 検 査 等					募 集 人 員	帰 国 生 徒	中 国 引 揚 者 等 生 徒	社 会 人						
								実 技 検 査 を 課 す	面 接 を 行 う	小 論 文 を 課 す	外国語 におけ るリス ニング を課す	そ の 他										
人 文 学 部	文 化 学 科		推 薦 C	○	×	○	×	×	×	○	×	×	×	5	○	×	○					
	法 律 経 済 学 科		推 薦 A			×	○				「注1」			5								
			推 薦 B			○	3															
			推 薦 C			○	×							×					10			
教 育 学 部	学校教 育教員 養成課 程	技術・ものづくり教育コース	中等教育選修	○	×	×	○	×	×	○	×	○	1	×	×	×						
		学 校 教 育 コ ー ス	教育学専攻										推 薦 I					×	○	×	○	3
			教育心理学専攻										推 薦 II					○	×	×	×	3
			家 政 教 育 コ ー ス										初等教育選修					推 薦 II	○	×	×	×
		国 語 教 育 コ ー ス	初等教育選修	地域推薦 （三重県 南部地域）	○	×	×	×	○	×	×	若干名 「注2」	×	×	×							
		社 会 科 教 育 コ ー ス																				
		数 学 教 育 コ ー ス																				
		理 科 教 育 コ ー ス																				
		技術・ものづくり教育コース	初等教育選修	地域推薦 （三重県 南部地域）	○	×	×	×	○	×	×	若干名 「注2」	×	×	×							
		家 政 教 育 コ ー ス																				
		英 語 教 育 コ ー ス																				
		学 校 教 育 コ ー ス																				
		音楽教育コース	初等教育選修	地域推薦 （三重県 全域）	○	×	×	×	○	×	×	若干名 「注2」	×	×	×							
		美 術 教 育 コ ー ス																				
		保 健 体 育 コ ー ス																				
		国 語 教 育 コ ー ス																				
		社 会 科 教 育 コ ー ス	初等教育選修	地域推薦 （三重県 全域）	○	×	×	×	○	×	×	若干名 「注2」	×	×	×							
数 学 教 育 コ ー ス																						
理 科 教 育 コ ー ス																						
技術・ものづくり教育コース																						
家 政 教 育 コ ー ス	初等教育選修	地域推薦 （三重県 全域）	○	×	×	×	○	×	×	若干名 「注2」	×	×	×									
英 語 教 育 コ ー ス																						
特別支援教育コース																						
幼 児 教 育 コ ー ス																						
学 校 教 育 コ ー ス	教育学専攻	地域推薦 （三重県 全域）	○	×	×	×	○	×	×	若干名 「注2」	×	×	×									
教育心理学専攻																						
音楽教育コース																						
美術教育コース																						
保 健 体 育 コ ー ス	初等教育選修	地域推薦 （三重県 全域）	○	×	×	×	○	×	×	若干名 「注2」	×	×	×									
初等教育選修																						
初等教育選修																						
初等教育選修																						
医 学 部	医 学 科		○	×	○	×	×	×	○	○	×	×	40 「注3」	×	×	×						
	看 護 学 科									×			20 「注4」					○				
工 学 部	総合工 学科	機 械 工 学 コ ー ス	推 薦 ①	○	×	×		○		×	×	×	10	×	×	×						
			推 薦 ②			○		×					×					10				
		電 気 電 子 工 学 コ ー ス	推 薦 ①			×	○	×	×	×	×	10	×	×	×							
			推 薦 ③				○										×	×	3			
		応 用 化 学 コ ー ス	推 薦 ①			×		○	×	○	基本的 な化学 の実験	10	×	×	×							
								×				×					5	×	×	×		
	情 報 工 学 コ ー ス	総合型選抜	×	○	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×						

選抜方法等 学部・学科名等				学校推薦型選抜及び総合型選抜										帰国生徒、 社会人等 のための 特別選抜			備 考	
				学 校 推 薦 型 選 抜	総 合 型 選 抜	個別学 力検査 を免除 し、大 学入学 共通テ ストを 課す	個別学 力検査 及び大 学入学 共通テ ストを 免除す る	個別学 力検査 を課し、 大学入 学共通 テスト を免除 する	実 技 検 査 等					募 集 人 員	帰 国 生 徒	中 国 引 揚 者 等 生 徒		社 会 人
									実 技 検 査 を 課 す	面 接 を 行 う	小 論 文 を 課 す	外国語 におけ るリス ニング を課す	そ の 他					
生 物 資 源 学 部	生 物 資 源 学 科	生 物 資 源 総 合 科 学 コ ー ス	推 薦 Ⅱ (紀伊 黒潮枠)	○	×	○	×	×	×	○	×	×	×	15	×	○	×	
		農 林 環 境 科 学 コ ー ス	推 薦 Ⅰ			×	○							○	7			
			推 薦 Ⅱ			○	×							×	18			
		海 洋 生 物 資 源 学 コ ー ス	推 薦 Ⅰ			×	○							○	2			
			推 薦 Ⅱ			○	×							×	6			
		生 命 化 学 コ ー ス	推 薦 Ⅰ			×	○							○	2			
			推 薦 Ⅱ			○	×							×	20			

○印は、該当することを示し、×印は、該当しないことを示します。

- 「注」1. 人文学部法律経済学科の学校推薦型選抜における推薦A及び推薦Bの実技検査等の小論文を課する欄については、「課題作文」を課すこととなります。
2. 教育学部地域推薦について
- (1) 地域推薦（三重県南部地域）の合格者は、各コース1名以内、合計5名以内とします。
また、合格者があった場合は前期日程の定員を充当します。
- (2) 地域推薦（三重県全域）の合格者は、前期日程初等教育選修の募集人員（選修の別がないコースは前期日程の募集人員）が5名以下のコースは1名以内、6名以上の場合は2名以内）とします。
また、合格者があった場合は前期日程の定員を充当します。
3. 医学部医学科の学校推薦型選抜における募集人員には、地域枠30名（地域枠A：25名程度、地域枠B：5名程度）を含みます。
※医学部医学科の入学定員及び募集人員は、医学部臨時定員増に関する文部科学省・厚生労働省への手続等を検討中であることから、令和5年度入試の状況を記載しております。
医学部医学科志願者は令和6年度学生募集要項（学校推薦型選抜）を確認のうえ、出願してください。
4. 医学部看護学科の学校推薦型選抜における募集人員には、地域枠13名程度を含みます。

(3) 令和6年度入学選抜の実施教科・科目等（一般選抜等）について

人文学部

学部・学科名等 及び入学定員等 [令和5年度志願倍率]		学力検査 等の区分 ・日程	大学入学共通テストの利用教科・科目名等		個別学力検査等			大学入学共通テスト・個別学力検査等の配点等													その他の 選抜方法等
			教科	科 目 名 等	教科等	科 目 名 等	2段階 選抜	試験の区分	国語	地歴	公民	数学	理科	外国語	小論文	実技	面接	ペーパー インタビュー	調査書 等	配点 合計	
人文学部 [4.2] 245人 前期 167 後期 51 推薦 23 その他 4	文化学科 92人 前期 67 後期 18 推薦 5 その他 2	前期 2月25日	国	国	国 外	国語総合 コミュニケーション英語Ⅰ・Ⅱ・ Ⅲ、英語表現Ⅰ・Ⅱ		大学入学共通テスト	200	*200 *100	*100	200	100	200						900	帰国生徒 社会人 私費外国 人留学生 追加合格
			地歴 公民 数	世B、日B、地理Bから1又は2 } から2 現社、倫、政経、倫・政経から1 } 「数Ⅰ・数A」と 「数Ⅱ、数Ⅱ・数B、簿、情報から1」 「物基、化基、生基、地基から2」又は 「物、化、生、地学から1」 英、独、仏、中、韓から1 [5教科7科目、5教科8科目、 6教科7科目又は6教科8科目]				個別学力検査等	300					300						600	
			計						500	*200 *100	*100	200	100	500						1500	
		後期 3月12日	国	国	そ 他	小論文(課題文をもとに、読解力・ 文章表現力と論理的思考力をは かる問題を出します。解答字数 は、1,000～1,200字程度としま す。) 調査書		大学入学共通テスト	100	*60 *30	*30	20	20	100						300	
			地歴 公民 数	世B、日B、地理Bから1又は2 } から2 現社、倫、政経、倫・政経から1 } 「数Ⅰ・数A」と 「数Ⅱ、数Ⅱ・数B、簿、情報から1」 「物基、化基、生基、地基から2」又は 「物、化、生、地学から1」 英、独、仏、中、韓から1 [5教科7科目、5教科8科目、 6教科7科目又は6教科8科目]				個別学力検査等							200				(#1)	(#1)	200
			理 外					計	100	*60 *30	*30	20	20	100	200				(#1)	(#1)	500
法律経済 学科 153人 前期 100 後期 33 推薦 18 その他 2		前期 2月25日	国	国	国 数 外	国語総合 数Ⅰ・数Ⅱ・数A・数B } から1 コミュニケーション英語Ⅰ・Ⅱ・ Ⅲ、英語表現Ⅰ・Ⅱ		大学入学共通テスト	200	*200 *100	*100	200	*200 *100	200						900	帰国生徒 社会人 私費外国 人留学生 追加合格
			地歴 公民 理	世B、日B、地理Bから1又は2 } から4(基礎 を付した科目 を含む場合) 又は 『「物基、化基、生基、地基から2」、 物、化、生、地学』から1又は2 } から3(基礎 を付した科目 を含まない場 合) 「数Ⅰ・数A」と 「数Ⅱ、数Ⅱ・数B、簿、情報から1」 英、独、仏、中、韓から1 [5教科7科目、5教科8科目、 6教科7科目又は6教科8科目]				個別学力検査等	*300			*300		300						600	
			数					計	200 *500	*200 *100	*100	200 *500	*200 *100	500						1500	
		後期 3月12日	国	国	そ 他	小論文(現代の社会に関わる課題 について論述(1,000～1,400字 程度)させます。資料や文献を与 えることもあります。) 調査書		大学入学共通テスト	100	*40 *20	*20	40	*40 *20	200						400	
			地歴 公民 理	世B、日B、地理Bから1又は2 } から4(基礎 を付した科目 を含む場合) 又は 『「物基、化基、生基、地基から2」、 物、化、生、地学』から1又は2 } から3(基礎 を付した科目 を含まない場 合) 「数Ⅰ・数A」と 「数Ⅱ、数Ⅱ・数B、簿、情報から1」 英、独、仏、中、韓から1 [5教科7科目、5教科8科目、 6教科7科目又は6教科8科目]				個別学力検査等							200				(#1)	(#1)	200
			数 外					計	100	*40 *20	*20	40	*40 *20	200	200				(#1)	(#1)	600

「*」「#」: 28 ページ【大学入学共通テスト・個別学力検査等の配点等】欄参照

教育学部

学部・学科名等 及び入学定員等 〔令和5年度志願倍率〕			学力検査等 の区分 ・日程	大学入学共通テストの利用教科・科目名等		個別学力検査等			大学入学共通テスト・個別学力検査等の配点等												その他の 選抜方法 等				
				教科	科 目 名 等	教科等	科 目 名 等	2段階 選抜	試験の区分	国語	地歴	公民	理科	数学	外国語	小論文	実技	面接	ペーパー インタビュー	調査書 等		配点 合計			
教育学部 〔4.5〕 200人 前期 161 後期 29 推薦 10	学校教育 教員 養成 課程	国語教育 コース 23人 前期 18 初等 11 中等 7 後期 5 初等 3 中等 2	前期 2月25日	国 地歴 公民 理	国 世B, 日B, 地理Bから1又は2 } から1又は2 現社, 倫, 政経, 倫・政経から1 } 【地歴, 公民から1科目選択した場合】 物, 化, 生, 地学から2 } 【地歴, 公民から2科目選択した場合】 「物基, 化基, 生基, 地基から2」又は } 「物, 化, 生, 地学から1」 } 「数Ⅰ・数A」と } 「数Ⅱ, 数Ⅱ・数B, 簿, 情報から1」 } 英, 独, 仏, 中, 韓から1 } 〔5教科7科目, 5教科8科目, 6教科7科目又は6教科8科目〕	国 数 外 その他	国語総合 「数Ⅰ・数Ⅱ・数A・数B」又は } 「数Ⅰ・数Ⅱ・数Ⅲ・数A・数B」 } コミュニケーション英語Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ, 英語表現Ⅰ・Ⅱ } 教員志望確認書	1教科	大学入学共通テスト	100	*150 (50×3)			100	100							450	追加合格		
									個別学力検査等	200				*200	*200							(#2)		(#2)	400
									計	300				*150 (50×3)		100	100					(#2)		(#2)	850
			後期 3月12日	数 外	小論文(国語・国語教育に関する 課題について論述(1,000～1,200 字程度)させ, 思考力, 表現力な どを総合的に評価します。)	大学入学共通テスト	150	*150 (50×3)			100	100									500				
						個別学力検査等								100		100			(#2)	(#2)	200				
						計	150				*150 (50×3)		100	100	100		100		(#2)	(#2)	700				
		社会科教育 コース 17人 前期 13 初等 8 中等 5 後期 4 初等 2 中等 2	前期 2月25日	国 地歴 公民 理	国 世B, 日B, 地理Bから1又は2 } から1又は2 現社, 倫, 政経, 倫・政経から1 } 【地歴, 公民から1科目選択した場合】 物, 化, 生, 地学から2 } 【地歴, 公民から2科目選択した場合】 「物基, 化基, 生基, 地基から2」又は } 「物, 化, 生, 地学から1」 } 「数Ⅰ・数A」と } 「数Ⅱ, 数Ⅱ・数B, 簿, 情報から1」 } 英, 独, 仏, 中, 韓から1 } 〔5教科7科目, 5教科8科目, 6教科7科目又は6教科8科目〕	国 数 外 その他	国語総合 「数Ⅰ・数Ⅱ・数A・数B」又は } 「数Ⅰ・数Ⅱ・数Ⅲ・数A・数B」 } コミュニケーション英語Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ, 英語表現Ⅰ・Ⅱ } 教員志望確認書	2教科	大学入学共通テスト	100	*150 (50×3)			100	100							450			
									個別学力検査等	*200				*200	*200						(#2)	(#2)		400	
									計	100				*150 (50×3)		*100	100					(#2)		(#2)	850
			後期 3月12日	数 外	面接 教員志望確認書	大学入学共通テスト	100	*200 (100×2)			125									425					
						個別学力検査等									100			(#2)	(#2)	100					
						計	100				*200 (100×2)		125			100			(#2)	(#2)	525				
数学教育 コース 21人 前期 21 初等 11 中等 10	前期 2月25日	国 地歴 公民 理	国 世B, 日B, 地理Bから1又は2 } から1又は2 現社, 倫, 政経, 倫・政経から1 } 【地歴, 公民から1科目選択した場合】 物, 化, 生, 地学から2 } 【地歴, 公民から2科目選択した場合】 「物基, 化基, 生基, 地基から2」又は } 「物, 化, 生, 地学から1」 } 「数Ⅰ・数A」と } 「数Ⅱ, 数Ⅱ・数B, 簿, 情報から1」 } 英, 独, 仏, 中, 韓から1 } 〔5教科7科目, 5教科8科目, 6教科7科目又は6教科8科目〕	国 外 数 その他	国語総合 コミュニケーション英語Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ, 英語表現Ⅰ・Ⅱ } 「数Ⅰ・数Ⅱ・数A・数B」又は } 「数Ⅰ・数Ⅱ・数Ⅲ・数A・数B」 } 教員志望確認書	1教科	大学入学共通テスト	100	*150 (50×3)			100	100							450					
							個別学力検査等	*200				200	*200						(#2)	(#2)	400				
							計	100				*150 (50×3)		300	100					(#2)	(#2)	850			

「*」「#」, 28 ページ【大学入学共通テスト・個別学力検査等の配点等】欄参照

教育学部

学部・学科名等 及び入学定員等		学力検査等 の区分 ・日程	大学入学共通テストの利用教科・科目名等		個別学力検査等		大学入学共通テスト・個別学力検査等の配点等												その他の				
			教科	科 目 名 等	教科等	科 目 名 等	2段階 選抜	試験の区分	国語	地歴	公民	理科	数学	外国語	小論文	実技	面接	ペーパー インタビュー	調査書 等	配点 合計	選抜方法 等		
教育学部	理科教育 コース 19人 前期 初等 10 中等 9 養成課程	前期 2月25日	国 地歴 公民 理	国 世B、日B、地理Bから1又は2 } から1又は2 現社、倫、政経、倫・政経から1 【地歴、公民から1科目選択した場合】 物、化、生、地学から2 【地歴、公民から2科目選択した場合】 「物基、化基、生基、地基から2」又は 「物、化、生、地学から1」 「数Ⅰ・数A」と 「数Ⅱ、数Ⅱ・数B、簿、情報から1」 英、独、仏、中、韓から1 [5教科7科目、5教科8科目、 6教科7科目又は6教科8科目]	国 外 数 その他	国語総合 コミュニケーション英語Ⅰ・Ⅱ Ⅱ・Ⅲ、英語表現Ⅰ・Ⅱ 「数Ⅰ・数Ⅱ・数A・数B」又は 「数Ⅰ・数Ⅱ・数Ⅲ・数A・数B」 教員志望確認書	1教科	大学入学共通テスト	100	*150 (50×3)		100	100							450	追加合格		
								個別学力検査等	*200			200	*200				(#2)	(#2)					
								計	100	*150 (50×3)		300	100				(#2)	(#2)	850				
		音楽教育 コース 10人 前期 7 初等 4 中等 3 後期 3 初等 3	前期 2月25日	国 地歴 公民 理	国 世B、日B、地理B } から1 現社、倫、政経、倫・政経 「物基、化基、生基、地基から2」又は 「物、化、生、地学から1」 「数Ⅰ・数A」と 「数Ⅱ、数Ⅱ・数B、簿、情報から1」 英、独、仏、中、韓から1 [5教科6科目又は5教科7科目]	その他	実技 教員志望確認書		大学入学共通テスト	100	*100		100	100						500		追加合格	
									個別学力検査等							280			(#2)	(#2)			280
									計	100	*100		100	100	100	280			(#2)	(#2)			780
	後期 3月12日	外	小論文（音楽・音楽教育に関する課題について論述(1,000～1,200字程度)させ、思考力、論理構成力、などを総合的に評価します。 実技 教員志望確認書		大学入学共通テスト	100	*100		100	100	100							500					
					個別学力検査等							100	300			(#2)	(#2)	400					
					計	100	*100		100	100	100	300			(#2)	(#2)	900						
	美術教育 コース 9人 前期 9 初等 6 中等 3	前期 2月25日	国 地歴 公民 理	国 世B、日B、地理B } から1 現社、倫、政経、倫・政経 「物基、化基、生基、地基から2」又は 「物、化、生、地学から1」 「数Ⅰ・数A」と 「数Ⅱ、数Ⅱ・数B、簿、情報から1」 英、独、仏、中、韓から1 [5教科6科目又は5教科7科目]	その他	実技 教員志望確認書		大学入学共通テスト	100	*100		100	100	100						500	追加合格		
								個別学力検査等							250			(#2)	(#2)	250			
								計	100	*100		100	100	100	250			(#2)	(#2)	750			
	保健体育 コース 17人 前期 11 初等 6 中等 5 後期 6 初等 3 中等 3	前期 2月25日	国 地歴 公民 理	国 世B、日B、地理Bから1又は2 } から1又は2 現社、倫、政経、倫・政経から1 【地歴、公民から1科目選択した場合】 物、化、生、地学から2 【地歴、公民から2科目選択した場合】 「物基、化基、生基、地基から2」又は 「物、化、生、地学から1」 「数Ⅰ・数A」と 「数Ⅱ、数Ⅱ・数B、簿、情報から1」 英、独、仏、中、韓から1 [5教科7科目、5教科8科目、 6教科7科目又は6教科8科目]	その他	実技 教員志望確認書		大学入学共通テスト	100	*300 (100×3)		100	100							600		追加合格	
								個別学力検査等							240			(#2)	(#2)	240			
								計	100	*300 (100×3)		100	100		240			(#2)	(#2)	840			
		後期 3月12日	数 外	実技 教員志望確認書		大学入学共通テスト	200	*300 (100×3)		200	200								900				
						個別学力検査等							360			(#2)	(#2)	360					
						計	200	*300 (100×3)		200	200		360			(#2)	(#2)	1260					

「*」「#」, 28 ページ【大学入学共通テスト・個別学力検査等の配点等】欄参照

教育学部

学部・学科名等 及び入学定員等			学力検査等 の区分 ・日程	大学入学共通テストの利用教科・科目名等		個別学力検査等			大学入学共通テスト・個別学力検査等の配点等												その他の 選抜方法 等		
				教科	科 目 名 等	教科等	科 目 名 等	2段階 選抜	試験の区分	国語	地歴	公民	理科	数学	外国語	小論文	実技	面接	ペーパー インタビュー	調査書 等		配点 合計	
教育学部	学校 教育 教員 養成 課程	技術・ ものづくり 教育コース 10人 前期 9 初等 5 中等 4 推薦 1 中等 1	前期 2月 25 日	国 地歴 公民 理 数 外	国 世B, 日B, 地理Bから1又は2 } から1又は2 現社, 倫, 政経, 倫・政経から1 } 【地歴, 公民から1科目選択した場合】 物, 化, 生, 地学から2 } 【地歴, 公民から2科目選択した場合】 「物基, 化基, 生基, 地基から2」又は 「物, 化, 生, 地学から1」 「数Ⅰ・数A」と 「数Ⅱ, 数Ⅱ・数B, 簿, 情報から1」 英, 独, 仏, 中, 韓から1 [5教科7科目, 5教科8科目, 6教科7科目又は6教科8科目]	国 外 数 その他	国語総合 コミュニケーション英語Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ, 英語表現Ⅰ・Ⅱ 「数Ⅰ・数Ⅱ・数A・数B」又は 「数Ⅰ・数Ⅱ・数Ⅲ・数A・数B」 教員志望確認書	1教科	大学入学共通テスト	100	*150 (50×3)			100	100						450	追加合格	
									個別学力検査等	*200				200	*200					(#2)	(#2)		
									計	100	*150 (50×3)			300	100					(#2)	(#2)		850
	家政教育 コース	前期 2月 25 日	国 地歴 公民 理 数 外	国 世B, 日B, 地理Bから1又は2 } から1又は2 現社, 倫, 政経, 倫・政経から1 } 【地歴, 公民から1科目選択した場合】 物, 化, 生, 地学から2 } 【地歴, 公民から2科目選択した場合】 「物基, 化基, 生基, 地基から2」又は 「物, 化, 生, 地学から1」 「数Ⅰ・数A」と 「数Ⅱ, 数Ⅱ・数B, 簿, 情報から1」 英, 独, 仏, 中, 韓から1 [5教科7科目, 5教科8科目, 6教科7科目又は6教科8科目]	国 数 外 その他	国語総合 「数Ⅰ・数Ⅱ・数A・数B」又は 「数Ⅰ・数Ⅱ・数Ⅲ・数A・数B」 コミュニケーション英語Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ, 英語表現Ⅰ・Ⅱ 教員志望確認書	2教科	大学入学共通テスト	100	*150 (50×3)			100	100						450	追加合格		
								個別学力検査等	*200				*200	*200					(#2)	(#2)			
								計	100	*150 (50×3)			100	100					(#2)	(#2)		850	
	英語教育 コース	前期 2月 25 日	国 地歴 公民 理 数 外	国 世B, 日B, 地理Bから1又は2 } から1又は2 現社, 倫, 政経, 倫・政経から1 } 【地歴, 公民から1科目選択した場合】 物, 化, 生, 地学から2 } 【地歴, 公民から2科目選択した場合】 「物基, 化基, 生基, 地基から2」又は 「物, 化, 生, 地学から1」 「数Ⅰ・数A」と 「数Ⅱ, 数Ⅱ・数B, 簿, 情報から1」 英, 独, 仏, 中, 韓から1 [5教科7科目, 5教科8科目, 6教科7科目又は6教科8科目]	国 数 外 その他	国語総合 「数Ⅰ・数Ⅱ・数A・数B」又は 「数Ⅰ・数Ⅱ・数Ⅲ・数A・数B」 コミュニケーション英語Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ, 英語表現Ⅰ・Ⅱ 教員志望確認書	1教科	大学入学共通テスト	100	*150 (50×3)			100	100						450	追加合格		
								個別学力検査等	*200				*200	200					(#2)	(#2)			
								計	100	*150 (50×3)			100	300					(#2)	(#2)		850	
	特別支援 教育コース	前期 2月 25 日	国 地歴 公民 理 数 外	国 世B, 日B, 地理Bから1又は2 } から1又は2 現社, 倫, 政経, 倫・政経から1 } 【地歴, 公民から1科目選択した場合】 物, 化, 生, 地学から2 } 【地歴, 公民から2科目選択した場合】 「物基, 化基, 生基, 地基から2」又は 「物, 化, 生, 地学から1」 「数Ⅰ・数A」と 「数Ⅱ, 数Ⅱ・数B, 簿, 情報から1」 英, 独, 仏, 中, 韓から1 [5教科7科目, 5教科8科目, 6教科7科目又は6教科8科目]	国 数 外 その他	国語総合 「数Ⅰ・数Ⅱ・数A・数B」又は 「数Ⅰ・数Ⅱ・数Ⅲ・数A・数B」 コミュニケーション英語Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ, 英語表現Ⅰ・Ⅱ 教員志望確認書	2教科	大学入学共通テスト	100	*150 (50×3)			100	100						450	追加合格		
								個別学力検査等	*200				*200	*200					(#2)	(#2)			
								計	100	*150 (50×3)			100	100					(#2)	(#2)		850	
		後期 3月 12 日	数 外		その他	小論文(今日的な教育・福祉・医療などに関わる議題を提示して論述(1問あたり800～1,200字程度)させ、思考力,判断力,表現力などを総合的に評価します。)		大学入学共通テスト	100	*150 (50×3)			100	100						450			
								個別学力検査等							200		100		(#2)	(#2)		300	
								計	100	*150 (50×3)			100	100	200		100		(#2)	(#2)		750	
面接 教員志望確認書																							

「*」「#」, 28 ページ【大学入学共通テスト・個別学力検査等の配点等】欄参照

教育学部

学部・学科名等 及び入学定員等		学力検査等 の区分 ・日程	大学入学共通テストの利用教科・科目名等		個別学力検査等			大学入学共通テスト・個別学力検査等の配点等												その他の 選抜方法 等			
			教科	科 目 名 等	教科等	科 目 名 等	2 段階 選 抜	試験の区分	国語	地歴	公民	理科	数学	外国語	小論文	実技	面接	ペーパー インタビュー	調査書 等		配点 合計		
教育学部	学校 教育 コース 10 人 前期 10 教育教員 養成課程	前期 2 月 25 日	国 地歴 公民 理	国 世 B, 日 B, 地理 B から 1 又は 2 } から 1 又は 2 現社, 倫, 政経, 倫・政経から 1 【地歴, 公民から 1 科目選択した場合】 物, 化, 生, 地学から 2 【地歴, 公民から 2 科目選択した場合】 「物基, 化基, 生基, 地基から 2」又は 「物, 化, 生, 地学から 1」 「数Ⅰ・数 A」と 「数Ⅱ, 数Ⅱ・数 B, 簿, 情報から 1」 英, 独, 仏, 中, 韓から 1 [5 教科 7 科目, 5 教科 8 科目, 6 教科 7 科目又は 6 教科 8 科目]	国 数 外 その他	国語総合 「数Ⅰ・数Ⅱ・数 A・数 B」又は 「数Ⅰ・数Ⅱ・数Ⅲ・数 A・数 B」 コミュニケーション英語Ⅰ・ Ⅱ・Ⅲ, 英語表現Ⅰ・Ⅱ 教員志望確認書	2 教科	大学入学共通テスト	100	*150 (50×3)		100	100							450	追加合格		
									個別学力検査等	*200			*200	*200						(#2)		(#2)	400
									計	100	*150 (50×3)			100	100					(#2)		(#2)	850
										*300													
	学校教育 コース 20 人 前期 14 教育学 専攻 7 教育心理 学専攻 7 推薦 6 教育学 専攻 3 教育心理 学専攻 3	前期 2 月 25 日	国 地歴 公民 理	国 世 B, 日 B, 地理 B から 1 又は 2 } から 1 又は 2 現社, 倫, 政経, 倫・政経から 1 【地歴, 公民から 1 科目選択した場合】 物, 化, 生, 地学から 2 【地歴, 公民から 2 科目選択した場合】 「物基, 化基, 生基, 地基から 2」又は 「物, 化, 生, 地学から 1」 「数Ⅰ・数 A」と 「数Ⅱ, 数Ⅱ・数 B, 簿, 情報から 1」 英, 独, 仏, 中, 韓から 1 [5 教科 7 科目, 5 教科 8 科目, 6 教科 7 科目又は 6 教科 8 科目]	国 数 外 その他	国語総合 「数Ⅰ・数Ⅱ・数 A・数 B」又は 「数Ⅰ・数Ⅱ・数Ⅲ・数 A・数 B」 コミュニケーション英語Ⅰ・ Ⅱ・Ⅲ, 英語表現Ⅰ・Ⅱ 教員志望確認書	2 教科	大学入学共通テスト	100	*150 (50×3)		100	100							450	追加合格		
									個別学力検査等	*200			*200	*200						(#2)		(#2)	400
									計	100	*150 (50×3)			100	100					(#2)		(#2)	850
										*300													

「*」「#」, 28 ページ【大学入学共通テスト・個別学力検査等の配点等】欄参照

医学部

学部・学科名等 及び入学定員等 〔令和5年度志願倍率〕		学力検査等 の区分 ・日程	大学入学共通テストの利用教科・科目名等		個別学力検査等			大学入学共通テスト・個別学力検査等の配点等												その他の 選抜方法 等				
			教科	科 目 名 等	教科等	科 目 名 等	2段階 選抜	試験の区分	国語	地歴	公民	数学	理科	外国語	小論文	実技	面接	ペーパー インタビュー	調査書 等		配点 合計			
医学部 〔4.6〕 205人 前期127 後期15 推薦60 その他3	医学科 125人 前期75 後期10 推薦40	前期 2月25日 2月26日	国 地歴 公民 数 理 外	国 世B、日B、地理B 現社、倫・政経 「数Ⅰ・数A」と「数Ⅱ・数B」 物、化、生、から2 英、独、仏、中、韓から1 〔5教科7科目〕	数 理 外	数Ⅰ・数Ⅱ・数Ⅲ・数A・数B 物基・物、化基・化、生基・生から2 コミュニケーション英語Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ、 英語表現Ⅰ・Ⅱ 面接	5倍 右表共 通テス トの配 点によ る合計 得点に て選抜	大学入学共通テスト	100	*100		100	200	100						600	追加合格			
								個別学力検査等				200	200	200			100			700				
		後期 3月12日			その他	小論文（人間、健康、医療、生命科学、 時事問題などに関わる課題を提示し て論述させ、洞察力、論理構成力、表 現力などを総合的に評価します。な お、英語の理解力を必要とするものを 含みます。） 面接	15倍 右表共 通テス トの配 点によ る合計 得点に て選抜	大学入学共通テスト	100	*100		100	200	100						600				
								個別学力検査等						200		100			300					
	看護学科 80人 前期52 後期5 推薦20 その他3	前期 2月25日 2月26日			国 地歴 公民 数 理 外	国 世B、日B、地理B 現社、倫、政経、倫・政経 「数Ⅰ・数A」と「数Ⅱ・数B」 「物基、化基、生基から2」又は 「物、化、生から1」 英、独、仏、中、韓から1 〔5教科6科目又は5教科7科目〕	国 数 外	国語総合 数Ⅰ・数Ⅱ・数A・数B コミュニケーション英語Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ、 英語表現Ⅰ・Ⅱ 面接	1教科	大学入学共通テスト	150	*150		150	150	150							750	社会人 追加合格
										個別学力検査等	*150		*150		150					100				
		後期 3月12日			その他	小論文（人間、環境、健康などに関わ る課題を提示して論述させ、洞察力、 論理構成力、表現力などを総合的に評 価します。なお、英語の理解力を必要 とするものを含みます。） 面接	計	150	*150		150	150	300							1150				
								大学入学共通テスト	150	*150		150	150	150						750				
								個別学力検査等						300		100			400					
								計	150	*150		150	150	150	300		100			1150				

「＊」, 28 ページ【大学入学共通テスト・個別学力検査等の配点等】欄参照

工学部

学部・学科名等 及び入学定員等 [令和5年度志願倍率]		学力検査等 の区分 ・日程	大学入学共通テストの利用教科・科目名等		個別学力検査等			大学入学共通テスト・個別学力検査等の配点等													その他の 選抜方法 等		
			教科	科 目 名 等	教科等	科 目 名 等	2段階 選抜	試験の区分	国語	地歴	公民	数学	理科	外国語	小論文	実技	面接	ペーパー インタビュー	調査書 等	配点 合計			
工学部 総合工学科 [4.3] 400人 前期 222 後期 130 推薦 43 総合 5	総合工学 コース 40人 前期 40	前期 2月25日	国 地歴 公民 数 理 外	国 世A, 世B, 日A, 日B, 地理A, 地理B 現社, 倫, 政経, 倫・政経 「数Ⅰ・数A」と「数Ⅱ・数B」 「物」と「化」 英 [5教科7科目]	数 理	数Ⅰ・数Ⅱ・数Ⅲ・数A・数B 物基・物, 化基・化から1		大学入学共通テスト	100	*50	100	100	200							550	追加合格		
								個別学力検査等			300	200							500				
								計	100	*50	400	300	200						1050				
	機械工学 コース 80人 前期 45 後期 15 推薦 20	前期 2月25日	国 地歴 公民 数 理 外	国 世A, 世B, 日A, 日B, 地理A, 地理B 現社, 倫, 政経, 倫・政経 「数Ⅰ・数A」と「数Ⅱ・数B」 「物」と「化」 英 [5教科7科目]	数 理	数Ⅰ・数Ⅱ・数Ⅲ・数A・数B 物基・物, 化基・化から1		大学入学共通テスト	100	*50	100	100	200							550	私費外国 人留学生 追加合格		
								個別学力検査等			300	200							500				
								計	100	*50	400	300	200						1050				
			後期 3月12日			理 その他	物基・物 調査書		大学入学共通テスト	100	*50	200	100	200							650		
									個別学力検査等				350					(#3)	(#3) 350				
									計	100	*50	200	450	200					(#3)	(#3) 1000			
			電気電子 工学コース 90人 前期 42 後期 35 推薦 13	前期 2月25日	国 地歴 公民 数 理 外	国 世A, 世B, 日A, 日B, 地理A, 地理B 現社, 倫, 政経, 倫・政経 「数Ⅰ・数A」と「数Ⅱ・数B」 「物」と「化」 英 [5教科7科目]	数 理	数Ⅰ・数Ⅱ・数Ⅲ・数A・数B 物基・物, 化基・化から1		大学入学共通テスト	100	*50	100	100	200							550	私費外国 人留学生 追加合格
										個別学力検査等			300	200							500		
										計	100	*50	400	300	200						1050		
		後期 3月12日				理 その他	物基・物 調査書		大学入学共通テスト	100	*50	300	100	200							750		
									個別学力検査等				400					(#3)	(#3) 400				
									計	100	*50	300	500	200					(#3)	(#3) 1150			

「*」「#」, 28 ページ【大学入学共通テスト・個別学力検査等の配点等】欄参照

工学部

学部・学科名等 及び入学定員等		学力検査等 の区分 ・日程	大学入学共通テストの利用教科・科目名等		個別学力検査等			大学入学共通テスト・個別学力検査等の配点等													その他の 選抜方法 等				
			教科	科 目 名 等	教科等	科 目 名 等	2段階 選抜	試験の区分	国語	地歴	公民	数学	理科	外国語	小論文	実技	面接	ペーパー インタビュー	調査書 等	配点 合計					
工学部 総合工学科	応用化学 コース 90人 前期 40 後期 40 推薦 10	前期 2月25日	国	国 世A, 世B, 日A, 日B, 地理A, 地理B } から1 現社, 倫, 政経, 倫・政経 「数Ⅰ・数A」と「数Ⅱ・数B」 「物」と「化」 英	数 理	数Ⅰ・数Ⅱ・数Ⅲ・数A・数B 物基・物, 化基・化から1		大学入学共通テスト	100	*50	100	100	200							550	私費外国 人留学生 追加合格				
			地歴						個別学力検査等				300	200								500			
			公民						計	100	*50		400	300	200								1050		
		後期 3月12日	[5教科7科目]					理 その他	化基・化 調査書		大学入学共通テスト	50	*50	100	100	100								400	
											個別学力検査等											(#3)	(#3) 300		
											計	50	*50	100	400	100						(#3)	(#3) 700		
	建築学 コース 40人 前期 30 後期 10	前期 2月25日	国	国 世A, 世B, 日A, 日B, 地理A, 地理B } から1 現社, 倫, 政経, 倫・政経 「数Ⅰ・数A」と「数Ⅱ・数B」 「物」と「化」 英	数 理	数Ⅰ・数Ⅱ・数Ⅲ・数A・数B 物基・物, 化基・化から1		大学入学共通テスト	100	*50	100	100	200							550	私費外国 人留学生 追加合格				
			地歴						個別学力検査等				300	200								500			
			公民						計	100	*50		400	300	200								1050		
		後期 3月12日	[5教科7科目]					その他	立体スケッチ（配付した立体模型 を構成・描画させ、立体・画面の構 成力, 観察力, 表現力, 集中力, ク ラフトマンシップについて一定の 能力があることを検査します。） 面接		大学入学共通テスト	100	*50	200	100	200								650	
											個別学力検査等									(#4)		(#5)			(#4, 5)
											計	100	*50	200	100	200			(#4)	(#5)				(#4, 5) 650	
	情報工学 コース 60人 前期 25 後期 30 総合 5	前期 2月25日	国	国 世A, 世B, 日A, 日B, 地理A, 地理B } から1 現社, 倫, 政経, 倫・政経 「数Ⅰ・数A」と「数Ⅱ・数B」 「物」と「化」 英	数 理	数Ⅰ・数Ⅱ・数Ⅲ・数A・数B 物基・物, 化基・化から1		大学入学共通テスト	100	*50	100	100	200							550	私費外国 人留学生 追加合格				
			地歴						個別学力検査等				300	200								500			
			公民						計	100	*50		400	300	200								1050		
		後期 3月12日	[5教科7科目]					数 その他	数Ⅰ・数Ⅱ・数Ⅲ・数A・数B 調査書		大学入学共通テスト	50	*50	100	100	200								500	
											個別学力検査等												(#3)	(#3) 250	
											計	50	*50	350	100	200							(#3)	(#3) 750	

*」「#」, 28 ページ【大学入学共通テスト・個別学力検査等の配点等】欄参照

生物資源学部

学部・学科名等 及び入学定員等		学力検査等 の区分 ・日程	大学入学共通テストの利用教科・科目名等		個別学力検査等			大学入学共通テスト・個別学力検査等の配点等													その他の 選抜方法 等
			教科	科 目 名 等	教科等	科 目 名 等	2段階 選抜	試験の区分	国語	地歴	公民	数学	理科	外国語	小論文	実技	面接	ペーパー インタビュー	調査書 等	配 点 合 計	
生物資源 学部 生物資源 学科 [4.0] 260人 前期 134 後期 48 推薦 70 その他 8	生物資源 総合科学 コース 30人 前期 15 後期 15 推薦 15 その他 8	前期 2月25日	国 地歴 公民 数 理 外	国 世A, 世B, 日A, 日B, 地理A, 地理B } から1 現社, 倫, 政経, 倫・政経 「数Ⅰ・数A」と 「数Ⅱ, 数Ⅱ・数B, 簿, 情報から1」 物, 化, 生, 地学から2 英, 独, 仏, 中, 韓から1 [5教科7科目]	数 理	「数Ⅰ・数Ⅱ・数A・数B」又は 「数Ⅰ・数Ⅱ・数Ⅲ・数A・数B」 物基・物, 化基・化, 生基・生から1		大学入学共通テスト	100	*100		300	300	400						1200	追加合格
								個別学力検査等				250	250							500	
								計	100	*100		550	550	400						1700	
	農林環境 科学コース 110人 前期 53 後期 28 推薦 25 その他 4	前期 2月25日	国 地歴 公民 数 理 外	国 世A, 世B, 日A, 日B, 地理A, 地理B } から1 現社, 倫, 政経, 倫・政経 「数Ⅰ・数A」と 「数Ⅱ, 数Ⅱ・数B, 簿, 情報から1」 物, 化, 生, 地学から2 英, 独, 仏, 中, 韓から1 [5教科7科目]	数 理	「数Ⅰ・数Ⅱ・数A・数B」又は 「数Ⅰ・数Ⅱ・数Ⅲ・数A・数B」 物基・物, 化基・化, 生基・生から1		大学入学共通テスト	100	*100		300	300	400						1200	帰国生徒 社会人 私費外国人 留学生 追加合格
								個別学力検査等				250	250							500	
								計	100	*100		550	550	400						1700	
		後期 3月12日	国 地歴 公民 数 理 外	国 世A, 世B, 日A, 日B, 地理A, 地理B } から1 現社, 倫, 政経, 倫・政経 「数Ⅰ・数A」と 「数Ⅱ, 数Ⅱ・数B, 簿, 情報から1」 物, 化, 生, 地学から2 英 [5教科7科目]	数 理 その他	数Ⅰ・数Ⅱ・数A・数B } から1 化基・化又は生基・生 } から1 ペーパーインタビュー（主体性、 多様性、協働性を多面的・総合的 に評価する記述試験を行います。）		大学入学共通テスト	50	*50		200	200	200						700	
								個別学力検査等				*200	*200					50		250	
								計	50	*50		200 *400	200 *400	200				50		950	

「*」, 28 ページ【大学入学共通テスト・個別学力検査等の配点等】欄参照

生物資源学部

学部・学科名等 及び入学定員等		学力検査等 の区分 ・日程	大学入学共通テストの利用教科・科目名等		個別学力検査等			大学入学共通テスト・個別学力検査等の配点等												その他の 選抜方法 等	
			教科	科 目 名 等	教科等	科 目 名 等	2段階 選抜	試験の区分	国語	地歴	公民	数学	理科	外国語	小論文	実技	面接	ペーパー インタビュー	調査書 等		配点 合計
生物資源 学部 生物資源 学科	海洋生物 資源学 コース 45人 前期 25 後期 10 推薦 8 その他 2	前期 2月25日	国 地歴 公民 数	国 世A、世B、日A、日B、地理A、地理B 現社、倫、政経、倫・政経 「数Ⅰ・数A」と 「数Ⅱ、数Ⅱ・数B、簿、情報から1」 物、化、生、地学から2 英、独、仏、中、韓から1 [5教科7科目]	数 理	「数Ⅰ・数Ⅱ・数A・数B」又は 「数Ⅰ・数Ⅱ・数Ⅲ・数A・数B」 物基・物、化基・化、生基・生から1		大学入学共通テスト	100	*100	300	300	400							1200	帰国生徒 社会人 私費外国 人留学生 追加合格
								個別学力検査等			250	250							500		
								計	100	*100	550	550	400						1700		
		後期 3月12日	国 地歴 公民 数	国 世A、世B、日A、日B、地理A、地理B 現社、倫、政経、倫・政経 「数Ⅰ・数A」と 「数Ⅱ、数Ⅱ・数B、簿、情報から1」 物、化、生、地学から2 英 [5教科7科目]	数 理 その他	数Ⅰ・数Ⅱ・数A・数B 化基・化又は生基・生 ペーパーインタビュー（主体性、 多様性、協働性を多面的・総合的 に評価する記述試験を行います。） から1		大学入学共通テスト	50	*50	200	200	200							700	
								個別学力検査等			*200	*200				50		250			
								計	50	*50	200	200	200				50		950		
	生命化学 コース 75人 前期 41 後期 10 推薦 22 その他 2	前期 2月25日	国 地歴 公民 数	国 世A、世B、日A、日B、地理A、地理B 現社、倫、政経、倫・政経 「数Ⅰ・数A」と 「数Ⅱ、数Ⅱ・数B、簿、情報から1」 物、化、生、地学から2 英、独、仏、中、韓から1 [5教科7科目]	数 理	「数Ⅰ・数Ⅱ・数A・数B」又は 「数Ⅰ・数Ⅱ・数Ⅲ・数A・数B」 物基・物、化基・化、生基・生から1		大学入学共通テスト	100	*100	300	300	400							1200	
								個別学力検査等			250	250						500			
								計	100	*100	550	550	400						1700		
		後期 3月12日	国 地歴 公民 数	国 世A、世B、日A、日B、地理A、地理B 現社、倫、政経、倫・政経 「数Ⅰ・数A」と 「数Ⅱ、数Ⅱ・数B、簿、情報から1」 物、化、生、地学から2 英 [5教科7科目]	数 理 その他	数Ⅰ・数Ⅱ・数A・数B 化基・化又は生基・生 ペーパーインタビュー（主体性、 多様性、協働性を多面的・総合的 に評価する記述試験を行います。） から1		大学入学共通テスト	50	*50	200	200	200						700		
								個別学力検査等			*200	*200				50		250			
								計	50	*50	200	200	200				50		950		

「＊」, 28 ページ【大学入学共通テスト・個別学力検査等の配点等】欄参照

【教科・科目名の表記について】

1. 大学入学共通テストの出題教科・科目名は、次のように示しています。

○国語→国

「国語」→「国」

○地理歴史→地歴

「世界史A」→「世A」, 「世界史B」→「世B」, 「日本史A」→「日A」, 「日本史B」→「日B」,
「地理A」→「地理A」, 「地理B」→「地理B」

○公民→公民

「現代社会」→「現社」, 「倫理」→「倫」, 「政治・経済」→「政経」, 「倫理, 政治・経済」→
「倫・政経」

○数学→数

「数学Ⅰ」→「数Ⅰ」, 「数学Ⅰ・数学A」→「数Ⅰ・数A」, 「数学Ⅱ」→「数Ⅱ」, 「数学Ⅱ・数学B」
→「数Ⅱ・数B」, 「簿記・会計」→「簿」, 「情報関係基礎」→「情報」

○理科→理

「物理基礎」→「物基」, 「化学基礎」→「化基」, 「生物基礎」→「生基」, 「地学基礎」→「地基」,
「物理」→「物」, 「化学」→「化」, 「生物」→「生」, 「地学」→「地学」

○外国語→外

「英語」→「英」, 「ドイツ語」→「独」, 「フランス語」→「仏」, 「中国語」→「中」, 「韓国語」→
「韓」

2. 個別学力検査の出題教科・科目名は、上記1によるほか、次のように略しています。

○「数学Ⅰ」→「数Ⅰ」, 「数学Ⅱ」→「数Ⅱ」, 「数学Ⅲ」→「数Ⅲ」, 「数学A」→「数A」,
「数学B」→「数B」

○「物理基礎」→「物基」, 「化学基礎」→「化基」, 「生物基礎」→「生基」, 「物理」→「物」,
「化学」→「化」, 「生物」→「生」

【大学入学共通テストの利用教科・科目名等】欄

(1～3は、各学部共通事項を示す。内①は人文学部、②は教育学部の該当事項を示す。)

1. 指定の教科・科目数を超えて受験した場合には、高得点の教科・科目の得点を採用します。

ただし、『「地理歴史」「公民」』及び「理科②」(基礎を付していない科目)において複数科目を受験した場合は、『「地理歴史」「公民」』及び「理科②」(基礎を付していない科目)それぞれの第1解答科目の得点を採用の対象とします。

「理科①」(基礎を付した科目)は、2科目を受験した場合のみ当該科目の成績として採用します。

「理科②」(基礎を付していない科目)において2科目受験した場合には第1解答科目の得点を採用の対象とします。

「理科」において基礎を付した科目から2科目と基礎を付していない科目から1科目受験した場合には高得点の科目(基礎を付した科目の場合は2科目の合計)の得点を採用の対象とします。

第2解答科目については、第1解答科目が採用された場合についてのみ当該科目の得点として採用の対象となる場合があります。

- ① 人文学部法律経済学科において、『「地理歴史」「公民」』及び「理科」から3科目を課す場合

『「地理歴史」「公民」』の第1解答科目の得点を採用し、次に「理科」の基礎を付した科目の得点の合計と基礎を付していない科目の第1解答科目の得点を比較し、高得点の科目の得点を採用します。その後、『「地理歴史」「公民」』の第2解答科目の得点と、理科の採用されなかった科目の得点を比較し、高得点の科目の得点を採用します。

- ② 教育学部において、『「地理歴史」「公民」』から2科目、「理科②」(基礎を付していない科目)から2科目受験した場合

『「地理歴史」「公民」』及び「理科②」(基礎を付していない科目)それぞれの第1解答科目を採用した後、第2解答科目は高得点の科目の得点を採用します。

2. 『「地理歴史」及び「公民」』では同一名称を含む科目の組合せで2科目を選択することはできません。
人文学部法律経済学科において、「理科」から3科目（基礎を付した科目を含む場合）を選択する場合、同一名称を含む科目を選択することはできません。
3. 大学入学共通テスト「英語」はリスニングが必須となっていますので、リスニングを受験しなければ、本学への出願資格がなくなります。（受験上の配慮によりリスニングを免除された場合を除きます。）
また、「英語」の得点については、以下のとおり扱います。
- (1) 大学入試センターから提供されたリーディングの成績（100点満点）を2倍して200点満点とし、リスニングの成績（100点満点）とを合わせて300点満点としてから、2/3を掛けて200点満点に換算します。
- (2) (1)で換算した得点を、学部・学科・コースが定めた配点にさらに換算します。
- (3) 「英語」以外の外国語（ドイツ語、フランス語、中国語、韓国語）は、大学入試センターから提供された成績（200点満点）を、学部・学科・コースが定めた配点に換算します。
- なお、受験上の配慮事項によりリスニングを免除された者については、リーディングの成績（100点満点）を2倍して200点満点としてから、各学部・学科等が定める配点に換算します。

【個別学力検査等】欄

1. 「数学」の出題範囲について
「数学A」については、全範囲から出題します。
「数学B」については、「数列」及び「ベクトル」を出題範囲とします。
2. 「理科」の出題範囲について
「物理基礎・物理」は、物理基礎、物理の全範囲から出題します。
「化学基礎・化学」は、化学基礎、化学の全範囲から出題します。
「生物基礎・生物」は、生物基礎、生物の全範囲から出題します。

【大学入学共通テスト・個別学力検査等の配点等】欄

配点に、＊印を付してある教科は選択教科を示します。

1. 個別学力検査配点欄の＃1について、合否ラインに同点で並んだ場合、「調査書」を総合的に評価し順位をつけます。
2. 個別学力検査配点欄の＃2について、「教員志望確認書」を総合評価として利用します。
3. 個別学力検査配点欄の＃3の「調査書」は、各コースの合否ラインに同点で並んだ場合、総合的に評価し順位をつけます。
4. 個別学力検査配点欄の＃4「立体スケッチ」＃5「面接」は、あらかじめ定めた基準以上の者を合否判定の対象とします。なお、詳細は41ページを参照してください。

【3月28日現在で欠員のある場合】

欠員補充のための第2次募集を実施する場合があります。

(4) 個別学力検査等の採点・評価基準

(前期日程)

【人文学部】

学 科	試験教科等	採点・評価基準（一般的基準）等
文 化 学 科 法律経済学科	国語	試験範囲は「国語総合」とし、高等学校学習指導要領に照らして、受験者の国語力を適切に評価します。現代文と古文・漢文から出題され、漢字・語義・語彙や語句の意味、文法、訓読法、論理的構成と理解、物語の構造と展開及び心情の把握、主題や要旨などを問う問題を通じて、受験者の基礎的な読解力と表現力、論理的思考、想像力、認識力、鑑賞力等を総合的に評価します。
法律経済学科	数学	「数学Ⅰ，数学Ⅱ，数学A，数学B」の理解度を採点・評価の対象とします。数学の基礎的な内容を的確に把握しているか、論理的な考え方ができるか、問題を解くための発想力・思考力・計算力が備わっているか、自分の考えたことを、論理的かつ明確に表現できるかなどを、総合的に判断し、評価します。
文 化 学 科 法律経済学科	外国語	「英語」の出題範囲はコミュニケーション英語Ⅰ・コミュニケーション英語Ⅱ・コミュニケーション英語Ⅲ，英語表現Ⅰ・英語表現Ⅱであり、その範囲内での総合的英語力の達成度を採点・評価の対象とします。総合的英語力とは幅広い英語読解力と豊かな英語表現力を言います。したがって、本学の英語試験はマークシート方式の試験では測ることが難しい総合的な読解力や表現力の達成度を主な採点・評価基準とします。

【教育学部】

課程・コース	試験教科等	採点・評価基準（一般的基準）等
全コース共通	教員志望確認書	「教員志望確認書」を総合評価として利用します。
学校教育教員養成課程（音楽教育，美術教育，保健体育コースを除く。）	国語	高等学校学習指導要領（国語）に示された内容を踏まえた総合的な基礎学力を基盤とし、様々な教育課題の解決に向けて言語活動を創造し、実践することができるような能力を評価します。 具体的には、近代以降及び古典の文章等に対して、読解し思考し表現することができる力、また語彙・文字・文法・文学に関する知識等を総合的に評価します。
	数学	「数学Ⅰ，数学Ⅱ，数学A，数学B」，もしくは「数学Ⅰ，数学Ⅱ，数学Ⅲ，数学A，数学B」の理解度を採点・評価の対象とします。数学の基礎的な内容を的確に把握しているか、論理的な考え方ができるか、問題を解くための発想力・思考力・計算力が備わっているか、自分の考えたことを論理的かつ明確に表現できるかなどを、総合的に判断し、評価します。
	外国語	「英語」の出題範囲はコミュニケーション英語Ⅰ・コミュニケーション英語Ⅱ・コミュニケーション英語Ⅲ，英語表現Ⅰ・英語表現Ⅱであり、その範囲内での総合的英語力の達成度を採点・評価の対象とします。総合的英語力とは幅広い英語読解力と豊かな英語表現力を言います。したがって、本学の英語試験はマークシート方式の試験では測ることが難しい総合的な読解力と表現力の達成度を主な採点・評価基準とします。
音楽教育コース	実技	演奏の習熟度を音楽性，技術，楽曲理解の面から総合的に評価します。 「注」課題又は範囲等については，35，36 ページ参照
美術教育コース	実技	美術教育に必要とされる造形的基礎力を評価します。 「注」課題又は範囲等については，37 ページ参照
保健体育コース	実技	各運動種目の基礎的能力を評価します。 「注」課題又は範囲等については，37 ページ参照
	調査書	「競技成績等調書」によって競技歴を見ます。

【医学部】

学 科	試験教科等	採点・評価基準（一般的基準）等
医 学 科	数学	「数学Ⅰ，数学Ⅱ，数学Ⅲ，数学A，数学B」の理解度を採点・評価の対象とします。数学の基礎的な内容を的確に把握しているか，論理的な考え方ができるか，問題を解くための発想力・思考力・計算力が備わっているか，自分の考えたことを論理的かつ明確に表現できるかななどを，総合的に判断し，評価します。
	理科：物理	「物理基礎」・「物理」の学修における達成度を採点・評価の対象とします。具体的には，自然現象や実験，観測などにおける物理現象および物理法則の理解度を問うことによって，物理学に対する知識，理解力，推理力，計算力，論理的思考力を総合的に評価します。
	理科：化学	「化学基礎」・「化学」の基礎学力の達成度を採点・評価の対象とします。観察や実験に基づいて化学的な事物・現象を理解する力，化学の基本的な概念や原理・法則を活用して正しい結論を導く力を問うとともに，化学に対する論理的思考力と推察力を評価します。
	理科：生物	「生物基礎」・「生物」の基礎学力の達成度および理解度を採点・評価の対象とします。生物及び生命現象の特徴を深く理解するには，それらを遺伝子，細胞，組織，個体および群集レベルでとらえ，分類学，生態学，生理学，発生学，生化学，遺伝学，分子生物学に基づいた思考力を必要とします。それらの基礎的な概念の理解度を問うとともに，総合的に分析し考察する能力を試します。
医 学 科 看護学科	外国語	「英語」の出題範囲はコミュニケーション英語Ⅰ・コミュニケーション英語Ⅱ・コミュニケーション英語Ⅲ，英語表現Ⅰ・英語表現Ⅱであり，その範囲内での総合的英語力の達成度を採点・評価の対象とします。総合的英語力とは幅広い英語読解力と豊かな英語表現力を言います。したがって，本学の英語試験はマークシート方式の試験では測ることが難しい総合的な読解力と表現力の達成度を主な採点・評価基準とします。
看護学科	国語	高等学校学習指導要領（国語）に示された内容を踏まえた総合的な基礎学力を評価します。具体的には，近代以降及び古典の文章等に対して，読解し思考し表現することができる力，また語彙・文字・文法・文学に関する知識等を総合的に評価します。
	数学	「数学Ⅰ，数学Ⅱ，数学A，数学B」の理解度を採点・評価の対象とします。数学の基礎的な内容を的確に把握しているか，論理的な考え方ができるか，問題を解くための発想力・思考力・計算力が備わっているか，自分の考えたことを論理的かつ明確に表現できるかななどを，総合的に判断し，評価します。
医 学 科	面接	・志願理由，学習意欲，理解力，表現力，論理性などを出願書類等を参考に評価します。 ・医学，医療，科学，社会などに対する関心度を評価します。
看護学科	面接	・志願理由，学習意欲，探求心，理解力，表現力，協調性などを評価します。 ・人間，健康，社会，保健・医療・福祉，看護，社会貢献に対する関心度を評価します。

【工学部総合工学科】

コ ー ス	試験教科等	採点・評価基準（一般的基準）等
総合工学コース 機械工学コース 電気電子工学コース 応用化学コース 建築学コース 情報工学コース	数学	「数学Ⅰ，数学Ⅱ，数学Ⅲ，数学A，数学B」の理解度を採点・評価の対象とします。数学の基礎的な内容を的確に把握しているか，論理的な考え方ができるか，問題を解くための発想力・思考力・計算力が備わっているか，自分の考えたことを論理的かつ明確に表現できるかなどを，総合的に判断し，評価します。
	理科：物理	「物理基礎」・「物理」の学修における達成度を採点・評価の対象とします。具体的には，自然現象や実験，観測などにおける物理現象および物理法則の理解度を問うことによって，物理学に対する知識，理解力，推理力，計算力，論理的思考力を総合的に評価します。
	理科：化学	「化学基礎」・「化学」の基礎学力の達成度を採点・評価の対象とします。観察や実験に基づいて化学的な事物・現象を理解する力，化学の基本的な概念や原理・法則を活用して正しい結論を導く力を問うとともに，化学に対する論理的思考力と推察力を評価します。

【生物資源学部生物資源学科】

コ ー ス	試験教科等	採点・評価基準（一般的基準）等
生物資源総合科学コース 農林環境科学コース 海洋生物資源学コース 生命化学コース	数学	「数学Ⅰ，数学Ⅱ，数学A，数学B」もしくは「数学Ⅰ，数学Ⅱ，数学Ⅲ，数学A，数学B」の理解度を採点・評価の対象とします。数学の基礎的な内容を的確に把握しているか，論理的な考え方ができるか，問題を解くための発想力・思考力・計算力が備わっているか，自分の考えたことを論理的かつ明確に表現できるかなどを，総合的に判断し，評価します。
	理科：物理	「物理基礎」・「物理」の学修における達成度を採点・評価の対象とします。具体的には，自然現象や実験，観測などにおける物理現象および物理法則の理解度を問うことによって，物理学に対する知識，理解力，推理力，計算力，論理的思考力を総合的に評価します。
	理科：化学	「化学基礎」・「化学」の基礎学力の達成度を採点・評価の対象とします。観察や実験に基づいて化学的な事物・現象を理解する力，化学の基本的な概念や原理・法則を活用して正しい結論を導く力を問うとともに，化学に対する論理的思考力と推察力を評価します。
	理科：生物	「生物基礎」・「生物」の基礎学力の達成度および理解度を採点・評価の対象とします。生物及び生命現象の特徴を深く理解するには，それらの遺伝子，細胞，組織，個体および群集レベルでとらえ，分類学，生態学，生理学，発生学，生化学，遺伝学，分子生物学に基づいた思考力を必要とします。それらの基礎的な概念の理解度を問うとともに，総合的に分析し考察する能力を試します。

(後期日程)

【人文学部】

学 科	試験教科等	採点・評価基準（一般的基準）等
文 化 学 科	小論文	人文科学における様々なテーマに関する理解力，論理的思考力，文章表現力を評価します。
	調査書	合否ラインに同点で並んだ場合，調査書を総合的に評価し順位をつけます。
法律経済学科	小論文	現代社会における諸問題に対する理解力，それに対する解決策を探究するための論理的思考力，問題解決力，表現力などを評価します。
	調査書	合否ラインに同点で並んだ場合，調査書を総合的に評価し順位をつけます。

【教育学部】

コ ー ス	試験教科等	採点・評価基準（一般的基準）等
全 コ ー ス 共 通	教員志望確認書	「教員志望確認書」を総合評価として利用します。
国 語 教 育 コ ー ス	小論文	思考力，表現力などを総合的に評価します。
	面接	志望の動機，勉学の意欲とともに，国語科に関する内容についての理解力や表現力などから総合的に評価します。
社会科教育コース	面接	志望の動機，勉学の意欲とともに，社会科，地理歴史科，公民科に関する内容についての理解力，論理的思考力や表現力などから総合的に評価します。
音 楽 教 育 コ ー ス	実技	演奏の習熟度を音楽性，技術，楽曲理解の面から総合的に評価します。 「注」課題又は範囲等については，37，38 ページ参照
	小論文	思考力，論理構成力などを総合的に評価します。
保 健 体 育 コ ー ス	実技	基礎的な体力・運動能力を評価します。 「注」課題又は範囲等については，39 ページ参照
	調査書	「競技成績等調書」によって競技歴を見ます。
特別支援教育コース	小論文	思考力，判断力，表現力などを総合的に評価します。
	面接	特別支援教育に関する勉学の意欲などを問い，思考力や表現力を評価します。

【医学部】

学 科	試験教科等	採点・評価基準（一般的基準）等
医 学 科	小論文	人間，健康，医療，生命科学，時事問題などに関わる課題を提示して論述させ，洞察力，論理構成力，表現力などを総合的に評価します。 なお，英語の理解力を必要とするものを含みます。
	面接	・志願理由，学習意欲，理解力，表現力，論理性などを出願書類等を参考に評価します。 ・医学，医療，科学，社会などに対する関心度を評価します。
看護学科	小論文	人間，環境，健康などに関わる課題を提示して論述させ，洞察力，論理構成力，表現力などを総合的に評価します。 なお，英語の理解力を必要とするものを含みます。
	面接	・志願理由，学習意欲，探求心，理解力，表現力，協調性などを評価します。 ・人間，健康，社会，保健・医療・福祉，看護，社会貢献に対する関心度を評価します。

【工学部総合工学科】

コ ー ス	試験教科等	採点・評価基準（一般的基準）等
情 報 工 学 コ ー ス	数学	「数学Ⅰ，数学Ⅱ，数学Ⅲ，数学A，数学B」の理解度を採点・評価の対象とします。 数学の基礎的な内容を的確に把握しているか，論理的な考え方ができるか，問題を解くための発想力・思考力・計算力が備わっているか，自分の考えたことを論理的かつ明確に表現できるかなどを，総合的に判断し，評価します。
機 械 工 学 コ ー ス 電 気 電 子 工 学 コ ー ス	物理	「物理基礎」・「物理」の基礎学力の達成度を採点・評価の対象とします。具体的には，自然現象や実験，観測などにおける物理現象および物理法則の理解度を問うことによって，物理学に対する知識，理解力，推理力，計算力，論理的思考力を総合的に評価します。
応 用 化 学 コ ー ス	化学	「化学基礎」・「化学」の基礎学力の達成度を採点・評価の対象とします。具体的には，化学的な事物・現象に関する知識および概念や原理・法則が系統的かつ本質的に理解できているかを問います。 また，化学の基本となる概念や原理・法則を活用する力を問います。これらによって，化学的な事物・現象を分析，総合的に考察し，論理的に記述し，起こり得る変化を予測し，新しい事象の解釈へ応用する能力が身についているかを総合的に評価します。
建 築 学 コ ー ス	立体スケッチ	配付した立体模型を構成・描画させ，立体の構成力，画面の構成力，立体の観察力，立体の表現力，集中力，クラフトマンシップの5項目について評価します。 「注」問題例，評価基準については，41 ページ参照
	面接	学習への意欲，建築への姿勢，意思疎通能力，人物・資質の4項目につき試問の上，評価します。
機 械 工 学 コ ー ス 電 気 電 子 工 学 コ ー ス 情 報 工 学 コ ー ス 応 用 化 学 コ ー ス	調査書	各コースの可否ラインに同点で並んだ場合，調査書を総合的に評価し順位をつけます。

【生物資源学部生物資源学科】

コ ー ス	試験教科等	採点・評価基準（一般的基準）等
農林環境科学コース 海洋生物資源学コース 生 命 化 学 コ ー ス	数学	「数学Ⅰ，数学Ⅱ，数学A，数学B」の理解度を採点・評価の対象とします。 数学は自然科学の分野のみならず，社会科学の分野においても広く活用される基底となる学問であり，生物資源学部の専門分野でも，必要不可欠な学問です。とりわけ生物や環境に関わる複雑な現象の解析や理解等には，数学的に考える力が必要となり，さらに実験や観測におけるデータ処理等にも数学は，客観的かつ有効な情報伝達的手段となっています。 本試験では，数学の基礎力，応用力を問うと共に，解答に至る過程を通して，読解力，構成力，論理的思考力，計算力，表現力を総合的に評価します。
	化学	「化学基礎」・「化学」の基礎学力の達成度を採点・評価の対象とします。 基本的な化学現象と物質に対する理解と，化学的な思考を評価します。 特に，化学的な知識を使った事象の論理的な説明ができるか，測定値等を評価する計算力があるかを評価します。
	生物	「生物基礎」・「生物」の基礎学力の達成度を採点・評価の対象とします。 生物をめぐるさまざまな現象と生物の多様性を理解するのに必要な生物に関する幅広い知識，生物学的な考え方，生物に対する観察力を評価します。 特に，生物現象に対して，基礎知識を使って論理的思考と推察ができるかどうかを評価します。
	ペーパー インタビュー	大学入学後の学修への関心・意欲等が確認できる課題を提示して記述させ，主体性・多様性・協働性を多面的・総合的に評価します。

(5)教育学部実技検査の課題又は範囲等

ア. 前期日程

【音楽教育コース】

初等教育選修と中等教育選修の試験内容は同じです。下記のⅠ，Ⅱ，Ⅲを必ず受験してください。Ⅲについては、A・B・Cのうちからいずれか1つを選択して受験してください。(Ⅲで選択した内容は入学後の専攻分野を決定するものではありません。また、卒業研究は声楽・器楽(ピアノ)・作曲・音楽教育の中からの選択になります。)なお、出願書類提出後の曲目等の変更は認めません。

Ⅰ 新曲視唱

12小節程度の新曲視唱を1曲課します。予見は1分間です。予見終了後、ピアノで主和音と開始音を鳴らします。難易度等は以下の楽譜を参考にしてください。唱法は問いません。



Ⅱ 実技・共通

次の①と②の両方を受験してください。

①声 楽

「浜千鳥」(鹿島鳴秋 作詞，弘田龍太郎 作曲)の1番を歌唱してください。歌唱は暗譜でなくてもかまいませんが，その場合は各自が楽譜を用意してください。

なお，調性は以下の指定された調の中から選択することとし，選択した調性によるピアノ伴奏譜を1ページの大きさA4版にコピーし，見開きになるように横一連で貼り付け，出願時に提出する出願確認票とともに2部提出してください。

調性：変ホ長調，二長調

②ピアノ

J. S. バッハ作曲「二声のインヴェンション」の中から任意の1曲を演奏してください。演奏は暗譜でなくてもかまいませんが，その場合は各自で楽譜を用意してください。反復記号がある場合は省略して演奏してください。

「注」

- (1) 試験当日の声楽実技のピアノ伴奏者は大学で用意します。
- (2) ピアノで選択した曲の曲名(番号)，調性を三重大学入試情報ウェブサイトに掲載予定の「選択曲目等申告書」に記入の上，出願確認票とともに提出してください。

Ⅲ 実技・選択

次のA・B・Cの中から一つ選択して受験してください。

A. 声 楽

(a)，(b)の2曲のいずれかにより1曲を任意に選択し，暗譜・原語で歌唱してください。

なお，調性については指定された調の中から選択してください。

- (a) Caro laccio (F. Gasparini 作曲) 変ホ長調，変二長調
- (b) Sento nel core (A. Scarlatti 作曲) へ短調，二短調，ト短調

「注」

- (1) 試験当日の声楽実技のピアノ伴奏者は大学で用意します。
- (2) 声楽実技で選択した作曲者名，曲名，調性を三重大学入試情報ウェブサイトに掲載予定の「選択曲目等申告書」に記入の上，出願確認票とともに提出してください。

- (3) 選択した調性によるピアノ伴奏譜を1ページの大きさA4判にコピーし、見開きになるように横一連に貼り付け、出願時に提出する出願確認票とともに2部提出してください。

B. ピアノ

5分程度の任意のピアノ曲を1曲各自選択（独奏曲とし、J. S. バッハの二声のインヴェンションは除く）し、暗譜で演奏してください。自作曲、弾き歌い、弾き語りも含まれます。（実技・共通①声楽の曲を除く）反復記号がある場合は省略してください。

「注」

- (1) ピアノ実技で選択した作曲者名、曲名、調性、作品番号などの必要事項（多楽章の曲の場合は楽章も）を三重大学入試情報ウェブサイトに掲載予定の「選択曲目等申告書」に記入の上、出願確認票とともに提出してください。
- (2) ピアノ実技の演奏楽譜のコピーを出願時に提出する出願確認票とともに1部提出してください。
- (3) (2)の演奏楽譜は見開きになるように横一連に貼り付けてください。
- (4) ピアノ実技において、演奏時間が5分以上の曲を選択しても失格にはなりませんが、その場合は演奏を途中で止めることがあります。

C. 鍵盤楽器以外の器楽

5分程度の任意の1曲（自作曲も含む）を暗譜で演奏してください。弾き歌い・弾き語りも含まれます。反復記号がある場合は省略して演奏してください。楽器の範囲は次のとおりとします。

フルート、オーボエ、クラリネット（種類は問わない）、サキソフォン（種類は問わない）、バスーン、ホルン、トランペット、トロンボーン、ユーフォニアム、チューバ、スネアドラム、マリンバ（ハ〜4点ハの4オクターブ）、バイオリン、ビオラ、チェロ、コントラバス、リコーダー（種類は問わない）、アコースティックギター（種類は問わない）、三味線、尺八、鼓。

上記に該当しない楽器で受験を希望する場合は学務部入試チームに問い合わせてください。

「注」

- (1) 鍵盤楽器以外の器楽は、各自が選択した楽器名、曲名などの必要事項を三重大学入試情報ウェブサイトに掲載予定の「選択曲目等申告書」に記入の上、出願確認票とともに提出してください。なお、伴奏がある曲を選択しても試験では伴奏をつけずに審査します。
- (2) 鍵盤楽器以外の器楽において、演奏する楽譜のコピーを出願時に提出する出願確認票とともに1部提出してください。
- (3) (2)の演奏楽譜は見開きになるように横一連に貼り付けてください。
- (4) 鍵盤楽器以外の器楽の実技において、演奏時間が5分以上の曲を選択しても失格にはなりませんが、その場合は演奏を途中で止めることがあります。
- (5) 鍵盤楽器以外の器楽における楽器は原則として持参してください。

実技の選択表 ※Ⅰ、Ⅱ、Ⅲを必ず受験してください。

共通			選択	
Ⅰ 新曲視唱	Ⅱ 実技		Ⅲ 実技 (A・B・Cの中から一つ選択)	
	①声楽	②ピアノ		
12小節程度の新曲視唱を1曲課します。	指定された日本語による歌曲を1曲歌唱する。 (歌唱は暗譜でなくてもかまわないが、その場合は各自が楽譜を用意する。)	J. S. バッハ「二声のインヴェンション」から任意の1曲を演奏する。(演奏は暗譜でなくてもかまわないが、その場合は各自が楽譜を用意する。)	ⅢをA. 声楽で受験する場合	声楽で受験。 指定された歌曲から任意の1曲を暗譜・原語で歌唱する。
			ⅢをB. ピアノで受験する場合	自作曲、弾き歌い・弾き語り（共通・実技①声楽の曲を除く）も含む5分程度の任意のピアノ曲（独奏曲とし、J. S. バッハの二声のインヴェンションは除く）を1曲暗譜で演奏する。(反復記号は省略して演奏する。)
			ⅢをC. 鍵盤楽器以外の器楽で受験する場合	自作曲、弾き歌い・弾き語りを含む5分程度の任意の1曲を暗譜で演奏する。 (反復記号は省略して演奏する。)

【美術教育コース】

素描試験を実施します。

「注」 描画用具を持参する必要はありません。

【保健体育コース】

下記の運動種目の基礎的能力に関する実技検査。

[器械運動（マット運動）、陸上競技（短距離走）、球技（バスケットボール、バレーボール）]

「注」

- (1) 屋内・屋外で運動のできる用意をしてください。
- (2) スパイクシューズ等の使用は認めません。
- (3) 陸上競技（短距離走）は天候により変更する場合があります。
- (4) あらかじめ各自で傷害保険に加入してください。
- (5) あらかじめ各自で健康診断を受けてください。

イ. 後期日程

【音楽教育コース】

募集は初等教育選修のみとなります。下記のⅠ，Ⅱを必ず受験してください。ⅡについてはA・B・Cのうちからいずれか1つを選択して受験してください。（Ⅱで選択した内容は入学後の専攻分野を決定するものではありません。また、卒業研究は声楽・器楽（ピアノ）・作曲・音楽教育の中からの選択になります。）なお、出願書類提出後の曲目等の変更は認めません。

Ⅰ 新曲視唱

8小節程度の新曲視唱を1曲課します。予見は1分間です。予見終了後、ピアノで主和音と開始音を鳴らします。難易度等は以下の楽譜を参考にしてください。唱法は問いません。



Ⅱ 実 技

次のA・B・Cの中から1つ選択して受験してください。

A. 声 楽

2分以上5分以内の任意の歌曲（独唱曲に限る）を1曲各自選択し、暗譜で歌唱（移調可）してください。外国歌曲は原語による歌唱とします。

「注」

- (1) 各自が選択した曲の作曲者名、曲名、調性を三重大学入試情報ウェブサイトに掲載予定の「選択曲目等申告書」に記入の上、出願確認票とともに提出してください。
- (2) ピアノ伴奏譜のコピーを出願時に提出する出願確認票とともに2部提出してください。
- (3) ピアノ伴奏譜の1ページの大きさはA4判にしてください。
- (4) ピアノ伴奏譜は見開きになるように横一連に貼り付けてください。
- (5) 試験当日の声楽実技のピアノ伴奏者は大学で用意します。

B. ピアノ

5分程度の任意のピアノ曲を1曲各自選択し、暗譜で演奏してください。自作曲、弾き歌い・弾き語りも含みます。反復記号は省略してください。

「注」

- (1) 各自が選択した曲の作曲者名、曲名、調性、作品番号、楽章などの必要事項を三重大学入試情報ウェブサイトに掲載予定の「選択曲目等申告書」に記入の上、出願確認票とともに提出してください。
- (2) 演奏楽譜のコピーを出願時に提出する出願確認票とともに1部提出してください。
- (3) 演奏楽譜は見開きになるように横一連に貼り付けてください。
- (4) 演奏時間が5分以上の曲を選択しても失格にはなりませんが、その場合は演奏を途中で止めることがあります。

C. 鍵盤楽器以外の器楽

5分程度の任意の1曲（自作曲も含む）を暗譜で演奏してください。弾き歌い・弾き語りも含みます。反復記号がある場合は省略して演奏してください。楽器の範囲は次のとおりとします。

フルート、オーボエ、クラリネット（種類は問わない）、サキソフォン（種類は問わない）、バスーン、ホルン、トランペット、トロンボーン、ユーフォニアム、チューバ、スネアドラム、マリンバ（ハ〜4点ハの4オクターブ）、バイオリン、ビオラ、チェロ、コントラバス、リコーダー（種類は問わない）、アコースティックギター（種類は問わない）、三味線、尺八、鼓。

上記に該当しない楽器で受験を希望する場合は学務部入試チームに問い合わせてください。

「注」

- (1) 各自が選択した楽器名、曲名などの必要事項を三重大学入試情報ウェブサイトに掲載予定の「選択曲目等申告書」に記入の上、出願確認票とともに提出してください。なお、伴奏がある曲を選択しても試験では伴奏をつけずに審査します。
- (2) 演奏楽譜のコピーを出願時に提出する出願確認票とともに1部提出してください。
- (3) 演奏楽譜は見開きになるように横一連に貼り付けてください。
- (4) 演奏時間が5分以上の曲を選択しても失格にはなりませんが、その場合は演奏を途中で止めることがあります。
- (5) 楽器は原則として持参してください。

【保健体育コース】

走・跳・投などの基礎的体力，運動能力に関する下記の実技検査

[50メートル走，ハンドボール投げ，懸垂腕屈伸（女子は斜懸垂腕屈伸），反復横とび，垂直とび]

「注」

- (1) 屋内・屋外で運動のできる用意をしてください。
- (2) スパイクシューズ等の使用は認めません。
- (3) 50メートル走は天候により種目を変更する場合があります。
- (4) あらかじめ各自で傷害保険に加入してください。
- (5) あらかじめ各自で健康診断を受けてください。

ウ．学校推薦型選抜

※ 音楽教育コース，美術教育コース，保健体育コースの実技試験において，地域推薦（三重県南部地域）と地域推薦（三重県全域）では同じ課題を出します。

【音楽教育コース】

音楽に関する以下の技能を審査し，総合点により評価します。下記のⅠ，Ⅱ，Ⅲを必ず受験してください。出願書類提出後の曲目等の変更は認めません。なお，Ⅲで選択した内容は入学後の専攻分野を決定するものではありません。また，卒業研究は声楽・器楽（ピアノ）・作曲・音楽教育の中からの選択になります。

Ⅰ 新曲視唱

臨時記号を含む8小節程度の新曲視唱を1曲課します。予見は1分間です。予見終了後，ピアノで主和音と開始音を鳴らします。難易度等は以下の楽譜を参考にしてください。唱法は問いません。



Ⅱ 実技・共通

次の①と②の両方を受験してください。

①声 楽

次のa. ～ g.の中から任意の1曲を1番の歌詞のみ歌唱してください。歌唱は暗譜でなくてもかまいませんが，その場合は各自が楽譜を用意してください。なお，歌唱にあたって調性は自由とします。

- a. 赤とんぼ（山田耕筰 作曲）
- b. 荒城の月（滝廉太郎 作曲）
- c. 早春賦（中田章 作曲）
- d. 夏の思い出（中田喜直 作曲）
- e. 花（滝廉太郎 作曲）
- f. 花の街（團伊玖磨 作曲）
- g. 浜辺の歌（成田為三 作曲）

「注」

- (1) 試験当日のピアノ伴奏者は大学で用意します。
- (2) 選択した作曲者名，曲名，調性を三重大学入試情報ウェブサイトに掲載予定の「選択曲目等申告書」に記入の上，出願確認票とともに提出してください。

- (3) 原調・移調に関わらず受験曲のピアノ伴奏譜を1ページの大きさA4判にコピーし、見開きになるように横一連に貼り付け、出願時に提出する出願確認票とともに2部提出してください。

②ピアノ

J. S. バッハ作曲「二声のインヴェンション」の中から任意の1曲を演奏してください。演奏は暗譜でなくてもかまいませんが、その場合は各自が楽譜を用意してください。反復記号がある場合は省略して演奏してください。

「注」

- (1) 選択した曲の曲名(番号)、調性を三重大学入試情報ウェブサイトに掲載予定の「選択曲目等申告書」に記入の上、出願確認票とともに提出してください。

III 実技・選択

「声楽」または「ピアノ」または「鍵盤楽器以外の器楽」により、5分以内の任意の1曲(自作曲も含む)を暗譜で演奏してください。弾き歌い・弾き語りも含まれます。いずれも反復記号がある場合は省略して演奏してください。「声楽」または「ピアノ」で受験する場合は、Ⅱで選択した楽曲以外の作品を演奏してください。なお、「鍵盤楽器以外の器楽」で受験する場合は、楽器の範囲を次のとおりとします。

フルート、オーボエ、クラリネット(種類は問わない)、サキソフォン(種類は問わない)、バスーン、ホルン、トランペット、トロンボーン、ユーフォニアム、チューバ、スネアドラム、マリンバ(ハ〜4点ハの4オクターブ)、バイオリン、ビオラ、チェロ、コントラバス、リコーダー(種類は問わない)、アコースティックギター(種類は問わない)、三味線、尺八、鼓。

上記に該当しない楽器で受験を希望する場合は学務部入試チームに問い合わせてください。

「注」

- (1) 各自が選択した実技の内容(「鍵盤楽器以外の器楽」を選択した場合は楽器名)、曲名などの必要事項を三重大学入試情報ウェブサイトに掲載予定の「選択曲目等申告書」に記入の上、出願確認票とともに提出してください。なお、「鍵盤楽器以外の器楽」で受験する場合は、伴奏がある曲を選択しても試験では伴奏をつけずに審査します。
- (2) 演奏する楽譜(声楽の場合はピアノ伴奏譜)を1ページの大きさA4判にコピーし、見開きになるように横一連に貼り付け、出願時に提出する出願確認票とともに2部提出してください。
- (3) 演奏時間が5分以上の曲を選択しても構いません。その場合は演奏を途中で止めることがあります。採点には影響ありません。
- (4) 「鍵盤楽器以外の器楽」で受験する場合は、楽器は原則として持参してください。

【美術教育コース】

素描試験を実施します。

「注」描画用具を持参する必要はありません。

【保健体育コース】

走・跳・投などの基礎的体力、運動能力に関する下記の実技検査

[50メートル走、ハンドボール投げ、懸垂腕屈伸(女子は斜懸垂腕屈伸)、反復横とび、垂直とび]

「注」

- (1) 屋内・屋外で運動のできる用意をしてください。
- (2) スパイクシューズ等の使用は認めません。
- (3) 50メートル走は天候により種目を変更する場合があります。
- (4) あらかじめ各自で傷害保険に加入してください。
- (5) あらかじめ各自で健康診断を受けてください。

(6) 工学部総合工学科建築学コース「立体スケッチ」(後期日程)の問題例・評価基準について

問題例

- 1) 配付された立体模型は、ひとつの正四角柱を大・小に分割したものです。この二体を机の上で自由に組み合わせて配置し、バランスのよい美しい構成をつくりなさい。二体は接触していても、していなくてもかまいません。
- 2) 1) で出来上がった形を解答用紙に鉛筆で描画しなさい。二体の模型の全体を描くこと。陰影や背景などによって立体感をつけること。用紙(A4判)は縦長に使っても横長に使ってもかまいません。

評価基準

以下の5つの評価項目について、それぞれ0点または1点で評価し、合計4点以上を面接及び大学入学共通テストの成績による可否判定の対象とします。

① 立体の構成力

二体がバラバラで無関係な配置のもの、元の一体の正四角柱のままのもの(構成放棄)、重力空間において非現実的ないし不安定なものは、低く評価します。

② 画面の構成力

紙面の一部だけに小さく描いたもの、紙面から大幅にはみ出したもの、ひとつの立体にもうひとつの立体がほとんど隠れてしまっているものは、低く評価します。

③ 立体の観察力

比例が大幅に崩れて(扁平、細長すぎるなど)いるもの、基盤面の平面性が失われているものは、低く評価します。

④ 立体の表現力

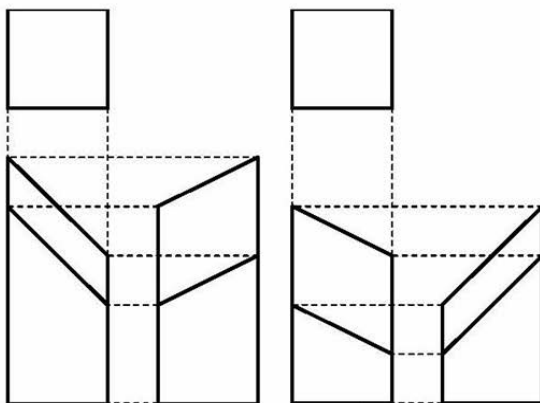
陰影などを利用して立体感を出そうと試みていないもの、陰影が相互におおきく矛盾しているものは、低く評価します。

⑤ 集中力、クラフトマンシップ

試験時間をフル活用して精密な作品を懸命に仕上げようとしていないもの、試験時間に対して描画内容が僅少・貧弱なもの、筆致が乱雑なもの、重要部分を消すなど能力隠蔽の痕跡があるものは、低く評価します。

「注」

1. 問題例は例示であり、このとおり出題されるとは限りません。
2. 描画用具は黒鉛筆(2B~6B)、消しゴム(練り消しゴムを含む)、鉛筆削りとします。なお、描画用具は、試験当日各自で必ず持参してください。
3. 立体模型は、ひとつの正四角柱(正方形底面の1辺の長さ40mm、高さ120mm)を大・小に分割したものです。次に示すのはその一例です。検査では正四角柱の切断面が異なる数種の模型をランダムに配付します。模型には製作上のわずかな個体差があります。



(大) (小)
立体模型の三面図の一例



立体模型の写真

(7) 小論文の出題方針・内容

後期日程で実施する小論文の出題方針・内容は下記のとおりです。

学部	学科・課程・コース		出題方針・内容
人文学部	文化学科		課題文をもとに、読解力・文章表現力と論理的思考力をはかる問題を出します。解答字数は1,000～1,200字程度とします。
	法律経済学科		現代の社会に関わる課題について論述（1,000～1,400字程度）させます。資料や文献を与えることもあります。
教育学部	学校教育教員養成課程	国語教育コース	国語・国語教育に関する課題について論述（1,000～1,200字程度）させ、思考力、表現力などを総合的に評価します。
		音楽教育コース	音楽・音楽教育に関する課題について論述（1,000～1,200字程度）させ、思考力、論理構成力などを総合的に評価します。
		特別支援教育コース	今日的な教育・福祉・医療などに関わる課題を提示して論述（1問あたり800～1,200字程度）させ、思考力、判断力、表現力などを総合的に評価します。
医学部	医学科		人間、健康、医療、生命科学、時事問題などに関わる課題を提示して論述させ、洞察力、論理構成力、表現力などを総合的に評価します。 なお、英語の理解力を必要とするものを含みます。
	看護学科		人間、環境、健康などに関わる課題を提示して論述させ、洞察力、論理構成力、表現力などを総合的に評価します。 なお、英語の理解力を必要とするものを含みます。

(8) ペーパーインタビューの出題方針・内容

後期日程で実施するペーパーインタビューの出題方針・内容は下記のとおりです。

学部	学科・課程・コース		出題方針・内容
生物資源学部	生物資源学科	農林環境科学コース 海洋生物資源学コース 生命化学コース	主体性、多様性、協働性を多面的・総合的に評価するため、志望理由や学修への意欲等を問う記述試験を行います。

(9) 2段階選抜

医学部医学科では、志願者数が募集人員に対して次の倍率を超えた場合のみ実施します。

（倍率については、緩和することがあります。）

学科	日程	前期日程	後期日程
	医学部医学科	5 倍	15 倍

第1段階選抜は、大学入学共通テストの成績により行い、その合格者を対象に個別学力検査等を実施し、最終的な合格者を決定します。

6. 「入試過去問題活用宣言」への参加について

本学は、「入試過去問題活用宣言」に参加しています。

- (1) 本学の入学者受入れの方針（アドミッション・ポリシー）に沿った選抜を実現するため、必要と認める範囲で「入試過去問題活用宣言」に参加している大学の入試過去問題を使用して出題することがあります。
- (2) 「入試過去問題活用宣言」についての詳細及び参加大学の一覧は、以下の「入試過去問題活用宣言」ホームページをご確認ください。
URL: <https://www.nyushikakomon.jp/>
- (3) 入試過去問題は、そのまま使用する場合も一部改変して使用する場合があります。また、必ず使用するとは限りません。
- (4) 入試過去問題を使用した場合は、全ての入学者選抜終了後、本学ウェブサイト「入試情報」にて公表します。

7. 障害のある入学志願者との事前相談について

障害のある者に対しては、受験及び修学上の配慮が必要となる場合がありますので、出願に先立ち、必ず次により相談してください。

なお、相談の内容によっては、対応に時間を要することもありますので、できるだけ早い時期に相談してください。

また、相談の時期後に本学を志願することとなった場合及び不慮の事故等により障害を有することとなった場合は、その時点で速やかに相談してください。

事前相談は障害等のある志願者に本学の現状をあらかじめ知っていただき、受験及び修学に関してより良い方法やあり方を模索するためのもので、障害のある方の受験や修学を制限するものではありません。

事前相談の対象となる者【参考】

区 分	対象となる者
① 視覚障害	・点字による教育を受けている者 ・両眼の矯正視力がおおむね 0.3 未満の者のうち、拡大鏡等の使用によっても通常の文字、図形等の視覚による認識が不可能又は著しく困難な程度の者 ・視力以外の視機能障害が高度な者のうち、拡大鏡等の使用によっても通常の文字、図形等の視覚による認識が不可能又は著しく困難な程度の者 ・上記以外で視覚に関する配慮を必要とする者
② 聴覚障害	・両耳の平均聴力レベルが 60 デシベル以上の者 ・上記以外で聴覚に関する配慮を必要とする者
③ 肢体不自由	・体幹の機能障害により座位を保つことができない者又は困難な者 ・両上肢の機能障害が著しい者 ・上記以外で肢体不自由に関する配慮を必要とする者
④ 病弱	・慢性の呼吸器疾患、心臓疾患、腎臓疾患、消化器疾患等の状態が継続して医療又は生活規制を必要とする程度の者又はこれに準ずる者
⑤ 発達障害	・学習障害、注意欠陥多動性障害、自閉症、アスペルガー症候群、広汎性発達障害等のため配慮を必要とする者
⑥ その他	・①～⑤の区分以外の者で配慮を必要とする者

「注」 日常生活においてごく普通に使用されている補聴器、松葉杖、車椅子等を使用して受験する場合も、試験場設定等において何らかの配慮が必要となる場合がありますので、事前に相談してください。

(1) 受験上の配慮の例

- | | |
|---------------|-----------------------|
| ・試験場への乗用車の入構 | ・試験室を別室に設定 |
| ・車椅子の使用 | ・座席を最前列/最後列/出入口近く等に設定 |
| ・補聴器の使用 | ・試験室を障害者用トイレ近くに設定 |
| ・連絡事項の文書による伝達 | ・試験時間の延長 |

(2) 相談の方法

電話又はFAXなどによりあらかじめ学務部入試チームに連絡した上で、出願前相談申請書を学務部入試チームに郵送などの方法で提出してください。

なお、相談の内容によっては入学志願者又は出身高等学校関係者等との面談を行うことがあります。

(3) 申請書様式

「出願前相談申請書」：申請書の様式は、本学ウェブサイトの入試情報 (<https://www.mie-u.ac.jp/exam/>) よりダウンロードしてください。

参考として「医師の診断書（写）」、「障害者手帳（写）」、「大学入学共通テスト受験上の配慮事項決定通知書（写）」等を提出してください。

(4) 相談の時期（土・日・祝日を除く）

- ① 一般選抜に出願する場合・・・・・・・・・・令和5年12月8日（金）まで
- ② 特別選抜に出願する場合・・・・・・・・・・各募集要項参照
- ③ 総合型選抜に出願する場合・・・・・・・・・・令和5年12月1日（金）まで

(5) 問い合わせ先

① 一般選抜・特別選抜に出願する場合

三重大学学務部入試チーム

〒514-8507 津市栗真町屋町1577 TEL：059-231-9063
FAX：059-231-5382

② 総合型選抜に出願する場合

三重大学工学研究科チーム学務担当

〒514-8507 津市栗真町屋町1577 TEL：059-231-9469
FAX：059-231-9471

三重大学の取組み

三重大学では、「三重大学における障害のある学生の支援に関する基本方針」を定めており、各学部および学内関連組織と連携を図りながら、学生支援に取り組んでいます。

詳細は以下のウェブページをご参照ください。

URL: <https://www.mie-u.ac.jp/support/education/shogai-shien-policy.html>

8. 学生募集要項等の発表時期・大学案内等の資料請求方法について

(1) 発表時期

令和6年度の募集人員、個別学力検査等の実施期日、その他必要な事項を記載した学生募集要項については、次のとおり発表する予定です。

- a. 一般選抜学生募集要項（全学部共通）・・・・・・・・・・・・・11月中旬
- b. 学校推薦型選抜学生募集要項（全学部共通）・・・・・・・・・・・・・8月下旬
- c. 総合型選抜学生募集要項（工学部）・・・・・・・・・・・・・10月下旬

※上記 a, b, c ともに、冊子体での配布は行いませんので、三重大学

ウェブサイト「入試情報」から閲覧またはダウンロードしてください。

三重大学ウェブサイト「入試情報」：<https://www.mie-u.ac.jp/exam/index.html>



(2) 請求方法

ア. テレメールで請求する場合

〔請求手順〕

①テレメールのサイトをご利用ください。

 テレメール	https://telemail.jp 右記の二次元バーコードからもアクセスできます。 この場合は下記②の資料請求番号の入力は不要です。	
--	--	---

②希望する資料請求番号（6桁）を入力してください。

資 料 名	資料請求番号	発送開始日（予定）
三重大学案内	5 6 4 3 8 2	8月上旬
入学者選抜要項	5 8 4 3 8 2	8月上旬
三重大学案内と入学者選抜要項	5 6 4 3 5 2	8月上旬
人文学部案内	5 8 4 3 7 2	随時発送中
教育学部案内	5 6 4 3 7 2	随時発送中
医学部看護学科案内	5 4 4 3 8 2	随時発送中
工学部案内	5 4 4 3 9 2	随時発送中
生物資源学部案内	5 6 4 5 7 2	随時発送中

※医学部医学科案内は、三重大学ウェブサイト「入試情報」から閲覧またはダウンロードしてください。

三重大学ウェブサイト「入試情報」：<https://www.mie-u.ac.jp/exam/index.html>

③ガイドンスに従って登録してください。

資料は通常、発送日からおおむね3～5日でお届けできます。
土曜や日曜、祝日をまたぐ場合は遅くなる場合があります。
また、地域や郵便事情によってはお届けに1週間程度要する場合があります。
なお、16時までの受付は当日発送、16時よりあとの受付は翌日発送となります。

資料の料金は、お届けする資料に同封の支払い方法をご確認のうえ、資料到着後2週間以内に表示料金をお支払いください。

料金のお支払い方法は「コンビニ支払い」「スマホアプリの請求書支払い（LINE Pay, au PAY）」「携帯キャリア払い」「PayPay」「クレジットカード払い」がご利用になれます。

なお、支払い時に手数料として、コンビニ支払いとスマホアプリの請求書支払いは118円、携帯キャリア払い、PayPay クレジットカード払いは30円が別途必要です。

携帯キャリア払い、PayPay、クレジットカード払い、コンビニ支払いは、1回分の手数料で、複数資料の料金を同時に支払うこともできます。

※ テレメールで請求する場合のお問い合わせ先

テレメールカスタマーセンター（株式会社フロムページ）

T E L 050-8601-0102 (9:30～18:00)

イ. モバっちょで請求する場合

インターネット（携帯電話・スマートフォン・パソコン）をご利用ください。

	https://djc-mb.jp/mie-u3/ パソコン・スマートフォン・携帯電話とも共通アドレスです。 携帯電話・スマートフォンなら、右記のQRコードからもアクセスできます。	
---	---	---

受付から2～5日程度で発送されます。ただし、発送開始日までのご請求は予約受付となり、発送開始日になりましたら一斉に発送されます。

※ モバっちょで請求する場合のお問い合わせ先

モバっちょカスタマーセンター（大学情報センター株式会社）

T E L 050-3540-5005 (平日 10:00～18:00)

9. 総合型選抜について

総合型選抜（大学入学共通テストを課す）

実施学部・学科名	工学部 総合工学科						
募 集 人 員	コース・募集人員		対象とする高等学校若しくは中等教育学校の学科				
	情報工学コース	5 名	全学科				
出 願 要 件	次の(1)～(3)のいずれかに該当する者で、合格した場合には入学を確約できるものとする。 (1) 高等学校若しくは中等教育学校を卒業した者及び令和 6 年 3 月に卒業見込みの者 (2) 通常の課程による 12 年の学校教育を修了した者及び令和 6 年 3 月に修了見込みの者 (3) 学校教育法施行規則（昭和 22 年文部省令第 11 号）第 150 条の規定により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められる者及び令和 6 年 3 月 31 日までにこれに該当する見込みの者（次の①から⑤のいずれかに該当する者） ① 外国において学校教育における 12 年の課程を修了した者及び令和 6 年 3 月 31 日までに修了見込みの者又はこれに準ずる者で文部科学大臣の指定した者 ② 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を修了した者及び令和 6 年 3 月 31 日までに修了見込みの者 ③ 専門学校の高等課程（就業年限が 3 年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。）で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者及び令和 6 年 3 月 31 日までに修了見込みの者 ④ 文部科学大臣の指定した者 ⑤ 高等学校卒業程度認定試験規則（平成 17 年文部科学省令第 1 号）により文部科学大臣が行う高等学校卒業程度認定試験に合格した者及び令和 6 年 3 月 31 日までに合格見込みの者で、令和 6 年 3 月 31 日までに 18 歳に達するもの（同規則附則第 2 条の規定による廃止前の大学入学資格検定規定（昭和 26 年文部省令第 13 号）による大学入学資格検定に合格した者を含む）						
選 抜 方 法 等	選抜方法 大学入学共通テストの成績による第 1 次選考を行い、第 1 次選考合格者に対して行う面接及び書類審査による第 2 次選考の結果と第 1 次選考の結果を総合的・多面的に判定し最終合格者を決定します。 [第 1 次選考] 大学入学共通テストの利用教科・科目 <table><tr><td>教科</td><td>科 目 名 等</td></tr><tr><td>数 理 外</td><td>「数Ⅰ・数A」と「数Ⅱ・数B」 「物」と「化、生から 1」 「英」</td></tr></table> [3 教科 5 科目] [第 2 次選考] 第 1 次選考合格者について、書類審査及び面接の結果と第 1 次選考の結果を総合的・多面的に判定し最終合格者を決定します。（面接の評価によっては、総得点の順位にかかわらず不合格とすることがあります。）			教科	科 目 名 等	数 理 外	「数Ⅰ・数A」と「数Ⅱ・数B」 「物」と「化、生から 1」 「英」
教科	科 目 名 等						
数 理 外	「数Ⅰ・数A」と「数Ⅱ・数B」 「物」と「化、生から 1」 「英」						
出 願 期 間	令和 6 年 1 月 16 日（火）～1 月 22 日（月）						
選 抜 期 日	[第 1 次選考] 令和 6 年 2 月 6 日（火）（選考結果通知） [第 2 次選考] 令和 6 年 2 月 9 日（金）						
合 格 発 表 日	令和 6 年 2 月 13 日（火）						
そ の 他	この入試に関する詳細は、10 月下旬に公表予定の募集要項を確認してください。						

10. 特別選抜について

(1) 学校推薦型選抜（大学入学共通テストを課さない）【推薦A】【推薦B】

実施学部・学科名	人文学部 法律経済学科		
募 集 人 員	区分・募集人員		対象とする高等学校若しくは中等教育学校の学科
	推薦A	5 名	普通科，理数に関する学科，外国語に関する学科，国際関係に関する学科，その他普通科に準ずると認められる学科
	推薦B	3 名	総合学科，商業に関する学科，情報に関する学科
出 願 要 件	現代社会の課題に取り組む意欲のある者で，下記の要件を満たし，高等学校長若しくは中等教育学校長が責任をもって推薦でき，合格した場合入学することを確約できるものとする。		
	推薦A	高等学校若しくは中等教育学校を令和6年3月に卒業見込みの者（注1）で学習成績概評がA段階であり，実用英語技能検定準2級以上（日本英語検定協会）を取得しているもの。 なお，1高等学校若しくは1中等教育学校から推薦できる人数は，2名以内とします。 （注1） 学校教育法施行規則第93条第3項の規定に基づき，令和5年度中に高等学校若しくは中等教育学校のこれらの学科を卒業した者又は卒業見込みの者及び文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有する者として認定した在外教育施設のこれらの学科に準ずる当該課程を令和5年度中に修了した者又は修了見込みの者を含みます。	
	推薦B	高等学校若しくは中等教育学校を令和6年3月卒業見込みの者（注2）で学習成績概評がA段階であり，下記のいずれかの資格試験に合格しているもの。 ・実用英語技能検定準2級以上（日本英語検定協会） ・簿記検定2級以上（日商） ・簿記検定1級（全商） ・情報処理検定ビジネス情報部門1級（全商） ・ITパスポート試験（情報処理推進機構） ・基本情報技術者試験（情報処理推進機構） ・応用情報技術者試験（情報処理推進機構） なお，1高等学校若しくは1中等教育学校から推薦できる人数は，2名以内とします。 （注2） 学校教育法施行規則第93条第3項の規程に基づき，令和5年度中に高等学校若しくは中等教育学校のこれらの学科を卒業した者又は卒業見込みの者を含みます。	
選 抜 方 法 等	推薦A	調査書，推薦書，志願理由書，課題作文及び面接の結果を総合して行います。	
	推薦B		
出 願 期 間	推薦A	令和5年11月1日(水) ～ 11月7日（火）	
	推薦B		
選 抜 期 日	推薦A	令和5年11月18日（土）	
	推薦B		
合 格 発 表 日	推薦A	令和5年12月15日（金）	
	推薦B		
そ の 他	この入試に関する詳細は，8月下旬に公表予定の募集要項を確認してください。		

学校推薦型選抜（大学入学共通テストを課す）【推薦C】

実施学部・学科名	人文学部 文化学科																
募 集 人 員	区分・募集人員		対象とする高等学校若しくは中等教育学校の学科														
	推薦C	5 名	全ての学科														
出 願 要 件	人間の文化と社会の動きやしぐみに強い関心・好奇心をもち、それらについて深く理解することを望む者で、下記の要件を満たし、高等学校長若しくは中等教育学校長が責任をもって推薦でき、合格した場合入学することを確約できるものとする。																
	推薦C	高等学校若しくは中等教育学校を令和6年3月に卒業見込みの者（注3）で学習成績概評がB段階以上のもの。 （注3）学校教育法施行規則第93条第3項の規程に基づき、令和5年度中に高等学校若しくは中等教育学校を卒業した者又は卒業見込みの者及び文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有する者として認定した在外教育施設の当該課程を令和5年度中に修了した者又は修了見込みの者を含みます。															
選 抜 方 法 等	推薦C	[第1次選考] 令和6年度大学入学共通テストの成績に基づいて、募集人員の2倍程度の合格者を決定します。 ○大学入学共通テストの利用教科・科目															
		<table><tr><td>教科</td><td>科 目 名 等</td></tr><tr><td>国</td><td>国</td></tr><tr><td>地歴</td><td>世B, 日B, 地理Bから1又は2</td></tr><tr><td>公民</td><td>現社, 倫, 政経, 倫・政経から1</td></tr><tr><td>数</td><td>「数Ⅰ・数A」と「数Ⅱ, 数Ⅱ・数B, 簿, 情報から1」</td></tr><tr><td>理</td><td>「物基, 化基, 生基, 地基から2」 又は「物, 化, 生, 地学から1」</td></tr><tr><td>外</td><td>英, 独, 仏, 中, 韓から1</td></tr><tr><td colspan="2">[5教科7科目, 5教科8科目, 6教科7科目又は6教科8科目]</td></tr></table> 「注」指定の教科・科目数を超えて受験した場合には、高得点の教科・科目の成績を採用します。 「理科」において基礎を付した科目から2科目と基礎を付していない科目から1科目受験した場合には高得点の科目(基礎を付した科目の場合は2科目の合計)の成績を採用の対象とします。 「理科」において基礎を付していない科目から2科目受験した場合には第1解答科目の得点を採用の対象とします。		教科	科 目 名 等	国	国	地歴	世B, 日B, 地理Bから1又は2	公民	現社, 倫, 政経, 倫・政経から1	数	「数Ⅰ・数A」と「数Ⅱ, 数Ⅱ・数B, 簿, 情報から1」	理	「物基, 化基, 生基, 地基から2」 又は「物, 化, 生, 地学から1」	外	英, 独, 仏, 中, 韓から1
教科	科 目 名 等																
国	国																
地歴	世B, 日B, 地理Bから1又は2																
公民	現社, 倫, 政経, 倫・政経から1																
数	「数Ⅰ・数A」と「数Ⅱ, 数Ⅱ・数B, 簿, 情報から1」																
理	「物基, 化基, 生基, 地基から2」 又は「物, 化, 生, 地学から1」																
外	英, 独, 仏, 中, 韓から1																
[5教科7科目, 5教科8科目, 6教科7科目又は6教科8科目]																	
出 願 期 間	推薦C	令和6年1月16日(火) ～ 1月22日(月)															
選 抜 期 日	推薦C	[第1次選考]令和6年2月6日(火) (選考結果通知) [第2次選考]令和6年2月9日(金)															
合 格 発 表 日	推薦C	令和6年2月13日(火)															
そ の 他	この入試に関する詳細は、8月下旬に公表予定の募集要項を確認してください。。																

学校推薦型選抜（大学入学共通テストを課す）【推薦C】

実施学部・学科名		人文学部 法律経済学科																			
募 集 人 員	区分・募集人員		対象とする高等学校若しくは中等教育学校の学科																		
	推薦C	10 名	全ての学科																		
出 願 要 件	現代社会の課題に取り組む意欲のある者で、下記の要件を満たし、高等学校長若しくは中等教育学校長が責任をもって推薦でき、合格した場合入学することを確約できるものとする。																				
	推薦C	人間の文化と社会の動きやしぐみに強い関心・好奇心をもち、それらについて深く理解することを望む者で、下記の要件を満たし、高等学校長若しくは中等教育学校長が責任をもって推薦でき、合格した場合入学することを確約できるものとする。 高等学校若しくは中等教育学校を令和6年3月に卒業見込みの者（注3）で学習成績概評がB段階以上の者。 （注3） 学校教育法施行規則第93条第3項の規程に基づき、令和5年度中に高等学校若しくは中等教育学校を卒業した者又は卒業見込みの者及び文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有する者として認定した在外教育施設の当該課程を令和5年度中に修了した者又は修了見込みの者を含みます。																			
選 抜 方 法 等	推薦C	[第1次選考] 令和6年度大学入学共通テストの成績に基づいて、募集人員の2倍程度の合格者を決定します。 ○大学入学共通テストの利用教科・科目																			
		<table><tr><th>教科</th><th colspan="2">科 目 名 等</th></tr><tr><td>国</td><td>国</td><td rowspan="5">から4(基礎を付した科目を含む場合) 又は から3(基礎を付した科目を含まない場合)</td></tr><tr><td>地歴</td><td>世B, 日B, 地理Bから1又は2</td></tr><tr><td>公民</td><td>現社, 倫, 政経, 倫・政経から1</td></tr><tr><td>理</td><td>『「物基, 化基, 生基, 地基から2」, 物, 化, 生, 地学』から1又は2</td></tr><tr><td>数</td><td>「数Ⅰ・数A」と「数Ⅱ, 数Ⅱ・数B, 簿, 情報から1」</td></tr><tr><td>外</td><td>英, 独, 仏, 中, 韓から1</td><td></td></tr><tr><td colspan="3">[5教科7科目, 5教科8科目, 6教科7科目又は6教科8科目]</td></tr></table> 「注」指定の教科・科目数を超えて受験した場合には、高得点の教科・科目の成績を採用します。 ただし、『「地理歴史」「公民」』において複数科目を受験する場合は、第1解答科目の得点を採用の対象とします。 「理科」において基礎を付した科目から2科目と基礎を付していない科目から1科目受験した場合には高得点の科目(基礎を付した科目の場合は2科目の合計)の成績を採用の対象とします。 「理科」において基礎を付していない科目から2科目受験した場合には第1解答科目の得点を採用の対象とします。第2解答科目については、第1解答科目が採用された場合についてのみ当該科目の得点として採用の対象となる場合があります。 (※)『「地理歴史」「公民」』を複数科目受験した場合 『「地理歴史」「公民」』の第1解答科目の得点が、『「地理歴史」「公民」』の第2解答科目を除くその他の科目(「理科」を複数科目受験した場合は、基礎を付した科目と基礎を付していない科目の第1解答科目のうち高得点の科目。)のうち最高得点である場合には、『「地理歴史」「公民」』の第1解答科目の得点を採用した後、『「地理歴史」「公民」』の第2解答科目を含めた科目(理科を複数科目受験した場合は、上記と同じ。)のうち高得点の科目の得点を採用します。 [第2次選考] 第1次選考に合格した者について、調査書、推薦書、志願理由書及び面接の結果を総合して行います。		教科	科 目 名 等		国	国	から4(基礎を付した科目を含む場合) 又は から3(基礎を付した科目を含まない場合)	地歴	世B, 日B, 地理Bから1又は2	公民	現社, 倫, 政経, 倫・政経から1	理	『「物基, 化基, 生基, 地基から2」, 物, 化, 生, 地学』から1又は2	数	「数Ⅰ・数A」と「数Ⅱ, 数Ⅱ・数B, 簿, 情報から1」	外	英, 独, 仏, 中, 韓から1		[5教科7科目, 5教科8科目, 6教科7科目又は6教科8科目]
教科	科 目 名 等																				
国	国	から4(基礎を付した科目を含む場合) 又は から3(基礎を付した科目を含まない場合)																			
地歴	世B, 日B, 地理Bから1又は2																				
公民	現社, 倫, 政経, 倫・政経から1																				
理	『「物基, 化基, 生基, 地基から2」, 物, 化, 生, 地学』から1又は2																				
数	「数Ⅰ・数A」と「数Ⅱ, 数Ⅱ・数B, 簿, 情報から1」																				
外	英, 独, 仏, 中, 韓から1																				
[5教科7科目, 5教科8科目, 6教科7科目又は6教科8科目]																					
出 願 期 間	推薦C	令和6年1月16日(火) ～ 1月22日(月)																			
選 抜 期 日	推薦C	[第1次選考]令和6年2月6日(火) (選考結果通知) [第2次選考]令和6年2月9日(金)																			
合 格 発 表 日	推薦C	令和6年2月13日(火)																			
そ の 他	この入試に関する詳細は、8月下旬に公表予定の募集要項を確認してください。																				

学校推薦型選抜（大学入学共通テストを課さない）【推薦Ⅰ】

実施学部名	教育学部 学校教育教員養成課程	
募集人員	技術・ものづくり教育コース（中等教育選修）	1名
	学校教育コース	教育学専攻 3名 教育心理学専攻 3名
出願要件	下記の要件を満たし、高等学校長若しくは中等教育学校長が責任をもって推薦でき、合格した場合入学することを確約できる者とする。 なお、1 高等学校若しくは1 中等教育学校から推薦できる人数は、技術・ものづくり教育コースについては1名、学校教育コースについては各専攻につき1名とする。 技術・ものづくり教育コース（中等教育選修） 下記各号のいずれかに該当する者で、調査書の全体の学習成績の状況が4.0 以上であり技術教育とその基礎となる科学技術に強い関心を持つもの。 (1) 高等学校若しくは中等教育学校の工業に関する学科又は総合学科（工業に関する教科・科目を20 単位以上修得した者又は見込みの者）を令和5 年3 月に卒業した者及び令和6 年3 月に卒業見込みの者※1 (2) 学校教育法施行規則第93 条第3 項の規定に基づき、令和4 年度及び令和5 年度中に高等学校若しくは中等教育学校の工業に関する学科又は総合学科（工業に関する教科・科目を20 単位以上修得した者又は見込みの者）を卒業又は卒業見込みの者※2 学校教育コース 教育学専攻 下記各号のいずれかに該当する者で、調査書の全体の学習成績の状況が3.5 以上であり教育学の知見をベースとして学校教育場面の教育・制度・組織に関する強い関心と意欲を持つもの。 学校教育コース 教育心理学専攻 下記各号のいずれかに該当する者で、調査書の全体の学習成績の状況が3.5 以上であり心理学の知見をベースとして学校教育場面での発達支援に関する強い関心と意欲を持つもの。 (1) 高等学校若しくは中等教育学校を令和5 年3 月に卒業した者及び令和6 年3 月に卒業見込みの者 (2) 学校教育法施行規則第93 条第3 項の規定に基づき、令和4 年度及び令和5 年度中に高等学校若しくは中等教育学校を卒業又は卒業見込みの者 (3) 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を令和4 年4 月から令和6 年3 月までに修了又は修了見込みの者	
選抜方法等	小論文，面接，推薦書及び調査書等の結果を総合して行います。 教員志望確認書を総合評価として利用します。	
出願期間	令和5 年11 月1 日（水） ～ 11 月7 日（火）	
選抜期日	令和5 年11 月25 日（土）[11 月26 日（日）（志願者多数の場合のみ）]	
合格発表日	令和5 年12 月15 日（金）	
その他	この入試に関する詳細は、8 月下旬に公表予定の募集要項を確認してください。。	

※1 技術・ものづくり教育コースについては、令和5 年3 月に高等専門学校の3 年次を修了した者及び令和6 年3 月に高等専門学校の3 年次を修了見込みの者を含む。

※2 技術・ものづくり教育コースについては、令和4 年度中に高等専門学校の3 年次を修了した者及び令和5 年度中に高等専門学校の3 年次を修了見込みの者を含む。

学校推薦型選抜（大学入学共通テストを課す）【推薦Ⅱ】

実施学部名	教育学部 学校教育教員養成課程										
募集人員	家政教育コース（初等教育選修） 3名										
出願要件	下記の要件を満たし、高等学校長若しくは中等教育学校長が責任をもって推薦でき、合格した場合入学することを確約できる者とする。 なお、1 高等学校若しくは1 中等教育学校から推薦できる人数に制限はありません。 (1) 高等学校若しくは中等教育学校を令和5年3月に卒業した者及び令和6年3月に卒業見込みの者 (2) 学校教育法施行規則第93条第3項の規定に基づき、令和4年度及び令和5年度中に高等学校若しくは中等教育学校を卒業した者又は卒業見込みの者 (3) 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を令和4年4月から令和6年3月までに修了又は修了見込みの者 上記各号のいずれかに該当する者で、調査書の全体の学習成績の状況が3.5以上であり家政教育に強い関心と意欲を持つもの										
選抜方法等	[第1次選考] 令和6年度大学入学共通テストの成績に基づいて合格者を決定し、調査書、推薦書及び志願理由書は合否判定の参考とします。 ○大学入学共通テストの利用教科・科目 <table border="1"> <thead> <tr> <th>教科</th><th>科目名等</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>国</td><td>国</td></tr> <tr> <td>地歴</td><td>世B, 日B, 地理Bから1又は2</td></tr> <tr> <td>公民</td><td>現社, 倫, 政経, 倫・政経から1</td></tr> <tr> <td>理</td><td>【地歴, 公民から1科目選択した場合】 物, 化, 生, 地学から2 【地歴, 公民から2科目選択した場合】 「物基, 化基, 生基, 地基から2」又は「物, 化, 生, 地学から1」 「数Ⅰ・数A」と 「数Ⅱ, 数Ⅱ・数B, 簿, 情報から1」 英, 独, 仏, 中, 韓から1</td></tr> </tbody> </table> [5教科7科目, 5教科8科目, 6教科7科目又は6教科8科目] (注) 指定の教科・科目を超えて受験した場合には、高得点の教科・科目の成績を採用します。 『「地理歴史」「公民」』から2つ、『理科②(「物理」「化学」「生物」「地学」)』から2つ受験した場合は『「地理歴史」「公民」』及び「理科②」それぞれの第1解答科目を採用した後、第2解答科目は高得点の科目の得点を採用します。 [第2次選考] 第1次選考に合格した者について、調査書、推薦書、志願理由書及び面接の結果を総合して行います。 教員志望確認書を総合評価として利用します。	教科	科目名等	国	国	地歴	世B, 日B, 地理Bから1又は2	公民	現社, 倫, 政経, 倫・政経から1	理	【地歴, 公民から1科目選択した場合】 物, 化, 生, 地学から2 【地歴, 公民から2科目選択した場合】 「物基, 化基, 生基, 地基から2」又は「物, 化, 生, 地学から1」 「数Ⅰ・数A」と 「数Ⅱ, 数Ⅱ・数B, 簿, 情報から1」 英, 独, 仏, 中, 韓から1
教科	科目名等										
国	国										
地歴	世B, 日B, 地理Bから1又は2										
公民	現社, 倫, 政経, 倫・政経から1										
理	【地歴, 公民から1科目選択した場合】 物, 化, 生, 地学から2 【地歴, 公民から2科目選択した場合】 「物基, 化基, 生基, 地基から2」又は「物, 化, 生, 地学から1」 「数Ⅰ・数A」と 「数Ⅱ, 数Ⅱ・数B, 簿, 情報から1」 英, 独, 仏, 中, 韓から1										
出願期間	令和5年12月13日(水) ～ 12月18日(月)										
選抜期日	[第1次選考] 令和6年2月6日(火) (選考結果通知) [第2次選考] 令和6年2月11日(日)										
合格発表日	令和6年2月13日(火)										
その他	この入試に関する詳細は、8月下旬に公表予定の募集要項を確認してください。										

学校推薦型選抜（大学入学共通テストを課す）【地域推薦（三重県南部地域）】

実 施 学 部 名	教育学部 学校教育教員養成課程					
募 集 人 員	若干名	国語教育コース（初等教育選修） 社会科教育コース（初等教育選修） 数学教育コース（初等教育選修） 理科教育コース（初等教育選修） 音楽教育コース（初等教育選修） 美術教育コース（初等教育選修） 保健体育コース（初等教育選修） 技術・ものづくり教育コース（初等教育選修） 家政教育コース（初等教育選修） 英語教育コース（初等教育選修） 学校教育コース（教育学専攻，教育心理学専攻） ※地域推薦（三重県南部地域） の合格者は，各コース 1 名以 内，合計 5 名以内とします。ま た，合格者があった場合は前 期日程の定員を充当します。				
出 願 要 件	(1) 高等学校を令和 5 年 3 月に卒業した者及び令和 6 年 3 月に卒業見込みの者 ※1 (2) 学校教育法施行規則第 93 条第 3 項の規定に基づき，令和 4 年度及び令和 5 年度中に高等学校を卒業又は卒業見込みの者 ※2 上記(1)，(2)のいずれかに該当し，合格した場合入学することを確約でき，また次の要件を満たす者。 なお，1 高等学校等から推薦できる人数は 5 名以内としますが，第 1 志望のコースに 2 名以上出願することはできません。 1. 鳥羽市，志摩市，南伊勢町，大紀町，大台町，紀北町，尾鷲市，熊野市，御浜町，紀宝町に居住し，同市町の高等学校等※3 を卒業した者又は卒業見込みの者で，三重県南部地域の小学校教育に高い関心と強い意欲を持ち，将来教員として同市町に定着する意志の強い者 2. 調査書の全体の学習成績の状況が 4.0 以上の者 3. 豊かな人間関係を築くことができ，高いコミュニケーション能力を有する者 4. 居住する市町の教育委員会が行う面接により，本課程の学生としてふさわしい意欲・資質・適性等を備えている者であると評価され，推薦を受けた者 5. 令和 6 年度大学入学共通テストにおいて，指定した教科・科目を受験する者 6. 合格した場合，三重県南部地域において，将来教員として定着することについて誓約書を提出する者 7. 合格した場合，居住する市町の奨学金（実施している場合）へ応募する者					
選 抜 方 法 等	令和 6 年度大学入学共通テストの成績，面接，出願書類及び小論文又は実技に基づいて選抜します。 ○大学入学共通テストの利用教科・科目 <table><tr><td>教科</td><td>科 目 名 等</td></tr><tr><td>国 地歴 公民 理 数 外</td><td> 国 世 B，日 B，地理 B から 1 又は 2 } から 1 又は 2 現社，倫，政経，倫・政経から 1 } 【地歴，公民から 1 科目選択した場合】 物，化，生，地学から 2 【地歴，公民から 2 科目選択した場合】 「物基，化基，生基，地基から 2」又は「物，化，生，地学から 1」 「数Ⅰ・数 A」と 「数Ⅱ，数Ⅱ・数 B，簿，情報から 1」 英，独，仏，中，韓から 1 [5 教科 7 科目，5 教科 8 科目，6 教科 7 科目又は 6 教科 8 科目] </td></tr></table> (注) 指定の教科・科目数を超えて受験した場合には，高得点の教科・科目の成績を採用します。 『「地理歴史」「公民」』から 2 つ，『理科②（「物理」「化学」「生物」「地学」）』から 2 つ受験した場合は『「地理歴史」「公民」』及び「理科②」それぞれの第 1 解答科目を採用した後，第 2 解答科目は高得点の科目の得点を採用します。 国語教育，社会科教育，数学教育，理科教育，技術・ものづくり教育，家政教育，英語教育，学校教育の各コースは小論文及び面接を課し，音楽教育，美術教育，保健体育の各コースは実技及び面接を課します。なお，小論文及び実技については総合評価とします。		教科	科 目 名 等	国 地歴 公民 理 数 外	国 世 B，日 B，地理 B から 1 又は 2 } から 1 又は 2 現社，倫，政経，倫・政経から 1 } 【地歴，公民から 1 科目選択した場合】 物，化，生，地学から 2 【地歴，公民から 2 科目選択した場合】 「物基，化基，生基，地基から 2」又は「物，化，生，地学から 1」 「数Ⅰ・数 A」と 「数Ⅱ，数Ⅱ・数 B，簿，情報から 1」 英，独，仏，中，韓から 1 [5 教科 7 科目，5 教科 8 科目，6 教科 7 科目又は 6 教科 8 科目]
教科	科 目 名 等					
国 地歴 公民 理 数 外	国 世 B，日 B，地理 B から 1 又は 2 } から 1 又は 2 現社，倫，政経，倫・政経から 1 } 【地歴，公民から 1 科目選択した場合】 物，化，生，地学から 2 【地歴，公民から 2 科目選択した場合】 「物基，化基，生基，地基から 2」又は「物，化，生，地学から 1」 「数Ⅰ・数 A」と 「数Ⅱ，数Ⅱ・数 B，簿，情報から 1」 英，独，仏，中，韓から 1 [5 教科 7 科目，5 教科 8 科目，6 教科 7 科目又は 6 教科 8 科目]					

出 願 期 間	令和5年12月13日(水) ～ 12月18日(月)
選 抜 期 日	令和6年2月11日(日)
合 格 発 表 日	令和6年2月13日(火)
そ の 他	この入試に関する詳細は、8月下旬に公表予定の募集要項を確認してください。

- ※1 令和5年3月に高等専門学校の3年次を修了した者及び令和6年3月に高等専門学校の3年次を修了見込みの者を含む。また、令和5年3月に特別支援学校の高等部を修了した者及び令和6年3月に特別支援学校の高等部を修了見込みの者を含む。
- ※2 令和4年度中に高等専門学校を3年次を修了した者及び令和5年度中に高等専門学校を3年次を修了見込みの者を含む。また、令和4年度中に特別支援学校の高等部を修了した者及び令和5年度中に特別支援学校の高等部を修了見込みの者を含む。
- ※3 南伊勢高校の度会校舎は度会郡度会町に所在するが、南伊勢高校の一部ということで対象とする。

学校推薦型選抜（大学入学共通テストを課す）【地域推薦（三重県全域）】

実施学部名	教育学部 学校教育教員養成課程						
募集人員	若干名 国語教育コース（初等教育選修） 社会科教育コース（初等教育選修） 数学教育コース（初等教育選修） 理科教育コース（初等教育選修） 音楽教育コース（初等教育選修） 美術教育コース（初等教育選修） 保健体育コース（初等教育選修） 技術・ものづくり教育コース（初等教育選修） 家政教育コース（初等教育選修） 英語教育コース（初等教育選修） 特別支援教育コース 幼児教育コース 学校教育コース（教育学専攻，教育心理学専攻） ※地域推薦（三重県全域）の合格者は，前期日程初等教育選修の募集人員（選修の別がないコースは前期日程の募集人員）が5名以下のコースは1名以内，6名以上の場合は2名以内とします。また，合格者があった場合は前期日程の定員を充当します。						
出願要件	(1) 高等学校若しくは中等教育学校を令和5年3月に卒業した者及び令和6年3月に卒業見込みの者 ※1 (2) 学校教育法施行規則第93条第3項の規定に基づき，令和4年度及び令和5年度中に高等学校若しくは中等教育学校を卒業又は卒業見込みの者 ※2 上記(1)，(2)のいずれかに該当し，合格した場合入学することを確約でき，また次の要件を満たす者。 なお，1 高等学校等から推薦できる人数は3名以内としますが，1つのコースに2名以上出願することはできません。 1. 三重県に居住し，同県高等学校等を卒業した者又は卒業見込みの者で，三重県の教育に高い関心と強い意欲を持ち，将来教員として同県に定着する意志の強い者 2. 調査書の全体の学習成績の状況が4.0以上の者 3. 豊かな人間関係を築くことができ，高いコミュニケーション能力を有する者 4. 令和6年度大学入学共通テストにおいて，指定した教科・科目を受験する者 5. 合格した場合，将来，三重県において，教員または保育士として定着することについて誓約書を提出する者						
選抜方法等	令和6年度大学入学共通テストの成績，面接，出願書類及び小論文又は実技に基づいて選抜します。 ○大学入学共通テストの利用教科・科目 <table border="1" data-bbox="379 1361 1431 1778"> <thead> <tr> <th>教科</th><th>科目名等</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>国 地歴 公民 理</td><td> 国 世B，日B，地理Bから1又は2 現社，倫，政経，倫・政経から1 【地歴，公民から1科目選択した場合】 物，化，生，地学から2 【地歴，公民から2科目選択した場合】 「物基，化基，生基，地基から2」又は「物，化，生，地学から1」 「数Ⅰ・数A」と 「数Ⅱ，数Ⅱ・数B，簿，情報から1」 英，独，仏，中，韓から1 </td></tr> <tr> <td>数 外</td><td></td></tr> </tbody> </table> [5教科7科目，5教科8科目，6教科7科目又は6教科8科目] (注) 指定の教科・科目を超えて受験した場合には，高得点の教科・科目の成績を採用します。 『「地理歴史」「公民」』から2つ，『理科②（「物理」「化学」「生物」「地学」）』から2つ受験した場合は『「地理歴史」「公民」』及び「理科②」それぞれの第1解答科目を採用した後，第2解答科目は高得点の科目の得点を採用します。 国語教育，社会科教育，数学教育，理科教育，技術・ものづくり教育，家政教育，英語教育，特別支援教育，幼児教育，学校教育の各コースは小論文及び面接を課し，音楽教育，美術教育，保健体育の各コースは実技及び面接を課します。なお，小論文及び実技については総合評価とします。	教科	科目名等	国 地歴 公民 理	国 世B，日B，地理Bから1又は2 現社，倫，政経，倫・政経から1 【地歴，公民から1科目選択した場合】 物，化，生，地学から2 【地歴，公民から2科目選択した場合】 「物基，化基，生基，地基から2」又は「物，化，生，地学から1」 「数Ⅰ・数A」と 「数Ⅱ，数Ⅱ・数B，簿，情報から1」 英，独，仏，中，韓から1	数 外	
教科	科目名等						
国 地歴 公民 理	国 世B，日B，地理Bから1又は2 現社，倫，政経，倫・政経から1 【地歴，公民から1科目選択した場合】 物，化，生，地学から2 【地歴，公民から2科目選択した場合】 「物基，化基，生基，地基から2」又は「物，化，生，地学から1」 「数Ⅰ・数A」と 「数Ⅱ，数Ⅱ・数B，簿，情報から1」 英，独，仏，中，韓から1						
数 外							

	※ 志願者数が 10 名程度を超えたコースのみ， 2 段階選抜を実施します。 なお，第 1 段階選抜は大学入学共通テスト（国語 100，地歴・公民・理科 50×3，数学 100，外国語 100 の 450 点満点）の成績により行います。 2 段階選抜実施状況は三重大学ウェブサイトの「入試情報」に掲載します。
出 願 期 間	令和 5 年 12 月 13 日(水) ～ 12 月 18 日 (月)
選 抜 期 日	[第 1 次選考]（実施する場合）令和 6 年 2 月 6 日（火） （選考結果通知） [第 2 次選考] 令和 6 年 2 月 11 日（日）
合 格 発 表 日	令和 6 年 2 月 13 日（火）
そ の 他	この入試に関する詳細は，8 月下旬に公表予定の募集要項を確認してください。

- ※ 1 令和 5 年 3 月に高等専門学校 の 3 年次を修了した者及び令和 6 年 3 月に高等専門学校 の 3 年次を修了見込みの者を含む。また，令和 5 年 3 月に特別支援学校 の高等部を修了した者及び令和 6 年 3 月に特別支援学校 の高等部を修了見込みの者を含む。
- ※ 2 令和 4 年度中に高等専門学校 の 3 年次を修了した者及び令和 5 年度中に高等専門学校 の 3 年次を修了見込みの者を含む。また，令和 4 年度中に特別支援学校 の高等部を修了した者及び令和 5 年度中に特別支援学校 の高等部を修了見込みの者を含む。

学校推薦型選抜（大学入学共通テストを課す）

実施学部・学科名	医学部 医学科				
募 集 人 員	40 名 地域枠 30 名（地域枠 A：25 名程度，地域枠 B：5 名程度）を含みます。				
出 願 要 件	(1) 高等学校若しくは中等教育学校を令和 5 年 3 月に卒業した者及び令和 6 年 3 月に卒業見込みの者 (2) 学校教育法施行規則第 93 条第 3 項の規定に基づき，令和 4 年度中及び令和 5 年度中に高等学校若しくは中等教育学校を卒業又は卒業見込みの者 (3) 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を令和 4 年 4 月から令和 6 年 3 月までに修了又は修了見込みの者 上記(1)～(3)のいずれかに該当し，次の要件を満たすものとする。 ① 将来の医師及び医学研究者にふさわしい優れた能力・倫理観・責任感及び健康状態について，高等学校長若しくは中等教育学校長が責任を持って推薦できる者 ② 高等学校若しくは中等教育学校における学習成績概評値が A 段階の者 ③ 合格した場合入学することを確約できる者 ④ 地域枠志望者については，卒業後は三重県の医療・医学に貢献することを確約できる者 ⑤ 地域枠 B 志望者については，卒業後は指定する診療科（内科，外科，救急科，総合診療科）へ従事することを確約できる者 ※診療科指定については，三重大学ウェブサイト「入試情報」及び学校推薦型選抜学生募集要項をご参照ください。 なお，地域枠志望者については，三重県医師修学資金への入学初年度からの応募を要件とします。				
選 抜 方 法 等	[第 1 次選考] 令和 6 年度大学入学共通テストの成績に基づいて募集人員の 2 倍程度までの合格者を決定し，調査書，推薦書，志願理由書及び所信書は合否判定の参考とします。 ○大学入学共通テストの利用教科・科目 <table border="1"> <thead> <tr> <th>教科</th><th>科 目 名 等</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>国 地歴 公民 数 理 外</td><td> 国 世 B，日 B，地理 B 現社，倫・政経 「数Ⅰ・数 A」と「数Ⅱ・数 B」 物，化，生から 2 英，独，仏，中，韓から 1 </td></tr> </tbody> </table> [5 教科 7 科目] 「注」 指定の教科・科目数を超えて受験した場合には，高得点の教科・科目の成績を採用します。ただし，『「地理歴史」「公民」』において複数科目を受験した場合は，第 1 解答科目の得点を採用します。 については，『「地理歴史」「公民」』において複数科目を受験する場合は，上記の指定された科目の 1 つを第 1 解答科目とする必要があります。 [第 2 次選考] 第 1 次選考に合格した者について，小論文及び面接の結果を総合して行います。	教科	科 目 名 等	国 地歴 公民 数 理 外	国 世 B，日 B，地理 B 現社，倫・政経 「数Ⅰ・数 A」と「数Ⅱ・数 B」 物，化，生から 2 英，独，仏，中，韓から 1
教科	科 目 名 等				
国 地歴 公民 数 理 外	国 世 B，日 B，地理 B 現社，倫・政経 「数Ⅰ・数 A」と「数Ⅱ・数 B」 物，化，生から 2 英，独，仏，中，韓から 1				
出 願 期 間	令和 5 年 12 月 13 日(水) ～ 12 月 18 日(月)				
選 抜 期 日	[第 1 次選考]令和 6 年 2 月 6 日(火) (選考結果通知) [第 2 次選考]令和 6 年 2 月 9 日(金)・10 日(土)				
合 格 発 表 日	令和 6 年 2 月 13 日(火)				
そ の 他	(1) 三重県の医療に積極的に参加する意志のある者を希望します。 (2) 地域枠 B は 1 市・町から推薦できる人数は 2 名以内とします。 (3) この入試に関する詳細は，8 月下旬に公表予定の募集要項を確認してください。				

学校推薦型選抜（大学入学共通テストを課す）

実施学部・学科名	医学部 看護学科				
募 集 人 員	看護学科 20 名（地域枠 13 名程度を含みます。）				
出 願 要 件	(1) 高等学校若しくは中等教育学校を令和 5 年 3 月に卒業した者及び令和 6 年 3 月に卒業見込みの者 (2) 学校教育法施行規則第 93 条第 3 項の規定に基づき、令和 4 年度中及び令和 5 年度中に高等学校若しくは中等教育学校を卒業又は卒業見込みの者 (3) 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を令和 4 年 4 月から令和 6 年 3 月までに修了又は修了見込みの者 上記(1)～(3)のいずれかに該当し、次の要件を満たすものとする。 ① 将来の看護職者及び看護学研究者にふさわしい優れた能力・倫理観・責任感について、高等学校長若しくは中等教育学校長が責任を持って推薦できる者 ② 高等学校若しくは中等教育学校における全体の学習成績の状況が 4.0 以上の者 ③ 令和 6 年度大学入学共通テストにおいて、本学科が指定した教科・科目を受験する者 ④ 合格した場合入学することを確約できる者 ⑤ 地域枠については、卒業あるいは卒業見込みの高等学校若しくは中等教育学校の所在地が三重県内にあること。 ⑥ 地域枠については、卒業後は三重県の医療・保健に貢献することを確約できる者 なお、地域枠にて出願し合格した者は、地域枠による入学者として取り扱います。				
選 抜 方 法 等	[第 1 次選考] 令和 6 年度大学入学共通テストの成績に基づいて募集人員の 1.5 倍程度までの合格者を決定し、調査書、推薦書及び志願理由書は合否判定の参考とします。 ○大学入学共通テストの利用教科・科目 <table border="1"> <thead> <tr> <th>教科</th><th>科 目 名 等</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>国 地歴 公民 数 理 外</td><td> 国 世 B, 日 B, 地理 B 現社, 倫, 政経, 倫・政経 数Ⅰ・数 A, 数Ⅱ・数 B から 1 「物基, 化基, 生基から 2」又は「物, 化, 生から 1」 英, 独, 仏, 中, 韓から 1 </td></tr> </tbody> </table> [5 教科 5 科目又は 5 教科 6 科目] 「注」 1. 指定の教科・科目数を超えて受験した場合には、高得点の教科・科目の成績を採用します。 ただし、『「地理歴史」「公民」』及び「理科②」において複数科目を受験した場合は、それぞれ第 1 解答科目の成績を採用します。 2. 「理科①」（基礎を付した科目）は、2 科目を受験した場合のみ当該科目の成績として採用します。 なお、「理科①」から 2 科目と「理科②」から 1 科目を受験した場合には、高得点の科目（「理科①」の基礎を付した科目の場合は、2 科目の合計）の成績を採用します。 [第 2 次選考] 第 1 次選考に合格した者について、面接の結果にて行います。	教科	科 目 名 等	国 地歴 公民 数 理 外	国 世 B, 日 B, 地理 B 現社, 倫, 政経, 倫・政経 数Ⅰ・数 A, 数Ⅱ・数 B から 1 「物基, 化基, 生基から 2」又は「物, 化, 生から 1」 英, 独, 仏, 中, 韓から 1
教科	科 目 名 等				
国 地歴 公民 数 理 外	国 世 B, 日 B, 地理 B 現社, 倫, 政経, 倫・政経 数Ⅰ・数 A, 数Ⅱ・数 B から 1 「物基, 化基, 生基から 2」又は「物, 化, 生から 1」 英, 独, 仏, 中, 韓から 1				
出 願 期 間	令和 5 年 12 月 13 日(水) ～ 12 月 18 日(月)				
選 抜 期 日	[第 1 次選考] 令和 6 年 2 月 6 日(火) (選考結果通知) [第 2 次選考] 令和 6 年 2 月 9 日(金)				
合 格 発 表 日	令和 6 年 2 月 13 日(火)				
そ の 他	(1) 三重県の医療・保健に積極的に参加する意志のある者を希望します。 (2) 1 高等学校若しくは 1 中等教育学校から推薦できる人数に、制限はありません。 (3) この入試に関する詳細は、8 月下旬に公表予定の募集要項を確認してください。				

学校推薦型選抜（大学入学共通テストを課さない）【推薦①】

実施学部・学科名	工学部 総合工学科		
募 集 人 員	コース・募集人員		対象とする高等学校若しくは中等教育学校の学科
	機 械 工 学 コ ー ス	10 名	全学科
	電 気 電 子 工 学 コ ー ス	10 名	
	応 用 化 学 コ ー ス	10 名	
出 願 要 件	高等学校長若しくは中等教育学校長が責任をもって推薦でき、合格した場合に入学することを確約できる者としてします。 (1) 高等学校若しくは中等教育学校を令和5年3月に卒業した者及び令和6年3月に卒業見込みの者 (2) 学校教育法施行規則第93条第3項の規定に基づき、令和4年度中及び令和5年度中に高等学校若しくは中等教育学校を卒業又は卒業見込みの者 (3) 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を令和4年4月から令和6年3月までに修了又は修了見込みの者。 上記(1)～(3)のいずれかに該当し、成績が優秀で、次の要件を満たす者としてします。 機械工学コース ① 特に機械工学に強い関心と勉強意欲を有する者。 ② 高等学校若しくは中等教育学校等における学習成績概評がB段階以上の者。 ③ 1 高等学校若しくは中等教育学校から推薦できる人数は3名までとします。 電気電子工学コース ① 電気電子工学に関する専門分野を修める意欲を有する者。 ② 高等学校若しくは中等教育学校等における学習成績概評がB段階以上の者。 ③ 1 高等学校若しくは1 中等教育学校から推薦できる人数に制限はありません。 応用化学コース ① 特に応用化学に強い関心と勉強意欲を有する者。 ② 高等学校若しくは中等教育学校等における学習成績概評がB段階以上の者。 ③ 1 高等学校若しくは1 中等教育学校から推薦できる人数に制限はありません。		
選 抜 方 法 等	機械工学コース 調査書、推薦書、小論文及び面接の結果を総合して行います。 面接においては、機械工学での適正を問うと共に、英語・数学・理科（物理）にかかわる学力を問います。 電気電子工学コース 調査書、推薦書、志願理由書、面接及び筆記試験（物理及び数学）の結果を総合して行います。 応用化学コース 調査書、推薦書、小論文、面接及び基本的な化学の実験の結果を総合して行います。		
出 願 期 間	令和5年11月1日(水) ～ 11月7日(火)		
選 抜 期 日	令和5年11月25日(土) [11月26日(日)（志願者多数の場合のみ）]		
合 格 発 表 日	令和5年12月15日(金)		
そ の 他	この入試に関する詳細は、8月下旬に公表予定の募集要項を確認してください。		

学校推薦型選抜（大学入学共通テストを課す）【推薦②】

実施学部・学科名	工学部 総合工学科										
募 集 人 員	コース・募集人員		対象とする高等学校若しくは中等教育学校の学科								
	機 械 工 学 コ ー ス	10 名	全学科								
出 願 要 件	高等学校長若しくは中等教育学校長が責任をもって推薦でき、合格した場合に入学することを確約できる者としてします。 (1) 高等学校若しくは中等教育学校を令和 5 年 3 月に卒業した者及び令和 6 年 3 月に卒業見込みの者 (2) 学校教育法施行規則第 93 条第 3 項の規定に基づき、令和 4 年度中及び令和 5 年度中に高等学校若しくは中等教育学校を卒業又は卒業見込みの者 (3) 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を令和 4 年 4 月から令和 6 年 3 月までに修了又は修了見込みの者 上記 (1) ～ (3) のいずれかに該当し、成績が優秀で、次の要件を満たす者としてします。 ① 特に機械工学に強い関心と勉強意欲を有する者。 ② 高等学校若しくは中等教育学校等における学習成績概評が B 段階以上の者。 ③ 1 高等学校若しくは中等教育学校から推薦できる人数に制限はありません。										
選 抜 方 法 等	[第 1 次選考] 令和 6 年度大学入学共通テスト（3 教科 5 科目）の成績に基づき、募集人員の 2 倍程度の合格者を決定します。 ○大学入学共通テストの利用教科・科目 <table><tr><td>教科</td><td>科 目 名 等</td></tr><tr><td>数</td><td>「数Ⅰ・数A」と「数Ⅱ・数B」</td></tr><tr><td>理</td><td>「物」と「化」</td></tr><tr><td>外</td><td>「英」</td></tr></table> [3 教科 5 科目] [第 2 次選考] 第 1 次選考合格者に対し、調査書、推薦書、志願理由書及び面接の結果と第 1 次選考の結果を総合的・多面的に判定します。 面接の評価によっては、総得点の順位にかかわらず不合格となることがあります。			教科	科 目 名 等	数	「数Ⅰ・数A」と「数Ⅱ・数B」	理	「物」と「化」	外	「英」
教科	科 目 名 等										
数	「数Ⅰ・数A」と「数Ⅱ・数B」										
理	「物」と「化」										
外	「英」										
出 願 期 間	令和 6 年 1 月 16 日（火）～1 月 22 日（月）										
選 抜 期 日	[第 1 次選考]令和 6 年 2 月 6 日（火）（選考結果通知） [第 2 次選考]令和 6 年 2 月 9 日（金）										
合 格 発 表 日	令和 6 年 2 月 13 日（火）										
そ の 他	この入試に関する詳細は、8 月下旬に公表予定の募集要項を確認してください。										

学校推薦型選抜（大学入学共通テストを課さない）【推薦③】

実施学部・学科名	工学部 総合工学科		
募 集 人 員	コース・募集人員		対象とする高等学校若しくは中等教育学校の学科
	電気電子工学コース	3 名	工業（電気電子）に関する学科
出 願 要 件	高等学校若しくは中等教育学校の工業（電気電子）に関する学科を令和 6 年 3 月に卒業見込みの者で、電気電子工学に関する専門分野を修める意欲を有し、合格した場合には入学を確約できるもの。 クラスの成績が上位 5%程度以内の者か次のいずれかの資格等に関する条件を満たす者。 1. 第二種電気主任技術者又は第三種電気主任技術者の合格若しくは法規を除く 3 科目の中で理論を含む 2 科目以上の合格 2. 応用情報処理技術者 3. 第一級陸上無線技術士の合格若しくは法規を除く 3 科目の中で 1 科目以上の合格 4. エネルギー管理士における電気分野の合格 5. ジュニアマイスター顕彰に係わる区分表の電気系、情報系、通信・無線系の類型に属する資格・検定等及び計算技術検定、情報技術検定、電気工事施工管理技術検定の上位 3 つの資格・検定等で 40 点以上		
選 抜 方 法 等	書類審査(資格試験等の点数化を含む)及び面接の結果を総合的・多面的に判定して合格者を決定します。		
出 願 期 間	令和 5 年 11 月 1 日(水) ～ 11 月 7 日 (火)		
選 抜 期 日	令和 5 年 11 月 25 日 (土)		
合 格 発 表 日	令和 5 年 12 月 15 日 (金)		
そ の 他	この入試に関する詳細は、8 月下旬に公表予定の募集要項を確認してください。		

学校推薦型選抜（大学入学共通テストを課さない）【推薦Ⅰ】

実施学部名	生物資源学部 生物資源学科		
募集人員	農林環境科学コース	7名	農業、水産、工業に関する学科及び総合学科（農業、水産、工業に関する教科・科目を20単位以上修得した者又は見込みの者）
	海洋生物資源学コース	2名	
	生命化学コース	2名	
出願要件	高等学校長が責任をもって推薦でき、合格した場合に入学することを確約できる者とする。 (1) 高等学校を令和5年3月に卒業した者及び令和6年3月に卒業見込みの者 (2) 学校教育法施行規則第93条第3項の規定に基づき、令和4年度及び令和5年度中に高等学校若しくは中等教育学校を卒業又は卒業見込みの者 上記(1)～(2)のいずれかに該当し、成績が優秀で、次の要件を満たすものとする。 ① 特に生物資源学に強い関心と勉強意欲を有する者 ② 高等学校における調査書の全体の学習成績の状況が4.0以上である者 1 高等学校から推薦できる人数は、各専修とも3名以内です。 *出願することができるコース・専修は、下記のとおりです。 なお、専修は2年次に選択するものを指します。専修によって出願要件が異なりますので、出願時に志願する専修を記入してください。 1. 農業に関する学科(農業・園芸・畜産・農業経営等)を卒業した者及び卒業見込みの者 ○農林環境科学コース（農学専修） 2. 農業に関する学科(農業土木・農業工学・農業機械等)を卒業した者及び卒業見込みの者 ○農林環境科学コース（農業工学専修） 3. 農業に関する学科(林業・林産・造園緑地等)を卒業した者及び卒業見込みの者 ○農林環境科学コース（森林科学専修，農業工学専修） 4. 農業に関する学科(食品科学・生物工学等)を卒業した者及び卒業見込みの者 ○生命化学コース全専修 5. 水産に関する学科を卒業した者及び卒業見込みの者 ○海洋生物資源学コース（海洋生物資源学専修） ○生命化学コース（海洋生命化学専修） 6. 工業に関する学科(土木・機械・電気・電子等)を卒業した者及び卒業見込みの者 ○農林環境科学コース（農業工学専修） 7. 工業に関する学科(化学等)を卒業した者及び卒業見込みの者 ○農林環境科学コース（森林科学専修） ○生命化学コース全専修 上記に該当しない場合は、学務部入試チームに申し出てください。		
選抜方法等	小論文, 面接及び出願書類の結果を総合して行います。		
出願期間	令和5年11月1日(水) ～ 11月7日(火)		
選抜期日	令和5年11月25日(土) [11月26日(日)（志願者多数の場合のみ）]		
合格発表日	令和5年12月15日(金)		
その他	この入試に関する詳細は、8月下旬に公表予定の募集要項を確認してください。		

学校推薦型選抜（大学入学共通テストを課す）【推薦Ⅱ（紀伊黒潮枠）】

実 施 学 部 名	生物資源学部 生物資源学科						
募 集 人 員	生物資源総合科学コース	15 名	普通科，理数に関する学科，国際関係に関する学科，その他普通科に準ずると認められる学科				
出 願 要 件	高等学校長若しくは中等教育学校長が責任をもって推薦でき，合格した場合に入学することを確約できる者とする。 また，1 高等学校若しくは 1 中等教育学校から推薦できる人数に制限は設けません。 (1) 高等学校若しくは中等教育学校を令和 6 年 3 月に卒業見込みの者 (2) 学校教育法施行規則第 93 条第 3 項の規定に基づき，令和 5 年度中に卒業又は卒業見込みの者 (3) 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を令和 5 年度中に修了または修了見込みの者 上記(1)～(3)のいずれかに該当し，英語・数学・理科の成績が優秀で，次の要件を満たすものとする。 ① 特に生物資源学に強い関心と勉強意欲を有する者 ② 三重県・愛知県・奈良県・和歌山県の高等学校等を卒業した者又は卒業見込みの者で，紀伊黒潮地域の地域課題を理解し，同地域の地域共創に強い関心・意欲を有する者 ③ 高等学校もしくは中等教育学校における調査書の全体の学習成績の状況が 3.3 以上である者						
選 抜 方 法 等	令和 6 年度大学入学共通テストの成績，面接及び出願書類の結果を総合して行います。 ○大学入学共通テストの利用教科・科目 <table><tr><td>教科</td><td>科 目 名 等</td></tr><tr><td>国 地歴 公民 数 理 外 英</td><td>国 世 A，世 B，日 A，日 B，地理 A，地理 B 現社，倫，政経，倫・政経 「数Ⅰ・数 A」と 「数Ⅱ，数Ⅱ・数 B，簿，情報から 1」 物，化，生，地学から 2 英 [5 教科 7 科目]</td></tr></table>			教科	科 目 名 等	国 地歴 公民 数 理 外 英	国 世 A，世 B，日 A，日 B，地理 A，地理 B 現社，倫，政経，倫・政経 「数Ⅰ・数 A」と 「数Ⅱ，数Ⅱ・数 B，簿，情報から 1」 物，化，生，地学から 2 英 [5 教科 7 科目]
教科	科 目 名 等						
国 地歴 公民 数 理 外 英	国 世 A，世 B，日 A，日 B，地理 A，地理 B 現社，倫，政経，倫・政経 「数Ⅰ・数 A」と 「数Ⅱ，数Ⅱ・数 B，簿，情報から 1」 物，化，生，地学から 2 英 [5 教科 7 科目]						
出 願 期 間	令和 5 年 11 月 1 日(水) ～ 11 月 7 日 (火)						
選 抜 期 日	令和 5 年 11 月 25 日 (土) [11 月 26 日 (日) (志願者多数の場合のみ)]						
合 格 発 表 日	令和 6 年 2 月 13 日 (火)						
そ の 他	この入試に関する詳細は，8 月下旬に公表予定の募集要項を確認してください。						

学校推薦型選抜（大学入学共通テストを課す）【推薦Ⅱ】

実 施 学 部 名	生物資源学部 生物資源学科						
募 集 人 員	農 林 環 境 科 学 コー ス	18 名	普通科，理数に関する学科，国際関係に関する学科，その他普通科に準ずると認められる学科				
	海 洋 生 物 資 源 学 コー ス	6 名					
	生 命 化 学 コー ス	20 名					
出 願 要 件	高等学校長若しくは中等教育学校長が責任をもって推薦でき，合格した場合に入学することを確約できる者とする。 また，1 高等学校若しくは 1 中等教育学校から推薦できる人数に制限は設けません。 (1) 高等学校若しくは中等教育学校を令和 6 年 3 月に卒業見込みの者 (2) 学校教育法施行規則第 93 条第 3 項の規定に基づき，令和 5 年度中に卒業又は卒業見込みの者 (3) 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を令和 5 年度中に修了または修了見込みの者 上記 (1)～(3)のいずれかに該当し，英語・数学・理科の成績が優秀で，次の要件を満たすものとする。 ① 特に生物資源学に強い関心と勉強意欲を有する者 ② 高等学校もしくは中等教育学校における調査書の全体の学習成績の状況が 3.3 以上である者						
選 抜 方 法 等	令和 6 年度大学入学共通テストの成績，面接及び出願書類の結果を総合して行います。 ○大学入学共通テストの利用教科・科目 <table><tr><td>教科</td><td>科 目 名 等</td></tr><tr><td>国 地歴 公民 数 理 外</td><td>国 世 A，世 B，日 A，日 B，地理 A，地理 B 現社，倫，政経，倫・政経 「数Ⅰ・数 A」と 「数Ⅱ，数Ⅱ・数 B，簿，情報から 1」 物，化，生，地学から 2 英 [5 教科 7 科目]</td></tr></table>			教科	科 目 名 等	国 地歴 公民 数 理 外	国 世 A，世 B，日 A，日 B，地理 A，地理 B 現社，倫，政経，倫・政経 「数Ⅰ・数 A」と 「数Ⅱ，数Ⅱ・数 B，簿，情報から 1」 物，化，生，地学から 2 英 [5 教科 7 科目]
教科	科 目 名 等						
国 地歴 公民 数 理 外	国 世 A，世 B，日 A，日 B，地理 A，地理 B 現社，倫，政経，倫・政経 「数Ⅰ・数 A」と 「数Ⅱ，数Ⅱ・数 B，簿，情報から 1」 物，化，生，地学から 2 英 [5 教科 7 科目]						
出 願 期 間	令和 5 年 11 月 1 日 (水) ～ 11 月 7 日 (火)						
選 抜 期 日	令和 5 年 11 月 25 日 (土) [11 月 26 日 (日) (志願者多数の場合のみ)]						
合 格 発 表 日	令和 6 年 2 月 13 日 (火)						
そ の 他	この入試に関する詳細は，8 月下旬に公表予定の募集要項を確認してください。						

(2) 帰国生徒特別選抜

実 施 学 部 名	人文学部
募 集 人 員	文化学科 1 名 法律経済学科 1 名
出 願 要 件	日本の国籍を有する者及び日本国の永住許可を得ている者で、保護者とともに外国に在留し、(保護者が先に帰国した場合は、その滞在が1年未満)次の(1)又は(2)のいずれかに該当するものとする。 (1) 外国において学校教育における12年の課程(日本における通常の課程による学校教育の期間を含む。)を令和4年(2022年)4月1日から令和6年(2024年)3月31日までに卒業(修了)した者及び卒業(修了)見込みの者で、外国において最終の学年を含めて2年以上継続して学校教育を受けているもの ただし、外国に設置された学校であっても日本の学校教育法に準拠した教育を行っている学校に在学した者については、その期間を外国において学校教育を受けたものとはみなしません。 (2) 外国においてスイス民法典に基づく財団法人である国際バカロレア事務局が授与する国際バカロレア資格、ドイツ連邦共和国の各州において大学入学資格として認められているアビトゥア資格及びフランス共和国において大学入学資格として認められているバカロレア資格を令和4年(2022年)又は令和5年(2023年)に取得した者
選 抜 方 法 等	入学者の選抜は、出願書類、小論文及び面接の結果を総合して行います。 なお、小論文及び面接は、いずれも日本語により行います。
出 願 期 間	令和5年12月1日(金) ～ 12月6日(水)
選 抜 期 日	令和6年1月17日(水)、1月18日(木)
合 格 発 表 日	令和6年2月19日(月)
そ の 他	この入試に関する詳細は、8月下旬に公表予定の募集要項を確認してください。

実 施 学 部 名	生物資源学部 生物資源学科
募 集 人 員	農林環境科学コース 2名 海洋生物資源学コース 1名 生命化学コース 1名
出 願 要 件	日本の国籍を有する者及び日本国の永住許可を得ている者で、保護者とともに外国に在留し、(保護者が先に帰国した場合は、その滞在が1年未満)次の(1)又は(2)のいずれかに該当するものとする。 (1) 外国において学校教育における12年の課程（日本における通常の課程による学校教育の期間を含む。）を令和4年（2022年）4月1日から令和6年（2024年）3月31日までに卒業（修了）した者及び卒業（修了）見込みの者で、外国において最終の学年を含めて2年以上継続して学校教育を受けているもの ただし、外国に設置された学校であっても日本の学校教育法に準拠した教育を行っている学校に在学した者については、その期間を外国において学校教育を受けたものとはみなしません。 (2) 外国においてスイス民法典に基づく財団法人である国際バカロレア事務局が授与する国際バカロレア資格、ドイツ連邦共和国の各州において大学入学資格として認められているアビトゥア資格及びフランス共和国において大学入学資格として認められているバカロレア資格を令和4年（2022年）又は令和5年（2023年）に取得した者で、令和6年（2024年）3月31日までに18歳に達するもの
選 抜 方 法 等	入学者の選抜は、総合問題（英語、数学、小論文の総合問題）、面接及び出願書類の結果を総合して行います。 なお、面接は、日本語で行います。
出 願 期 間	令和5年12月13日(水) ～ 12月18日(月)
選 抜 期 日	令和6年1月19日(金)
合 格 発 表 日	令和6年2月15日(木)
そ の 他	この入試に関する詳細は、8月下旬に公表予定の募集要項を確認してください。

(3) 社会人特別選抜

実 施 学 部 名	人文学部
募 集 人 員	文化学科 1 名 法律経済学科 1 名
出 願 要 件	令和 6 年 3 月 31 日までに満 23 歳に達し、社会人の経験が 5 年以上となる者で、次の各号のいずれかに該当するものとする。 (1) 高等学校若しくは中等教育学校を卒業した者及び令和 6 年 3 月卒業見込みの者 (2) 通常の課程による 12 年の学校教育を修了した者及び令和 6 年 3 月修了見込みの者 (3) 学校教育法施行規則（昭和 22 年文部省令第 11 号）第 150 条の規定により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められる者及び令和 6 年 3 月 31 日までにこれに該当する見込みの者（次の①から⑥のいずれかに該当する者） ① 外国において学校教育における 12 年の課程を修了した者及び令和 6 年 3 月 31 日までに修了見込みの者又はこれに準ずる者で文部科学大臣の指定した者 ② 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有する者として認定した在外教育施設の当該課程を修了した者及び令和 6 年 3 月 31 日までに修了見込みの者 ③ 専修学校の高等課程（修業年限が 3 年以上であること、その他の文部科学大臣が定める基準を満たす者に限る。）で文部科学大臣が別に指定する者を文部科学大臣が定める日以降に修了した者及び令和 6 年 3 月 31 日までに修了見込みの者 ④ 文部科学大臣の指定した者 ⑤ 高等学校卒業程度認定試験規則（平成 17 年文部科学省令第 1 号）により文部科学大臣が行う高等学校卒業程度認定試験に合格した者及び令和 6 年 3 月 31 日までに合格見込みの者（同規則附則第 2 条の規定による廃止前の大学入学資格検定規程（昭和 26 年文部省令第 13 号）による大学入学資格検定に合格した者を含む。） ⑥ 本学において、個別の入学資格審査により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者 [注] 社会人の経験には「主婦〔主夫〕業」も含まれます。
選 抜 方 法 等	入学者の選抜は、出願書類、小論文、外国語及び面接の結果を総合して行います。 なお、外国語は英語、ドイツ語、フランス語及び中国語の中から 1 科目選択とします。
出 願 期 間	令和 5 年 10 月 3 日（火）～ 10 月 6 日（金）
選 抜 期 日	令和 5 年 11 月 11 日（土）、11 月 12 日（日）
合 格 発 表 日	令和 5 年 12 月 15 日（金）
そ の 他	この入試に関する詳細は、8 月下旬に公表予定の募集要項を確認してください。

実施学部・学科名	医学部 看護学科
募 集 人 員	3 名
出 願 要 件	令和 6 年 3 月 31 日までに満 23 歳に達し、社会人の経験が 5 年以上となる者で、(1)～(3)のいずれかに該当し、且つ、(4)の要件を満たすものとする。 (1) 高等学校若しくは中等教育学校を卒業した者及び令和 6 年 3 月卒業見込みの者 (2) 通常の課程による 12 年の学校教育を修了した者及び令和 6 年 3 月修了見込みの者 (3) 学校教育法施行規則（昭和 22 年文部省令第 11 号）第 150 条の規定により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められる者及び令和 6 年 3 月 31 日までにこれに該当する見込みの者（次の①から⑥のいずれかに該当する者） ① 外国において学校教育における 12 年の課程を修了した者及び令和 6 年 3 月 31 日までに修了見込みの者又はこれに準ずる者で文部科学大臣の指定したもの ② 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を修了した者及び令和 6 年 3 月 31 日までに修了見込みの者 ③ 専修学校の高等課程（修業年限が 3 年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。）で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以降に修了した者及び令和 6 年 3 月 31 日までに修了見込みの者 ④ 文部科学大臣の指定した者 ⑤ 高等学校卒業程度認定試験規則（平成 17 年文部科学省令第 1 号）により文部科学大臣が行う高等学校卒業程度認定試験に合格した者及び令和 6 年 3 月 31 日までに合格見込みの者（同規則附則第 2 条の規定による廃止前の大学入学資格検定規程（昭和 26 年文部省令第 13 号）による大学入学資格検定に合格した者を含む。） ⑥ 本学において、個別の入学資格審査により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者 「注」社会人の経験には「主婦（主夫）業」も含まれます。 (4) TOEIC® Listening & Reading 公開テストにおいて、500 点以上のスコアを取得していること（詳細は「令和 6 年度医学部看護学科社会人特別選抜学生募集要項」で確認してください）
選 抜 方 法 等	出願書類，小論文及び面接の結果を総合して行います。
出 願 期 間	令和 5 年 7 月 11 日（火） ～ 7 月 14 日（金）
選 抜 期 日	令和 5 年 8 月 18 日（金）
合 格 発 表 日	令和 5 年 9 月 15 日（金）
そ の 他	この入試に関する募集要項は、公表しています。

実 施 学 部 名	生物資源学部 生物資源学科
募 集 人 員	農林環境科学コース 2名 海洋生物資源学コース 1名 生命化学コース 1名
出 願 要 件	令和6年3月31日までに満23歳に達し、社会人の経験が5年以上となる者で、次の各号のいずれかに該当するもの (1) 高等学校若しくは中等教育学校を卒業した者及び令和6年3月卒業見込みのものとする。 (2) 通常の課程による12年の学校教育を修了した者及び令和6年3月修了見込みの者 (3) 学校教育法施行規則（昭和22年文部省令第11号）第150条の規定により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められる者及び令和6年3月31日までにこれに該当する見込みの者（次の①から⑥のいずれかに該当する者） ① 外国において学校教育における12年の課程を修了した者及び令和6年3月31日までに修了見込みの者又はこれに準ずる者で文部科学大臣の指定したもの ② 文部科学大臣が高等学校の課程と同様の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を修了した者及び令和6年3月31日までに修了見込みの者 ③ 専修学校の高等課程（修業年限が3年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。）で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以降に修了した者及び令和6年3月31日までに修了見込みの者 ④ 文部科学大臣の指定した者 ⑤ 高等学校卒業程度認定試験規則（平成17年文部科学省令第1号）により文部科学大臣が行う高等学校卒業程度認定試験に合格した者及び令和6年3月31日までに合格見込みの者（同規則附則第2条の規定による廃止前の大学入学資格検定規程（昭和26年文部省令第13号）による大学入学資格検定に合格した者を含む。） ⑥ 本学において、個別の入学資格審査により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者 「注」社会人の経験には「主婦(主夫)業」も含まれます。
選 抜 方 法 等	入学者の選抜は、総合問題（英語、数学、小論文の総合問題）、面接及び出願書類の結果を総合して行います。
出 願 期 間	令和5年12月13日(水) ～ 12月18日(月)
選 抜 期 日	令和6年1月19日(金)
合 格 発 表 日	令和6年2月15日(木)
そ の 他	この入試に関する詳細は、8月下旬に公表予定の募集要項を確認してください。

○三重大学入試情報の案内

スマホ・携帯電話サイト

募集要項などの請求方法，志願状況速報などの各種情報を携帯電話等にて閲覧することができます。



QRコード

※対応するスマートフォン，携帯電話で読み取ることができます。

<https://daigakuje.jp/mie-u/>

※パソコンからも情報を閲覧することができるサイトです。

入試情報ウェブサイト

令和6年度入学試験に関する情報等を本学ウェブサイトの「入試情報」に次のとおり掲載しますので，ご利用ください。

本学ウェブサイトの「入試情報」

<https://www.mie-u.ac.jp/exam/index.html>

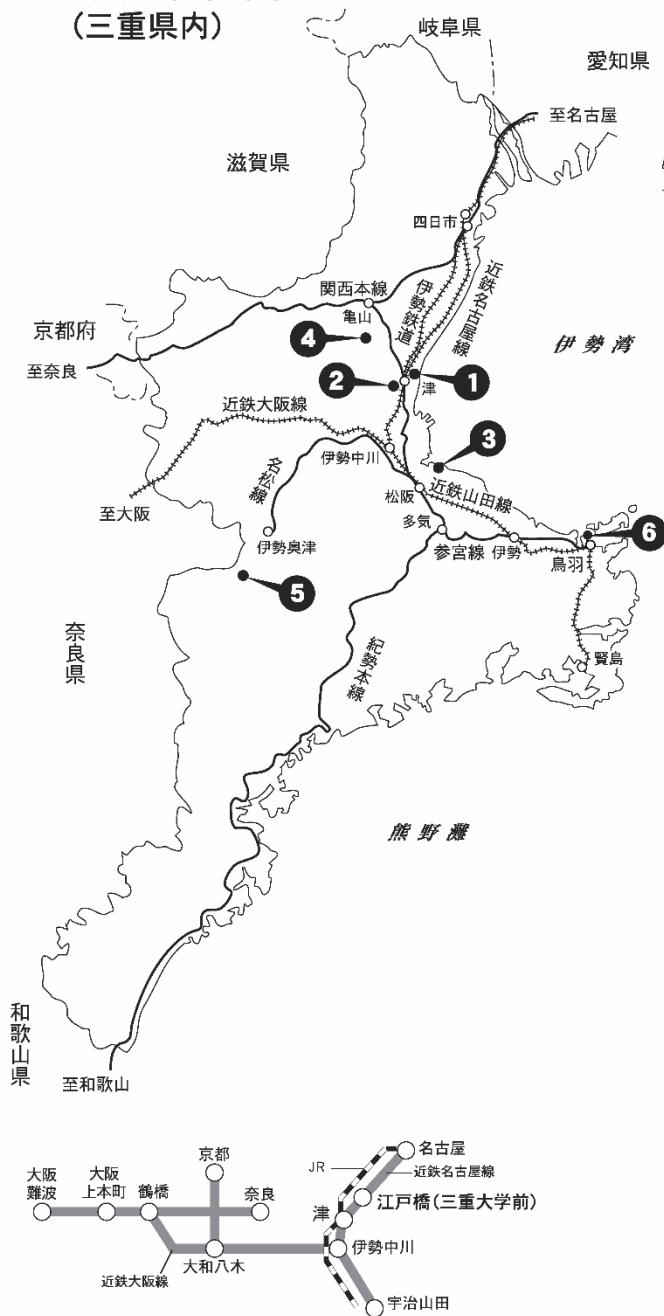
をご覧ください。



ウェブサイト掲載予定

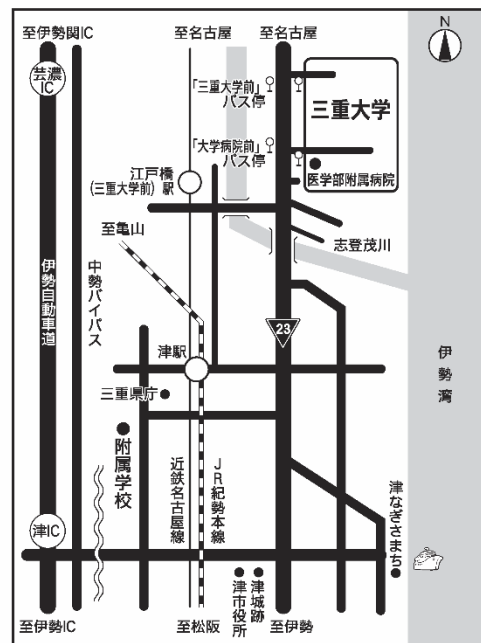
期 間	内 容
令和5年8月下旬～	学校推薦型選抜学生募集要項
令和5年10月下旬～	総合型選抜学生募集要項
令和5年11月中旬～	一般選抜学生募集要項
令和6年2月上旬～	一般選抜出願状況
令和6年3月8日（金）～3月15日（金）	前期日程合格者受験番号一覧
令和6年3月22日（金）～3月26日（火）	後期日程合格者受験番号一覧
令和6年3月28日（木）～3月31日（日）	欠員補充の状況等

三重大学位置図 (三重県内)



- ① 三重大学
- ② 附属学校
- ③ 練習船基地
附属紀伊・黒潮生命地域
フィールドサイエンスセンター
- ④ 附帯施設農場
- ⑤ 附帯施設演習林
- ⑥ 附帯施設水産実験所

◎大学周辺拡大図



●近鉄電車「急行」で

名古屋より	近鉄名古屋駅	約60分	江戸橋駅	徒歩	三重大学
京都・大阪より	伊勢中川駅	約15分		約15分	

●近鉄電車「特急」で

名古屋より	近鉄名古屋駅	約50分	津駅	バス	三重大学
大阪より	大阪難波駅	約90分			
京都より	京都駅	約110分			

●JR「快速みえ」で

名古屋より	名古屋駅	約50分	津駅	タクシー	三重大学
-------	------	------	----	------	------

◎本学への交通案内

- ① 近鉄江戸橋駅（急行停車駅）下車 徒歩 15 分
- ② J R東海、近鉄、津駅（特急・急行停車駅）下車
津駅前バスのりば（津駅東口）「4 番のりば」からバスで約 10 分
三重交通バス「白塚駅」、「棕本」、「豊が丘」、「サイエンスシティ」、
「三重病院」、「東豊野」、「高田高校前」行きに乗車
「大学病院前」又は「三重大学前」で下車
- ③ 津駅からタクシーで約 10 分
- ④ 津 I . C から車で約 20 分、芸濃 I . C から車で約 25 分

三重大学への各種問い合わせは下記により行ってください。

問い合わせ時間等

月曜日から金曜日（土・日・祝日は除きます。）

8時30分から17時15分まで

○入学試験に関すること

三重大学学務部入試チーム

TEL 059-231-9063

E-mail nyusiteam@ab.mie-u.ac.jp

（入学試験に関する問い合わせは、原則として志願者本人が行ってください。）

○授業科目・学修に関すること

三重大学各学部学務担当

人文学部

TEL 059-231-9197

教育学部

TEL 059-231-9350

医学部医学科

TEL 059-231-5063

医学部看護学科

TEL 059-231-5239

工学部

TEL 059-231-9469

生物資源学部

TEL 059-231-9631

○奨学金（日本学生支援機構等）に関すること

三重大学学務部学生支援チーム

TEL 059-231-9061

○入学科徴収猶予及び入学科・授業料免除に関すること

三重大学学務部学生支援チーム

TEL 059-231-9678

○学生寮に関すること

三重大学学務部学生支援チーム

TEL 059-231-5371

○就職に関すること

三重大学学務部キャリア支援チーム

TEL 059-231-9654

○入学科及び授業料納付に関すること

三重大学財務部財務管理チーム

TEL 059-231-9028

○三重県医師修学資金に関すること

三重大学医学・病院管理部

学務課学務第一係

TEL 059-231-5063

三重県 医療保健部 医療人材課

TEL 059-224-2326

三重大学学務部入試チーム

〒514-8507

津市栗真町屋町1577

TEL 059-231-9063

FAX 059-231-5382

三重大学のウェブサイト「入試情報」をご覧ください。

<https://www.mie-u.ac.jp/exam/index.html>

